

平成23年度
入間市消費動向調査報告書

駿河台大学
飯能信用金庫
入間市
入間市商工会

目 次

第1章 調査の実施概要	
1. 調査方法の概要	1
2. 調査対象者の概要	4
3. 調査対象商品	5
4. 調査資料利用上の注意	6
第2章 入間市の商圈動向	
1. 入間市商業の動向	
(1) 入間市の主な小売店舗	7
(2) 入間市小売業の推移	8
(3) 入間市小売業の規模と店舗効率	9
(4) 埼玉県内小売業の吸引率と充足度	10
(5) 商品群別の市内吸引率と市外流出率	11
2. 入間市の商圈	
(1) 入間市の商業集積地別の商圈	13
(2) 商品群別、市内商業・商業集積地別吸引率	15
3. 居住地区別の商業集積地利用概要	
(1) 豊岡地区	16
(2) 東金子地区	18
(3) 金子地区	20
(4) 宮寺・二本木地区	22
(5) 藤沢地区	24
(6) 西武地区	26
第3章 入間市民の買物行動	
1. 消費者の買物行動	
(1) 1週間の買物回数	28
(2) 1回の買物の平均予算	29
(3) 普段の買物時間帯	30
(4) 買物時の主な利用交通手段	32
(5) パソコンの普及率とインターネットの利用状況	33
(6) 通信販売の利用状況	34
2. 商店街の利用状況と改善課題	
(1) 地元商店街の利用状況	41
(2) 地元商店街の改善課題	42
(3) 消費者の動向と意識	
1) 身近にあればよいと思う買物施設	43
2) コンビニエンスストアの利用状況	44
3) コストコ入間店の利用状況	46
4) 三井アウトレットパーク入間の利用状況	48
5) コストコとアウトレットパークの利用頻度の比較	50
(4) 東日本大震災後の買物行動	
1) 震災後2週間の商品別買物行動	51
2) 震災後の自身の買物行動	58

第4章 入間市内の買物環境と居住継続意向	
1. 居住地域や入間市内の買物環境	
(1) 居住地域や入間市内の買物環境.....	61
(2) 買物環境に関する理由等.....	62
2. 入間市への居住継続意向	
(1) 入間市内への居住継続意向.....	65
(2) 居住継続に関する理由.....	66
3. 買物環境と居住継続に関する個別理由の主なもの	
(1) 買物環境に関する主な理由等	
1) 満足している主な理由.....	68
2) 不満である主な理由.....	71
(2) 居住継続に関する主な理由	
1) 市内に住み続けたい主な理由.....	75
2) 転居したい主な理由.....	80
第5章 調査結果の概要と調査地区の特徴	
1. 調査結果の概要（地区別比較）.....	82
2. 調査地区の特徴.....	87
第6章 資料編	
1. 入間市の人口と世帯	
(1) 入間市内全域の人口等.....	93
(2) 入間市各地区の人口.....	95
2. アンケート調査票.....	98

第1章 調査の実施概要

1. 調査方法の概要

(1)調査実施期間 平成23年7月22日～8月31日

(2)調査地域 入間市全域

(3)調査対象 入間市に居住する世帯

(4)調査方法 郵送法による自記式アンケート調査

(5)調査対象の抽出と回収状況

①抽出方法 平成23年4月1日現在の入間市の住民基本台帳から、居住地区別に等間隔抽出法により、2,000世帯を抽出しました。

②回収状況 配布先: 2000世帯
有効回収数: 983枚
有効回収率: 49.2%

③地区別回収数の割合

入間市の地区別回収枚数は、図表1-1のとおりです。

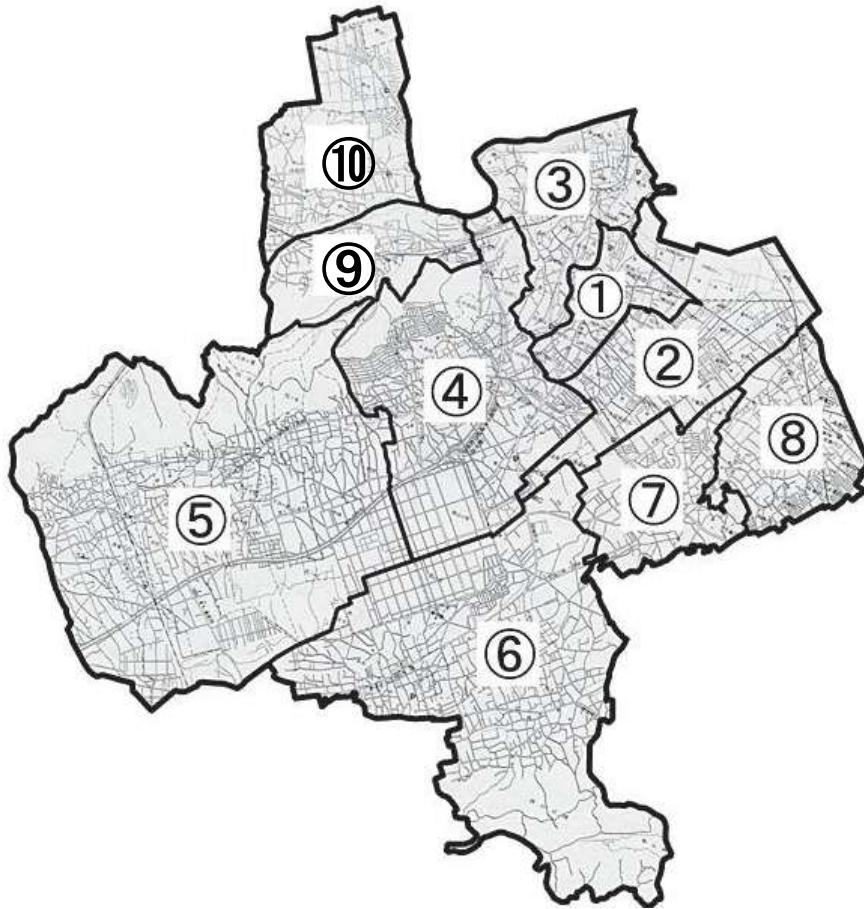
図表1-1 地区別回収枚数等 (単位:件・%)

居住地区	回収数	構成比
豊岡地区	380	38.7
東金子地区	119	12.1
金子地区	64	6.5
宮寺・二本木地区	69	7.0
藤沢地区	213	21.7
西武地区	134	13.6
地区不明	4	0.4
総計	983	100

(6) 居住地区および商業集積地(買物場所)区分

① 入間市居住地区と大字名

図表 1-2 居住地区区分図

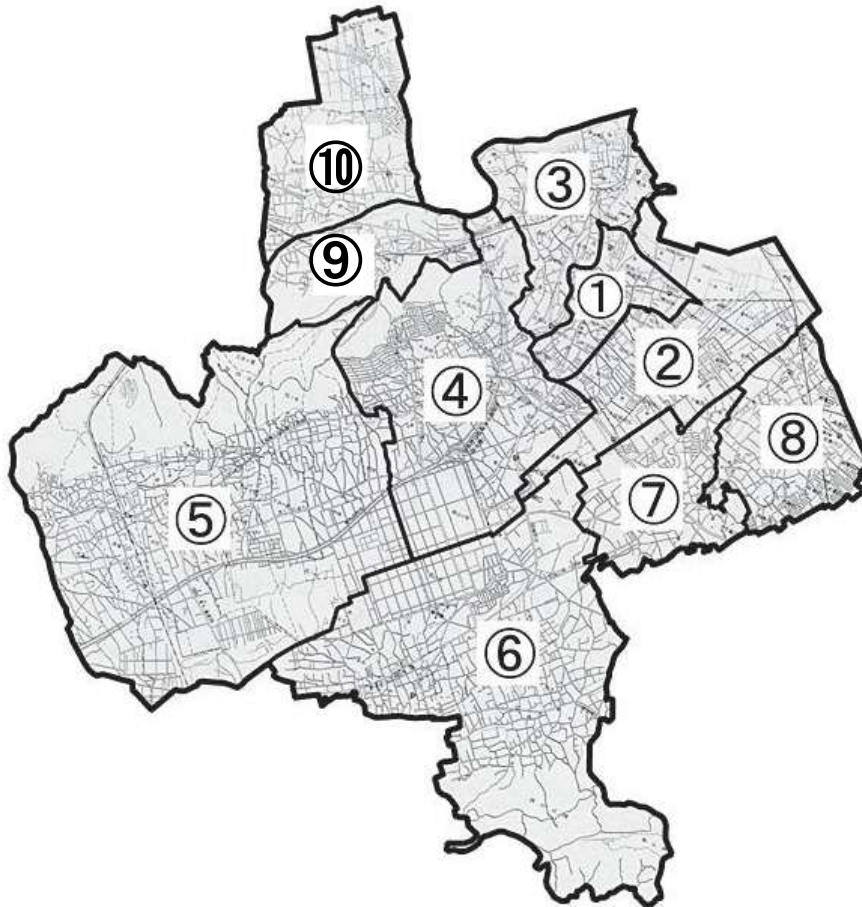


図表 1-3 居住地区と大字名

居住地区名	区分No.	町 (丁) 大字名
豊岡地区	①豊岡	豊岡1～5丁目、扇町屋1～5丁目
	②東町	大字扇町屋、大字善蔵新田、東町1～7丁目 扇台1～6丁目 久保稻荷1～5丁目、向陽台1～2丁目
	③黒須	大字黒須、黒須1～2丁目、河原町、春日町1～2丁目 宮前町、 鍵山1～3丁目、大字高倉、高倉1～5丁目
東金子地区	④東金子	牛沢町、小谷田1～4丁目、上小谷田1～3丁目 森坂、 大字小谷田、大字新久、大字狭山ヶ原
金子地区	⑤金子	大字木蓮寺、大字南峯、大字寺竹、金子中央、 大字西三ツ木、三ツ木台、大字上谷ヶ貫 大字下谷ヶ貫、大字花ノ木、大字中神、大字根岸
宮寺・二本木	⑥宮寺	宮寺、大字二本木、大字高根、大字駒形富士山、大字狭山台
藤沢地区	⑦上藤沢	大字上藤沢
	⑧下藤沢	大字下藤沢、東藤沢1～8丁目
西武地区	⑨仏子	大字仏子
	⑩野田	大字野田、大字新光

②入間市買物場所

図表 1-4 商業集積地区分図



図表 1-5 入間市地区別大型店名(平成 23 年1月 1 日時点)

居住地区	商業集積地	主な大型店(名称)
豊岡	① 豊岡	サイオス 丸広百貨店入間店 西武入間ペペ しまむら入間店 ジャパンミート・タカハシ(イルマム)
	② 東町	
	③ 黒須	ブルドッグ入間店 いなげや入間春日町店 スーパーバリュー・ビバホーム
東金子	④ 東金子	さえき食品館 ドンキホーテ(ドイト入間店) ニトリ入間店
金子	⑤ 金子	マミーマート金子店
宮寺・二本木	⑥ 宮寺	しまむら宮寺店 三井アウトレットパーク入間 コストコ入間店
藤沢	⑦ 上藤沢	イオン入間ショッピングセンター ワンダーグー入間店
	⑧ 下藤沢	ヨークマート入間店 ケーヨーデイツー・スーパーアルプス入間下藤沢店 ケーズデンキ入間店 ハードオフ入間藤沢店 ヤオコー入間下藤沢店 しまむら下藤沢店 ヨークマート武蔵藤沢店 カワチ薬品入間店 グリーンガーデン武蔵藤沢 ヤマダ電機入間店
西武	⑨ 仏子	ヤオコー入間仏子店
	⑩ 野田	シャンプル・アベイル入間野田店 ベルク・しまむら他(入間野田モール)

2. 調査対象者の概要

(1) 職業構成

調査対象世帯の主たる収入のある方の職業は、図表 1-6 のとおりです。給与所得者が 64.9%、うち 49.2% は入間市以外の県内市町村に通勤しています。

図表 1-6 主たる収入のある方の職業区分 (単位:%)

給与所得者(勤務地別)					商 工 自 営 業	自 由 業	農 林 水 産 業	そ の 他	計
入 間 市 内	県 内 の 他 市 町 村	東 京 23 区	東 京 23 区 以 外	埼 玉 県 ・ 東 京 都 以 外 の 他 府 県					
15.7	21.7	16.6	8.1	2.8	5.0	3.3	0.3	26.5	100

(2) 年齢構成

今回回答のあった「主に買物している方」の 5 歳区分と 10 歳区分の年代は、図表 1-7 のとおりです。今回調査の結果の分析は、年代別(10 歳区分)で実施しています。

年代構成としては、50 代(24.4%)から 60 代(28.5%)が半数を占めています。

図表 1-7 主に買物をしている方の年代 (単位:%)

5 歳 区 分	20- 24 歳	25-29 歳	30-34 歳	35-39 歳	40-44 歳	45-49 歳	50-54 歳	55-59 歳	60-64 歳	65-69 歳	70-74 歳	75 歳 以上	計
	0.1	2.9	4.1	9.8	8.5	9.8	13.1	11.2	15.8	12.7	7.5	4.5	
年 代	20 代		30 代		40 代		50 代		60 代		70 歳以上		計
	3.0		13.9		18.2		24.4		28.5		12.0		

(3) 買物担当者の有職状況

買物担当者が有給の仕事に就いているかどうかの状況は、図表 1-8 のとおりです。有給の仕事に就いていない専業主婦などの割合が 56.4%と、半数を超えています。

図表 1-8 主に買物している方の有職状況 (単位:%)

区 分	構 成 比
有給の仕事に就いている(常勤・パート等)	43.6
有給の仕事には就いていない(専業主婦など)	56.4
計	100

年代別に有職状況を見ると、図表 1-9 のとおりです。

50 代以下では、どの年代も、有給の仕事を持っている人の割合が 50%を超える高さとなっています。

図表 1-9 主に買物されている方の年代別有職状況 (単位:%)

区 分	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 歳以上
有給の仕事に就いている	55.2	52.9	62.9	59.0	25.6	9.2
有給の仕事には就いていない	44.8	47.1	37.1	41.0	74.4	90.8

3. 調査対象商品

商品群は埼玉県が実施している「広域消費動向調査」と同基準とし図表 1-10 のとおり、5 群 22 商品としています。買物行動特性は独自に1群 2 項目に分類しています。

図表 1-10 商品区分表

商品群	コード	具体的な商品
A 群	1	肉・魚・野菜・果物
	2	調理済み食品(惣菜、弁当等)
	3	その他の食料品、飲料
	4	日用・家庭雑貨
B 群	5	呉服・帯
	6	寝具
	7	紳士服、紳士用品雑貨
	8	婦人服・婦人用品雑貨
	9	子供服・ベビー用品
C 群	10	下着・肌着
	11	靴・はきもの
D 群	12	かばん・ハンドバッグ
	13	家具・インテリア
	14	家庭用電化製品
E 群	15	自転車
	16	時計・メガネ・コンタクトレンズ
	17	医薬・化粧品
	18	書籍・文房具
	19	楽器・CD
	20	玩具
	21	スポーツ用品
22	花木・園芸・生花	

図表 1-11 買物行動特性区分

F 群	23	家族で買物を楽しむ
	24	飲食を楽しむ

4. 調査資料利用上の注意

本文中の集計方法や用語は次のとおりです。

(1)比率

集計結果は、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを算出していますので、合計欄が100にならない場合があります。

(2)集計単位

「市全体」「居住地区別」「買物担当者年代別」に集計しています。

(3)使用した用語

①吸引率

全市の吸引率は、市民が入間市内の商店で買物する割合のことであり、算式は次のとおりです。

$$\text{吸引率(\%)} = \text{買物世帯数} \div \text{調査回答世帯数} \times 100$$

居住地区別吸引率は、居住者が同一地区内にある商店で買物をする割合のことであり、算式は上記の全市と同じです。

②流出率

全市の流出率は、市民が入間市以外の都市の商店街などの商業集積地で買物する割合のことであり、算式は次のとおりです。

$$\text{流出率(\%)} = \text{他市での買物世帯数} \div \text{調査回答世帯数} \times 100$$

居住地区別流出率は、居住者が住んでいる地区以外の他の地区の商店および商業集積地で買物をする割合のことであり、算式は上記の全市と同じです。

第2章 入間市の商圈動向

1. 入間市商業の動向

(1) 入間市の主な小売店舗

入間市の主な小売店舗は、図表 2-1 のとおりです。

図表 2-1 入間市の主な小売店舗一覧

(単位: m²)

区域	主な大型店(名称)	開設年月日	店舗面積
豊岡	サイオス	平成 9 年 10 月	9,872
	丸広百貨店入間店	平成 1 年 10 月	18,000
	西武入間ペペ	平成 5 年 9 月	7,200
	しまむら入間店	昭和 51 年 7 月	1,372
	ジャパンミート・タカハシ(イルマム)	平成 20 年 2 月	4,014
黒須	ブルドッグ入間店	昭和 59 年 3 月	1,322
	いなげや入間春日町店	平成 13 年 11 月	2,186
	スーパーバリュー・ビバホーム	昭和 58 年 12 月	6,299
東金子	さえき食品館	平成 19 年 12 月	973
	ドンキホーテ(ドイト入間店)	平成 5 年 11 月	3,110
	ニトリ入間店	平成 18 年 12 月	6,547
金子	マミーマート金子店	平成 14 年 3 月	1,641
宮寺	しまむら宮寺店	平成 17 年 10 月	1,309
	三井アウトレットパーク入間	平成 20 年 4 月	37,999
	コストコ入間店		
上藤沢	イオン入間ショッピングセンター	平成 15 年 6 月	22,521
	ワンダーグー入間店	平成 18 年 2 月	2,567
下藤沢	ヨークマート入間店	昭和 55 年 9 月	4,579
	ケーヨーデイツー・スーパーアルプス入間下藤沢店	平成 17 年 3 月	11,334
	ケーズデンキ入間店	平成 21 年 6 月	5,319
	ハードオフ入間藤沢店	平成 6 年 12 月	1,451
	ヤオコー入間下藤沢店	平成 12 年 6 月	2,638
	しまむら下藤沢店	平成 9 年 9 月	2,674
	ヨークマート武蔵藤沢店	平成 9 年 6 月	1,610
	カワチ薬品入間店	平成 17 年 11 月	1,701
	グリーンガーデン武蔵藤沢	平成 17 年 6 月	7,400
	ヤマダ電機入間店	平成 5 年 11 月	5,401
仏子	ヤオコー入間仏子店	平成 8 年 4 月	3,716
野田	シャンブル・アベイル入間野田店	平成 16 年 9 月	1,763
	ベルク・しまむら他(入間野田モール)	平成 16 年 9 月	5,474

(出所:入間市環境経済部商工課)

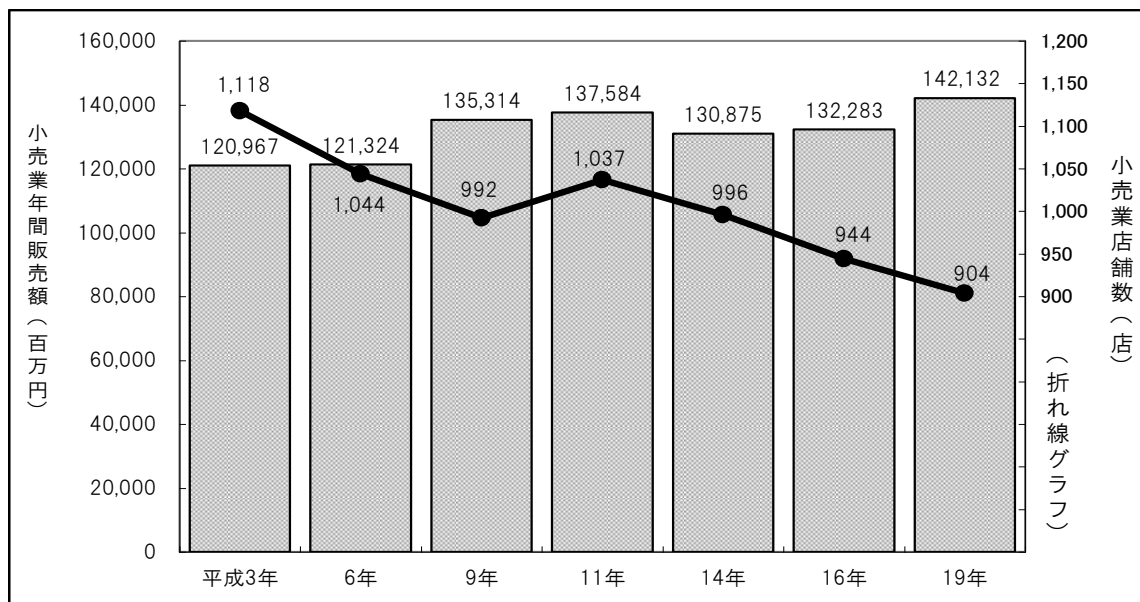
(2) 入間市小売業の推移

入間市の小売業の店舗数と年間販売額の推移は、図表 2-2 のとおりです。

小売業の店舗数は、平成 14 年から減少が続いていますが、小売業年間販売額は、平成 19 年は平成 16 年と比較して 7.4%増加しています。

図表 2-2 入間市内の小売業の店舗数・年間販売額の推移

(単位:店・百万円)



(出所:埼玉県商業統計調査)

入間市内小売業の従業員数および売場面積の推移は、図表 2-3 のとおりです。平成 19 年は平成 16 年と比べ、従業員数は 4.3%、売場面積は 20.7%増加しています。

図表 2-3 入間市内小売業の従業員数および売場面積推移

調査年次	商店数 (店)	従業員数 (人)	年間販売額 (百万円)	売場面積 (㎡)
平成 3 年	1,118	7,335	120,967	96,076
6 年	1,044	7,133	121,324	125,147
9 年	992	7,153	135,314	128,926
11 年	1,037	7,955	137,584	139,455
14 年	996	7,591	130,875	137,900
16 年	944	7,788	132,283	149,791
19 年	904	8,121	142,132	180,794

(出所:埼玉県商業統計調査)

(3) 入間市小売業の規模と店舗効率

入間市、埼玉県および近隣市(狭山市、所沢市、飯能市)の店舗数、従業員数、年間商品販売額、売場面積は、図表 2-4 のとおりです。

図表 2-4 入間市、埼玉県および近隣市の店舗数・従業員数・年間商品販売額・売場面積の比較

区 分	入間市	埼玉県	所沢市	狭山市	飯能市
店舗数(店)	904	44,573	1,852	966	668
従業員数(人)	8,121	357,223	15,863	7,418	4,301
年間商品販売額(百万円)	142,132	6,337,840	290,087	129,669	57,643
売場面積(㎡)	180,794	6,928,355	280,231	140,388	82,704

(出所:平成 19 年埼玉県商業統計調査)

入間市、埼玉県および近隣市の 1 店舗当たりの従業員数、年間販売額および売場面積は、図表 2-5 のとおりです。入間市は、1 店舗当たりの従業員数、年間販売額、売場面積いずれも埼玉県の平均および近隣市よりも高くなっています。

図表 2-5 入間市、埼玉県および近隣市の 1 店舗当たりの従業員数・年間販売額・売場面積

区 分	入間市	埼玉県	狭山市	所沢市	飯能市
1 店舗当たり従業員数(人)	9.0	8.0	7.7	8.6	6.4
1 店舗当たり年間販売額(百万円)	157.2	142.2	134.2	156.6	86.3
1 店舗当たり売場面積(㎡)	200.0	155.4	145.3	151.3	123.8

(出所:平成 19 年埼玉県商業統計調査)

入間市、埼玉県および近隣市の従業員 1 人当たりおよび売場面積当たりの年間販売額は、図表 2-6 のとおりです。入間市は、どちらも埼玉県平均を下回っており、近隣市と比較して、従業員 1 人当たりでは所沢市より低く、狭山市と同程度であり、売場面積当たりでは所沢市、狭山市より低くなっています。

図表 2-6 入間市、埼玉県および近隣市の従業員 1 人当たり・売場面積当たりの年間販売額

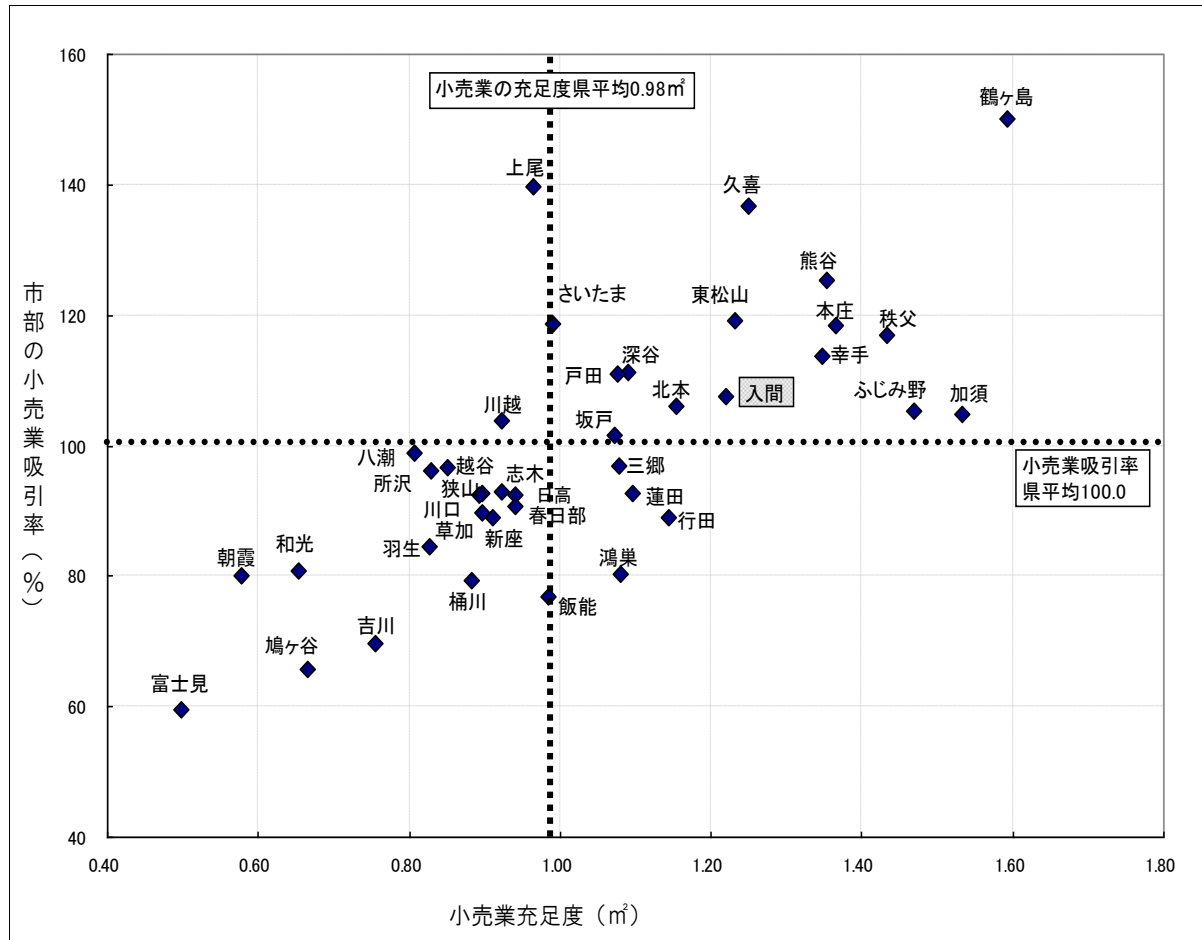
区 分	入間市	埼玉県	狭山市	所沢市	飯能市
従業員 1 人当たり年間販売額(百万円)	17.5	17.7	17.5	18.3	13.4
売場面積当たり年間販売額(百万円)	0.79	0.91	0.92	1.04	0.70

(出所:平成 19 年埼玉県商業統計調査)

(4) 埼玉県内小売業の吸引率と充足度

埼玉県内の市部における小売業の吸引率と充足度の相関関係は、図表 2-7 のとおりです。
入間市の小売充足度は 1.22 m²/人、小売業吸引率は 108%で、どちらも県平均を上回っています。

図表 2-7 入間市、埼玉県および近隣市における小売業の吸引率と充足度



- (注) 1. 資料出所:「平成 19 年埼玉県商業統計調査」。各都市の人口は、平成 19 年度末(平成 20 年 3 月)現在。
2. 「小売業の充足度」は、都市商業の充足の程度をみる指標であり、人口 1 人当たりの売場面積である。数値が高いほど消費者の買物利便性が高いとされている。

$$\text{小売業充足度(m}^2\text{)} = \text{売場面積} \div \text{人口}$$

3. 「小売業吸引率」は、都市商業の販売力の程度をみる指標であり、当該都市の 1 人当たり販売額を県民 1 人当たりの販売額で割った値で示している。100 超ならば他都市から買物人口が流入していることを表し、100 未満ならば他都市へ流出していることを示す。

$$\text{小売業吸引率(\%)} = (\text{当該都市の年間販売額} / \text{当該市の人口}) \div (\text{県の年間販売額} / \text{県の人口}) \times 100$$

(5) 商品群別の市内吸引率と市外流出率

商品群別の市内吸引率と市外流出率は、図表 2-8 のとおりです。

商品総合でみた入間市内への吸引率は 71.9%、市外流出率は 28.1%です。F 群については、入間市内への吸引率、市外流出率はそれぞれ 50%です。

図表 2-8 商品群別の市内吸引率と市外流出率

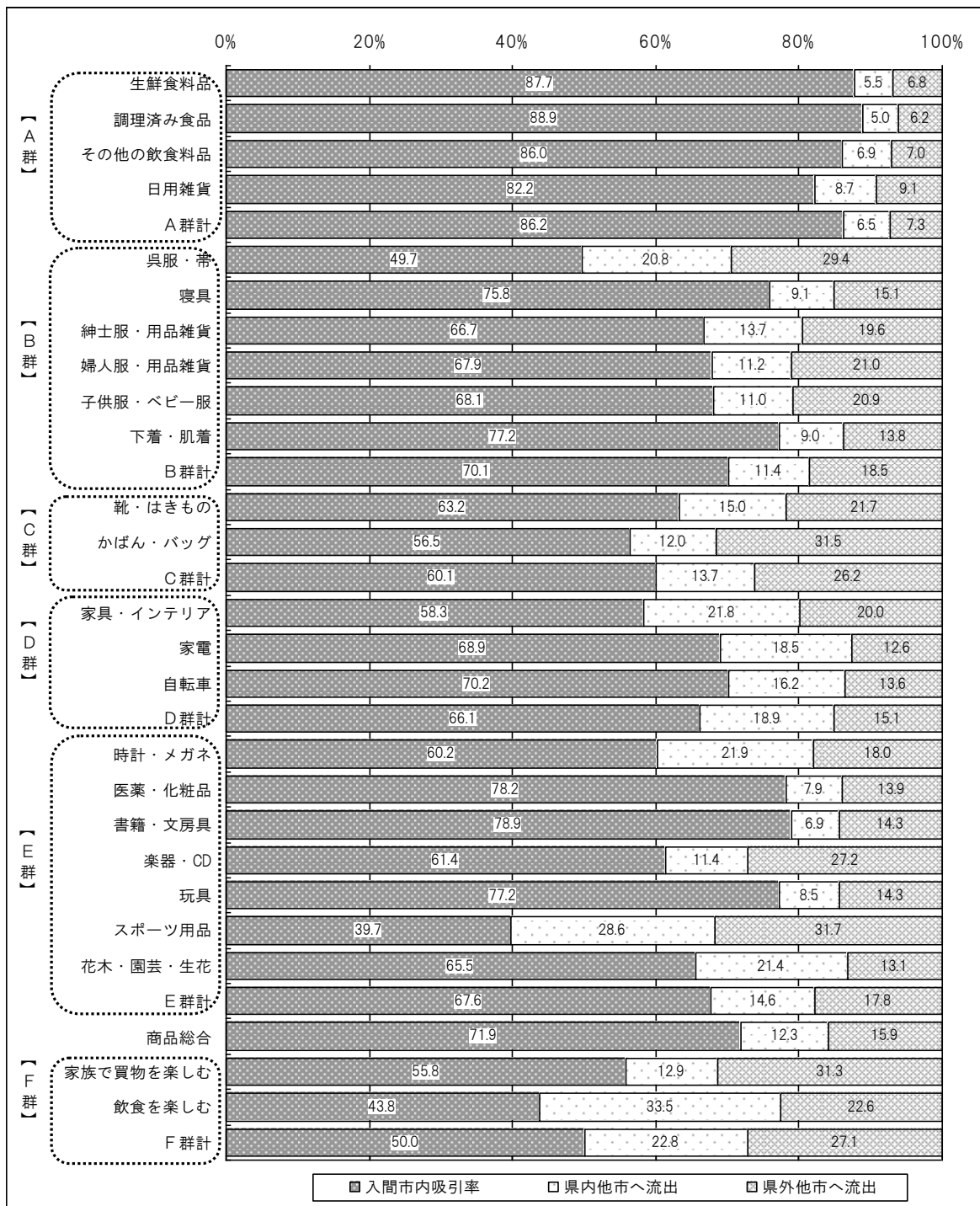
(単位:%)

商品群	入間市内 吸引率	入間市外への流出率					
		所沢市	県内他市	都心部	東京都下	その他県外	
生鮮食料品	87.7	12.3	2.3	3.2	0.2	4.3	2.3
調理済み食品	88.9	11.1	2.4	2.6	0.6	4.5	1.1
その他の飲食料品	86.0	14.0	2.9	4.0	0.0	4.9	2.1
日用雑貨	82.2	17.8	0.9	7.8	0.2	7.6	1.4
A群計	86.2	13.8	2.1	4.4	0.3	5.3	1.8
呉服・帯	49.7	50.3	10.2	10.7	10.7	14.7	4.1
寝具	75.8	24.2	2.1	7.0	1.6	6.5	7.0
紳士服・用品雑貨	66.7	33.3	4.4	9.3	5.6	10.2	3.8
婦人服・用品雑貨	67.9	32.1	5.0	6.2	5.7	11.2	4.1
子供・ベビー服	68.1	31.9	4.3	6.7	3.5	13.4	4.0
下着・肌着	77.2	22.8	3.7	5.3	2.0	7.1	4.6
B群計	70.1	29.9	4.3	7.1	4.2	9.7	4.6
靴・はきもの	63.2	36.8	4.8	10.3	6.9	11.1	3.7
かばん・バッグ	56.5	43.5	5.3	6.8	13.1	13.1	5.3
C群計	60.1	39.9	5.0	8.7	9.8	12.0	4.4
家具・インテリア	58.3	41.7	12.2	9.5	4.1	9.0	6.8
家電	68.9	31.1	10.4	8.0	2.9	6.7	3.0
自転車	70.2	29.8	1.9	14.3	0.0	10.6	3.0
D群計	66.1	33.9	8.8	10.1	2.5	8.4	4.1
時計・メガネ	60.2	39.8	8.1	13.7	5.7	9.4	2.8
医薬・化粧品	78.2	21.8	2.6	5.3	1.3	6.9	5.7
書籍・文房具	78.9	21.1	1.9	4.9	4.1	7.1	3.0
楽器・CD	61.4	38.6	5.9	5.5	5.5	10.7	11.0
玩具	77.2	22.8	2.9	5.6	2.3	7.6	4.4
スポーツ用品	39.7	60.3	11.4	17.2	5.8	20.3	5.6
花木・園芸・生花	65.5	34.5	2.5	18.9	0.3	11.5	1.3
E群計	67.6	32.4	4.5	10.1	3.3	10.0	4.5
商品総合	71.9	28.1	4.5	7.8	3.3	8.8	3.8
家族で買物を楽しむ	55.8	44.2	3.7	9.2	7.9	21.9	1.6
飲食を楽しむ	43.8	56.2	12.0	21.5	6.2	14.9	1.5
F群計	50.0	50.0	7.7	15.1	7.0	18.5	1.6

商品別の市内吸引率および市外流出率の商品別比較は、図表 2-9 のとおりです。A 群の商品がいずれも 8 割を超える高い市内吸引率となっています。次いで、書籍・文房具、医薬・化粧品、下着・肌着、玩具なども市内吸引率が 8 割近くとなっています。一方、スポーツ用品や飲食を楽しむ場合は市外流出率の方が高くなっています。

図表 2-9 商品別の市内吸引率と市外流出率の比較

(単位:%)



2. 入間市の商圈

(1) 商業集積地別の商圈

① 市内商業集積地ごとの商圈区分

市内の商業集積地を商圈基準により商圈区分に分類すると、図表 2-10 のとおりです。

図表 2-10 市内商業集積地ごとの商圈区分

商 圏 区 分	市 内 商 業 集 積 地	商 圏 基 準
地域型商圈		市内の全居住地区から5%以上吸引
準地域型商圈	豊岡、黒須、上藤沢、下藤沢	3 居住地区以上から5%以上吸引
地区型商圈	仏子	2 居住地区から5%以上吸引
近隣型商圈	東金子、金子、野田	1 居住地区から5%以上吸引

② 商品総合からみた市内商業集積地別吸引率

商業集積地別吸引率は、図表 2-11 のとおりです。市内の全居住地区から5%以上吸引している商業集積地はありません。東金子と宮寺・二本木は、居住地区住民の利用が5%未満です。

図表 2-11 商品総合からみた商業集積地別吸引率

(単位:%)

区 分		居 住 地 区						
商 業 集 積 地		豊 岡	東金子	金 子	宮寺・ 二本木	藤 沢	西 武	市全体
豊岡	豊岡	23.5	8.8	4.4	7.3	5.9	2.0	12.7
	東町	0.4	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.2
	黒須	23.2	7.8	1.8	2.9	0.7	5.4	11.3
東金子		0.8	23.9	4.0	2.9	0.1	0.6	3.6
金子		0.0	0.0	42.7	0.4	0.0	0.0	2.8
宮寺・二本木		1.2	0.7	0.9	4.1	0.7	0.6	1.1
藤沢	上藤沢	19.1	22.4	4.8	16.3	13.6	2.8	14.9
	下藤沢	24.7	12.4	1.8	24.9	69.6	0.4	28.1
西武	仏子	0.9	8.8	3.1	0.0	0.1	27.5	5.5
	野田	0.6	3.4	1.8	0.4	0.0	36.7	5.9
市内		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
入間市内吸引率		94.4	88.3	65.6	59.2	90.7	76.1	86.1
入間市外流出率		5.6	11.7	34.4	40.8	9.3	23.9	13.9
所沢市		0.4	1.5	0.0	4.5	6.3	0.8	2.1
県内他市		2.2	5.4	2.2	0.0	0.8	19.3	4.5
東京都心部		0.1	0.5	0.0	0.0	0.7	0.2	0.3
都下		1.4	2.0	31.7	32.7	0.3	1.4	5.3
東京以外の県外		1.5	2.4	0.4	3.7	1.3	2.2	1.7

(注) 網掛部分は吸引率5%以上である。

③食料品からみた商業集積地別吸引率

食料品(生鮮食品、調理済み食品、その他の食料品・飲料)の市内商業集積地の商圈は、図表 2-12 のとおりです。

商品総合同様、東町と宮寺・二本木は、居住地区住民の利用がそれぞれ 5%未満で、金子地区、宮寺・二本木地区は、都下へ流出が多くなっています。

図表 2-12 食料品からみた商業集積地別吸引率 (単位:%)

区 分		居 住 地 区						
		豊 岡	東金子	金 子	宮 寺・ 二本木	藤 沢	西 武	市全体
豊岡	豊岡	28.3	11.4	5.3	9.2	7.4	2.4	15.4
	東町	0.3	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.2
	黒須	23.3	6.8	1.8	3.2	0.7	5.1	11.2
東金子		0.6	25.6	2.9	2.7	0.0	0.5	3.7
金子		0.0	0.0	48.2	0.5	0.0	0.0	3.1
宮寺・二本木		1.1	1.0	1.2	4.3	0.7	0.5	1.2
藤沢	上藤沢	18.9	23.4	5.9	15.1	13.9	2.7	15.0
	下藤沢	20.8	9.4	0.6	24.9	66.3	0.5	25.3
西武	仏子	1.1	10.4	2.9	0.0	0.2	30.8	6.2
	野田	0.7	3.6	1.8	0.5	0.0	38.1	6.2
入間市内吸引率		95.2	91.6	71.2	60.5	89.2	80.7	87.5
入間市外流出率		4.8	8.4	28.8	39.5	10.8	19.3	12.5
所沢市		0.6	1.6	0.0	5.4	7.4	1.1	2.5
県内他市		1.4	3.9	1.2	0.0	0.7	14.5	3.3
都心部		0.1	0.0	0.0	0.0	0.9	0.3	0.3
都下		1.1	0.6	27.6	29.7	0.2	1.1	4.6
東京以外の県外		1.6	2.3	0.0	4.3	1.6	2.4	1.9

(注) 網掛部分は吸引率 5%以上である。

(2)商品群別の市内商業集積地別吸引率

市内商業集積地別の吸引率は、図表 2-13 のとおりです。F群を除く商品群については、A～E 群すべてにおいて藤沢地区(上藤沢、下藤沢)の利用が見られます。その他では、A 群は、豊岡地区(豊岡、黒須)、西武地区(仏子、野田)、B群は、豊岡、宮寺・二本木、野田、C群は、豊岡、宮寺・二本木、D群は、豊岡地区(豊岡、黒須)、東金子、E群は、豊岡の利用がみられます。またF群については、豊岡、上藤沢の利用が多くみられます。

図表 2-13 商品群別、商業集積地別吸引率

(単位:%)

商品群区分		商業集積地											
		豊岡			東金子	金子	宮寺・二本木	藤沢		西武		市内	市内計
		豊岡	東町	黒須				上藤沢	下藤沢	仏子	野田		
A群	食料品・日用雑貨	12.7	0.2	11.3	3.6	2.8	1.1	14.9	28.1	5.5	5.9	0.0	86.1
B群	衣料品・男女用品	22.0	0.4	0.2	2.0	0.1	7.7	19.4	10.0	0.1	7.9	0.0	69.8
C群	靴・カバン	18.8	0.9	0.3	0.2	0.0	10.2	21.8	5.9	0.0	1.6	0.0	59.7
D群	家具・家・自転車	7.0	0.2	5.3	12.1	0.0	0.6	7.5	31.8	0.3	0.4	0.0	65.2
E群	医薬化・書籍玩具	17.0	0.8	3.6	0.9	0.6	2.7	15.9	19.8	4.0	2.0	0.0	67.3
商品総合		16.5	0.5	4.8	3.2	0.9	3.6	16.3	19.8	2.7	4.5	0.0	72.8
F群	買物、飲食を楽しむ	8.8	2.1	1.5	0.8	0.0	8.7	21.9	4.8	0.5	1.2	0.2	50.5

(注) 網掛部分は吸引率5%以上である。

3. 居住地区別の商業集積地利用概要

(1) 豊岡地区

①豊岡地区の居住者が買物に行く商業集積地について

豊岡地区居住者の主な買物場所は、図表 2-14 のとおりです。商品群別に買物先をみると、地元以外の市内では、A 群、E 群は藤沢地区を利用し、B 群、C 群、F 群は藤沢地区と宮寺二本木、D 群は東金子と藤沢地区を利用しています。

市外では、B 群は狭山市、C 群は東京都、D 群は所沢市を利用しています。

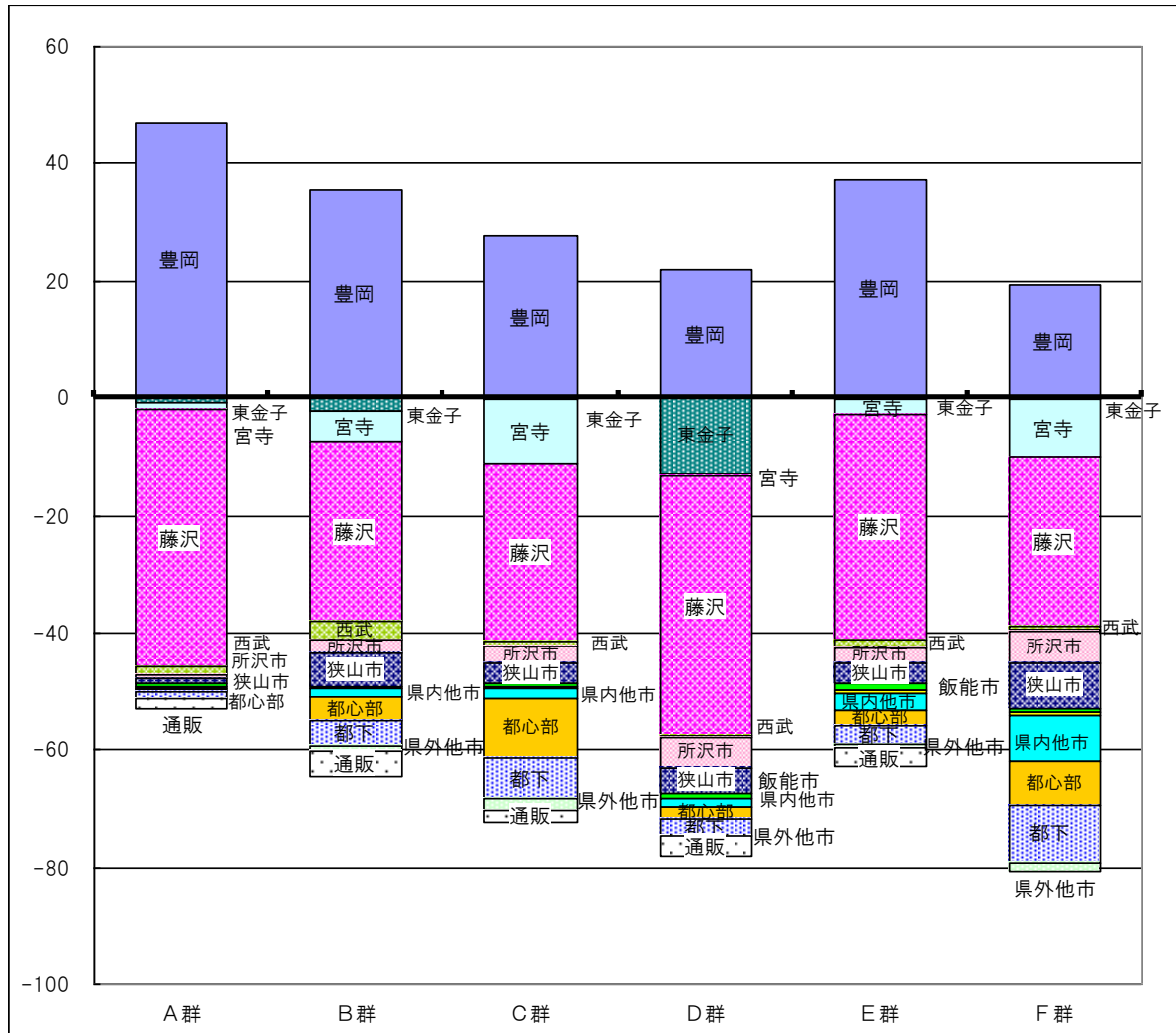
図表 2-14 豊岡地区居住者の商品群別にみた主な買物場所 (単位:%)

商業集積地		A 群 食料品・ 日用雑貨	B 群 衣料品・ 男女用品	C 群 靴・カバン	D 群 家具・家電 ・自転車	E 群 医薬化粧・ 書籍玩具	F 群 買物、飲を 楽しむ
市内	豊岡地区計	47.1	35.4	27.7	22.0	37.1	19.3
	豊岡	23.5	34.3	25.6	11.5	28.2	12.9
	東町	0.4	0.7	1.8	0.5	1.4	3.9
	黒須	23.2	0.4	0.4	10.0	7.5	2.5
	東金子	0.8	2.2	0.2	12.8	0.3	0.2
	金子	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	宮寺・二本木	1.2	5.1	11.1	0.3	2.4	9.8
	藤沢地区計	43.8	30.8	30.4	44.5	38.5	28.8
	上藤沢	19.1	24.5	26.7	9.4	18.7	24.1
	下藤沢	24.7	6.3	3.7	35.1	19.8	4.6
	西武地区計	1.5	3.2	0.7	0.1	1.5	0.6
	仏子	0.9	0.0	0.0	0.1	0.9	0.2
	野田	0.6	3.2	0.7	0.0	0.6	0.4
	市内	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
	入間市計	94.4	76.7	70.0	79.8	79.9	59.1
県内市外	所沢市	0.4	2.1	2.8	5.2	2.5	5.6
	狭山市	0.9	5.8	3.7	4.4	3.6	7.7
	飯能市	0.7	0.4	0.5	1.0	1.0	0.6
	川越市	0.1	0.1	0.2	0.0	0.7	0.6
	県内他市	0.5	1.4	1.8	1.4	2.7	7.7
県外	都心部	0.1	3.9	10.0	2.0	2.8	7.3
	都下	1.4	4.4	7.0	2.9	3.0	10.0
	東京以外県外	0.0	0.6	1.9	0.1	0.7	1.4
	通信販売	1.5	4.5	2.1	3.3	3.2	0.0

(注) 網掛部分は吸引率 5%以上である。

図表 2-15 豊岡地区居住者の地区外流出率

(単位:%)



②豊岡地区への流入状況

豊岡地区内商業集積地への流入状況は、図表 2-16 のとおりです。金子地区の F 群と藤沢地区の D 群を除き、他のすべての居住地区から豊岡地区内商業集積地へ流入しています。

図表 2-16 各地区から豊岡地区内商業集積地への流入率

(単位:%)

豊岡地区への流入率	A 群	B 群	C 群	D 群	E 群	F 群
東金子地区から	16.6	23.7	20.9	9.2	22.4	18.1
金子地区から	6.6	10.0	10.4	3.4	8.9	1.0
宮寺・二本木地区から	10.2	16.7	11.1	6.6	11.9	7.2
藤沢地区から	6.6	11.1	14.7	1.7	7.4	5.2
西武地区から	7.5	14.0	15.7	13.1	11.1	7.1

(注) 網掛部分は吸引率 5%以上である。

(2) 東金子地区

① 東金子地区の居住者が買物に行く商業集積地について

東金子地区居住者の主な買物場所は、図表 2-17 のとおりです。商品群別に買物先をみると、A群、D群、E群以外は地元利用率が低くなっています。地元以外の市内では、すべての商品・サービス群について豊岡地区と藤沢地区を利用し、さらにA群とE群は西武地区、B群は宮寺・二本木と西武地区、C群とF群は宮寺二本木も利用しています。

市外では、A群とE群以外は所沢市、A群以外は都下、C群は都心部の利用もみられます。

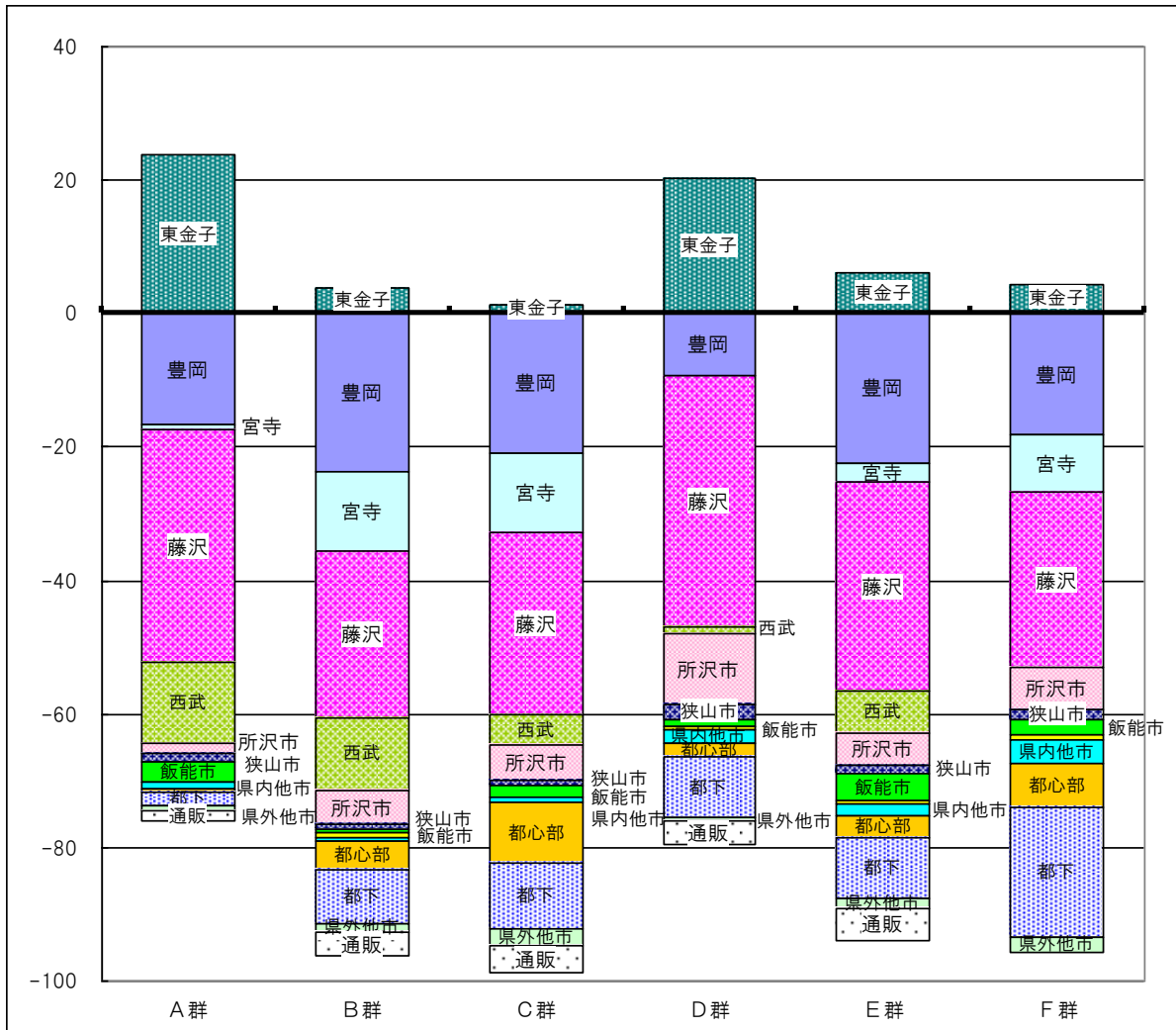
図表 2-17 東金子地区居住者の商品群別にみた主な買物場所 (単位: %)

商業集積地		A群 食料品・ 日用雑貨	B群 衣料品・ 男女用品	C群 靴・カバン	D群 家具・家電 ・自転車	E群 医薬化粧・ 書籍玩具	F群 買物、飲を 楽しむ
市内	東金子	23.9	3.8	1.3	20.4	6.1	4.3
	豊岡地区計	16.6	23.7	20.9	9.2	22.4	18.1
	豊岡	8.8	23.2	19.6	8.2	19.8	15.2
	東町	0.0	0.5	0.7	0.0	0.7	0.7
	黒須	7.8	0.0	0.7	1.0	1.9	2.2
	金子	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	宮寺・二本木	0.7	11.8	11.8	0.0	2.8	8.7
	藤沢地区計	34.9	24.9	27.5	37.8	31.5	26.1
	上藤沢	22.4	20.7	24.8	7.1	16.8	24.6
	下藤沢	12.4	4.3	2.6	30.6	14.7	1.4
	西武地区計	12.2	11.1	4.6	1.0	6.3	0.0
	仏子	8.8	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0
	野田	3.4	11.1	4.6	1.0	0.7	0.0
	市内	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
入間市計	88.3	75.3	66.0	68.4	69.0	57.2	
県内市外	所沢市	1.5	5.0	5.2	10.7	4.7	6.5
	狭山市	1.2	0.8	0.7	2.0	1.4	1.4
	飯能市	3.2	0.5	2.0	1.0	4.0	2.2
	川越市	0.0	0.8	0.0	0.5	0.5	0.7
	県内他市	1.0	0.5	0.7	2.0	1.9	3.6
県外	都心部	0.5	4.3	9.2	2.0	3.3	6.5
	都下	2.0	8.1	9.8	9.2	9.1	19.6
	東京以外県外	0.7	1.3	2.6	0.5	1.4	2.2
	通信販売	1.7	3.5	3.9	3.6	4.9	0.0

(注) 網掛部分は吸引率5%以上である。

図表 2-18 東金子地区居住者の地区外流出率

(単位:%)



②東金子地区への流入状況

東金子地区内商業集積地への流入状況は、図表 2-19 のとおりです。D群については、全地区から東金子地区へ流入しています。

図表 2-19 各地区から東金子地区内商業集積地への流入率

(単位:%)

東金子地区への流入率	A 群	B 群	C 群	D 群	E 群	F 群
豊岡地区から	0.8	2.2	0.2	12.8	0.3	0.2
金子地区から	4.0	2.1	0.0	11.1	0.4	1.0
宮寺・二本木地区から	2.9	1.2	0.0	16.4	0.7	1.0
藤沢地区から	0.1	1.9	0.0	7.7	0.0	0.3
西武地区から	0.6	0.6	0.0	10.5	0.4	0.5

(注) 網掛部分は吸引率 5%以上である。

(3) 金子地区

① 金子地区の居住者が買物に行く商業集積地について

金子地区居住者の主な買物場所は、図表2-20のとおりです。商品群別に買物先をみると、A群、E群以外は地元利用率が低くなっています。地元以外の市内では、A群は豊岡地区と藤沢地区、B群とC群は豊岡地区、宮寺・二本木、藤沢地区、D群は東金子と藤沢地区、E群は豊岡地区を利用しています。

市外では、すべての商品・サービス群について都下の利用がみられ、B群、E群は飯能市、C群については東京都以外の県外も利用しています。

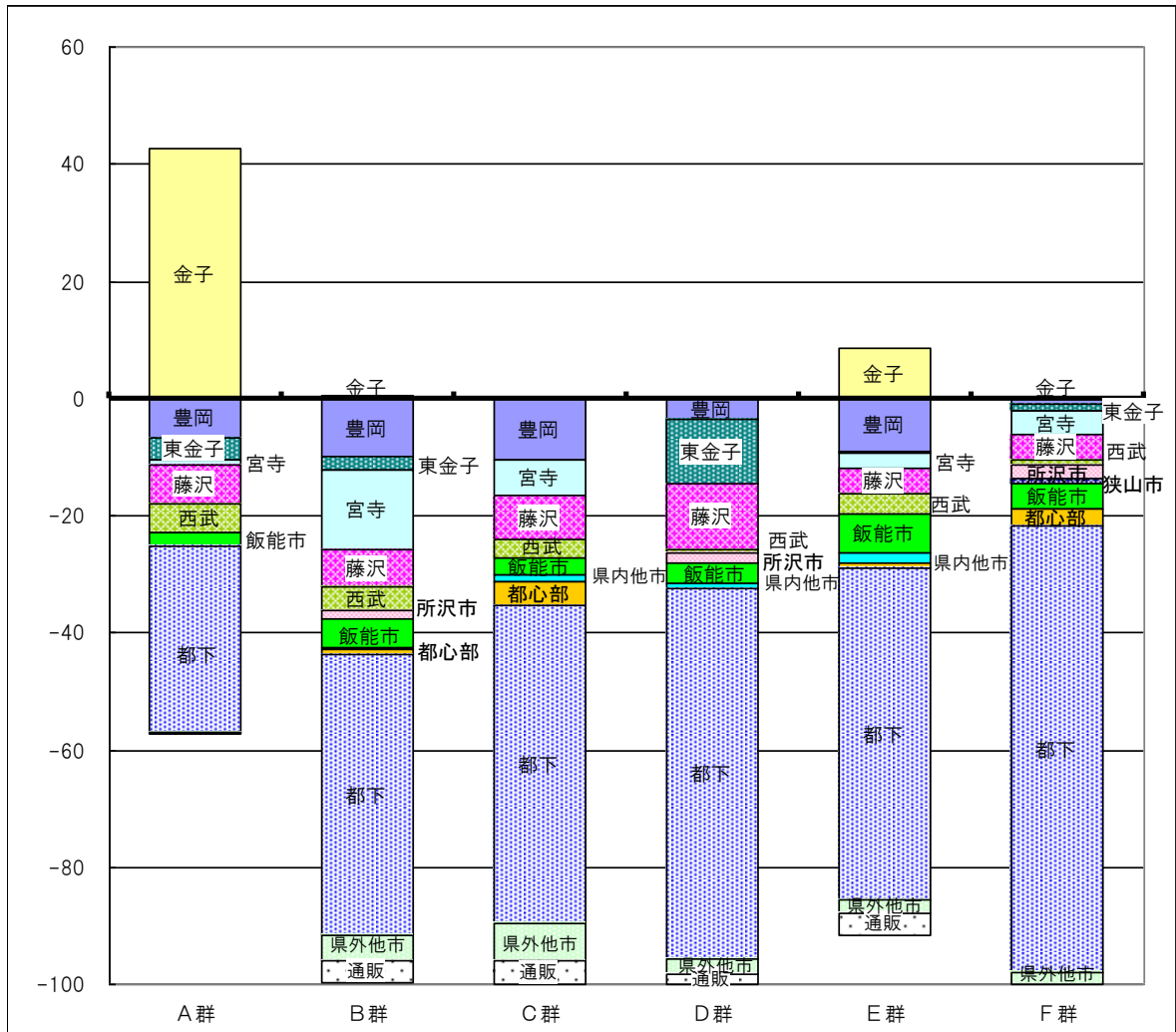
図表 2-20 金子地区居住者の商品群別にみた主な買物場所 (単位:%)

商業集積地		A 群 食料品・ 日用雑貨	B 群 衣料品・ 男女用品	C 群 靴・カバン	D 群 家具・家電 ・自転車	E 群 医薬化粧・ 書籍玩具	F 群 買物、飲を 楽しむ
市内	金子	42.7	0.4	0.0	0.0	8.5	0.0
	豊岡地区計	6.6	10.0	10.4	3.4	8.9	1.0
	豊岡	4.4	10.0	10.4	3.4	8.9	1.0
	東町	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	黒須	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	東金子	4.0	2.1	0.0	11.1	0.4	1.0
	宮寺・二本木	0.9	13.8	6.3	0.0	2.6	4.2
	藤沢地区計	6.6	6.3	7.3	11.1	4.4	4.2
	上藤沢	4.8	5.8	6.3	0.9	4.1	4.2
	下藤沢	1.8	0.4	1.0	10.3	0.4	0.0
	西武地区計	4.8	4.2	3.1	0.9	3.3	1.0
	仏子	3.1	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0
	野田	1.8	4.2	3.1	0.9	0.4	1.0
	市内	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	入間市計	65.6	36.7	27.1	26.5	28.1	11.5
	県内他市	所沢市	0.0	1.3	0.0	1.7	0.0
狭山市		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
飯能市		2.2	5.0	3.1	3.4	6.7	4.2
川越市		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
県内他市		0.0	0.4	1.0	0.9	1.9	0.0
県外	都心部	0.0	0.8	4.2	0.0	0.7	3.1
	都下	31.7	47.9	54.2	63.2	56.7	76.0
	東京以外県外	0.4	4.2	6.3	2.6	2.2	2.1
	通信販売	0.0	3.8	4.2	1.7	3.7	0.0

(注) 網掛部分は吸引率5%以上である。

図表 2-21 金子地区居住者の地区外流出率

(単位:%)



②金子地区への流入状況

金子地区内商業集積地への流入状況は、図表 2-22 のとおりです。他地区から金子地区への流入はほとんどみられません。

図表 2-22 各地区から金子地区内商業集積地への流入率

(単位:%)

金子地区へ流入率	A 群	B 群	C 群	D 群	E 群	F 群
豊岡地区から	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
東金子地区から	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
宮寺・二本木地区から	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
藤沢地区から	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
西武地区から	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0

(4) 宮寺・二本木地区

① 宮寺・二本木地区の居住者が買物に行く商業集積地について

宮寺・二本木地区居住者の主な買物場所は、図表 2-23 のとおりです。商品群別に買物先をみると、A 群、D 群の地元利用率が低くなっています。地元以外の市内では、すべての商品・サービス群について豊岡地区と藤沢地区を利用しています。

市外では、すべての商品・サービス群について都下の利用がみられ、A 群以外は所沢市も利用し、C 群と D 群は都心部の利用もみられます。

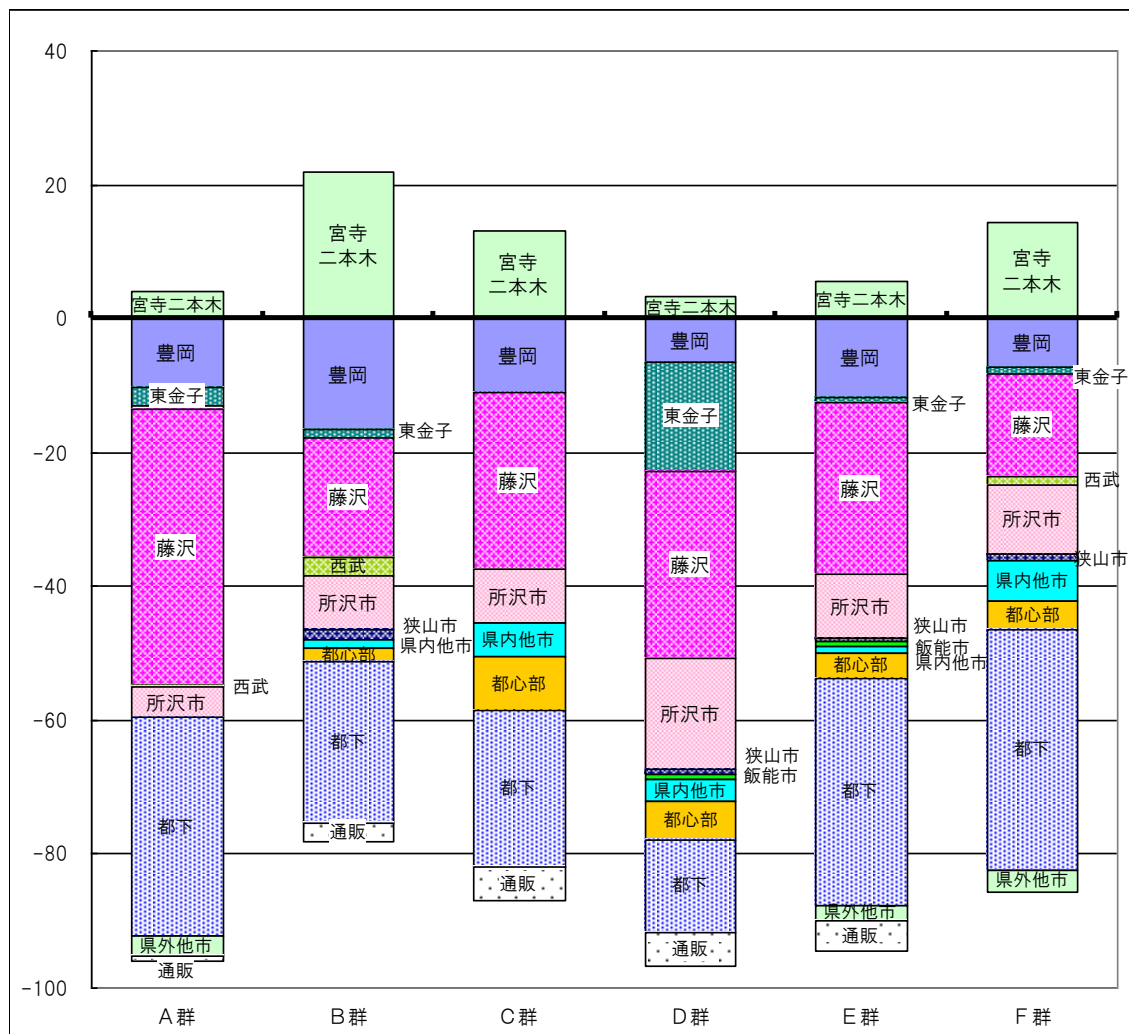
図表 2-23 宮寺・二本木地区居住者の商品群別にみた主な買物場所 (単位: %)

商業集積地		A 群 食料品・ 日用雑貨	B 群 衣料品・ 男女用品	C 群 靴・カバン	D 群 家具・家電 ・自転車	E 群 医薬化粧・ 書籍玩具	F 群 買物、飲を 楽しむ
市内	宮寺・二本木	4.1	21.8	13.1	3.3	5.6	14.4
	豊岡地区計	10.2	16.7	11.1	6.6	11.9	7.2
	豊岡	7.3	15.9	11.1	4.1	10.4	7.2
	東町	0.0	0.4	0.0	0.0	0.7	0.0
	黒須	2.9	0.4	0.0	2.5	0.7	0.0
	東金子	2.9	1.2	0.0	16.4	0.7	1.0
	金子	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	藤沢地区計	41.2	17.9	26.3	27.9	25.6	15.5
	上藤沢	16.3	10.3	20.2	3.3	11.1	13.4
	下藤沢	24.9	7.5	6.1	24.6	14.4	2.1
	西武地区計	0.4	2.8	0.0	0.0	0.0	1.0
	仏子	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	野田	0.4	2.8	0.0	0.0	0.0	1.0
	市内	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	入間市計	59.2	60.3	50.5	54.1	43.7	39.2
その他県内	所沢市	4.5	7.9	8.1	16.4	9.6	10.3
	狭山市	0.0	1.6	0.0	0.8	0.4	1.0
	飯能市	0.0	0.0	0.0	0.8	0.7	0.0
	川越市	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	県内他市	0.0	1.2	5.1	3.3	1.1	6.2
県外	都心部	0.0	2.0	8.1	5.7	3.7	4.1
	都下	32.7	24.2	23.2	13.9	34.1	36.1
	東京以外県外	2.9	0.0	0.0	0.0	2.2	3.1
	通信販売	0.8	2.8	5.1	4.9	4.4	0.0

(注) 網掛部分は吸引率 5%以上である。

図表 2-24 宮寺・二本木地区居住者の地区外流出率

(単位:%)



②宮寺・二本木地区への流入状況

宮寺・二本木地区内商業集積地への流入状況は、図表 2-25 のとおりです。C 群はすべての地区から、B 群は西武地区以外から、F 群は金子地区以外から、宮寺・二本木地区への流入がみられます。

図表 2-25 各地区から宮寺・二本木地区内商業集積地への流入率

(単位:%)

宮寺・二本木への流入率	A 群	B 群	C 群	D 群	E 群	F 群
豊岡地区から	1.2	5.1	11.1	0.3	2.4	9.8
東金子地区から	0.7	11.8	11.8	0.0	2.8	8.7
金子地区から	0.9	13.8	6.3	0.0	2.6	4.2
藤沢地区から	0.7	6.6	10.3	0.7	2.7	8.6
西武地区から	0.6	3.9	7.4	1.1	2.1	8.6

(注) 網掛部分は吸引率 5%以上である。

(5) 藤沢地区

① 藤沢地区の居住者が買物に行く商業集積地について

藤沢地区居住者の主な買物場所は、図表 2-26 のとおりです。商品群別に買物先をみると、すべての商品・サービス群について4割以上が地元を移用しています。地元以外の市内では、D群以外は豊岡地区を利用していますが、その他の地区の利用はほとんどみられません。

市外では、すべての商品・サービス群について所沢市を利用しており、B群、C群、F群については東京都の利用がみられます。

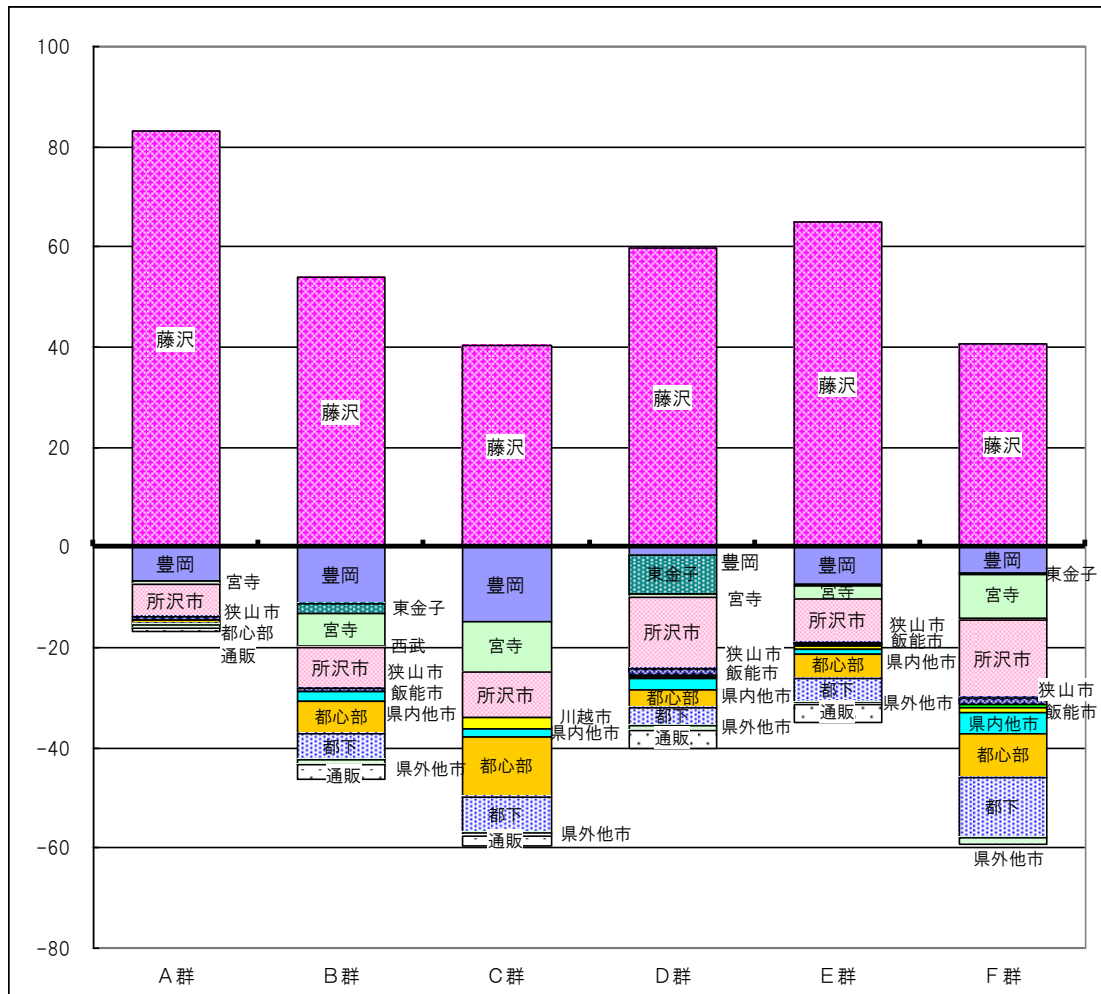
図表 2-26 藤沢地区居住者の商品群別にみた主な買物場所 (単位:%)

商業集積地		A 群 食料品・ 日用雑貨	B 群 衣料品・ 男女用品	C 群 靴・カバン	D 群 家具・家電 ・自転車	E 群 医薬化粧・ 書籍玩具	F 群 買物、飲を 楽しむ
市内	藤沢地区計	83.2	53.8	40.3	59.8	65.0	40.7
	上藤沢	13.6	24.0	23.8	10.0	22.8	29.0
	下藤沢	69.6	29.8	16.6	49.8	42.2	11.7
	豊岡地区計	6.6	11.1	14.7	1.7	7.4	5.2
	豊岡	5.9	10.6	14.1	1.2	6.6	3.1
	東町	0.0	0.4	0.6	0.0	0.4	1.4
	黒須	0.7	0.1	0.0	0.5	0.3	0.7
	東金子	0.1	1.9	0.0	7.7	0.0	0.3
	金子	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
	宮寺・二本木	0.7	6.6	10.3	0.7	2.7	8.6
	西武地区計	0.1	0.3	0.0	0.0	0.1	0.0
	仏子	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	野田	0.0	0.3	0.0	0.0	0.1	0.0
	市内	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3
	入間市計	90.7	73.7	65.3	69.9	75.4	55.2
その他県内	所沢市	6.3	8.3	9.1	14.1	8.7	15.5
	狭山市	0.7	0.5	0.0	1.2	0.3	1.4
	飯能市	0.1	0.1	0.0	0.5	0.4	0.7
	川越市	0.0	0.1	2.2	0.5	0.6	1.0
	県内他市	0.0	1.9	1.6	2.2	1.0	4.1
県外	都心部	0.7	6.2	11.9	3.6	4.8	8.6
	都下	0.3	5.4	7.2	3.6	4.7	12.1
	東京以外県外	0.5	0.9	0.6	1.0	0.6	1.4
	通信販売	0.8	2.8	2.2	3.6	3.5	0.0

(注) 網掛部分は吸引率5%以上である。

図表 2-27 藤沢地区居住者の地区外流出率

(単位:%)



②藤沢地区への流入状況

藤沢地区内商業集積地への流入状況は、図表 2-28 のとおりです。B 群、C 群、D 群はすべての地区から流入し、A 群は西武地区以外、E 群、F 群は金子地区以外の地区から藤沢地区へ流入しています。

図表 2-28 各地区から藤沢地区内商業集積地への流入率 (単位:%)

藤沢地区への流入率	A 群	B 群	C 群	D 群	E 群	F 群
豊岡地区から	43.8	30.8	30.4	44.5	38.5	28.8
東金子地区から	34.9	24.9	27.5	37.8	31.5	26.1
金子地区から	6.6	6.3	7.3	11.1	4.4	4.2
宮寺・二本木地区から	41.2	17.9	26.3	27.9	25.6	15.5
西武地区から	3.2	9.9	12.7	16.4	6.7	14.3

(注) 網掛部分は吸引率 5% 以上である。

(6)西武地区

①西武地区の居住者が買物に行く商業集積地について

西武地区居住者の主な買物場所は、図表2-29のとおりです。商品群別に買物先をみると、C群、D群の地元利用率が低くなっています。地元以外の市内では、A群は豊岡地区、A群以外は豊岡地区と藤沢地区、さらにC群とF群は宮寺・二本木、D群は東金子も利用しています。

市外では、すべての商品・サービス群について飯能市の利用がみられ、さらにB群は東京都、C群は所沢市と東京都、D群は所沢市、狭山市、県内他市、E群は狭山市と県内他市、F群は狭山市と東京都も利用しています。

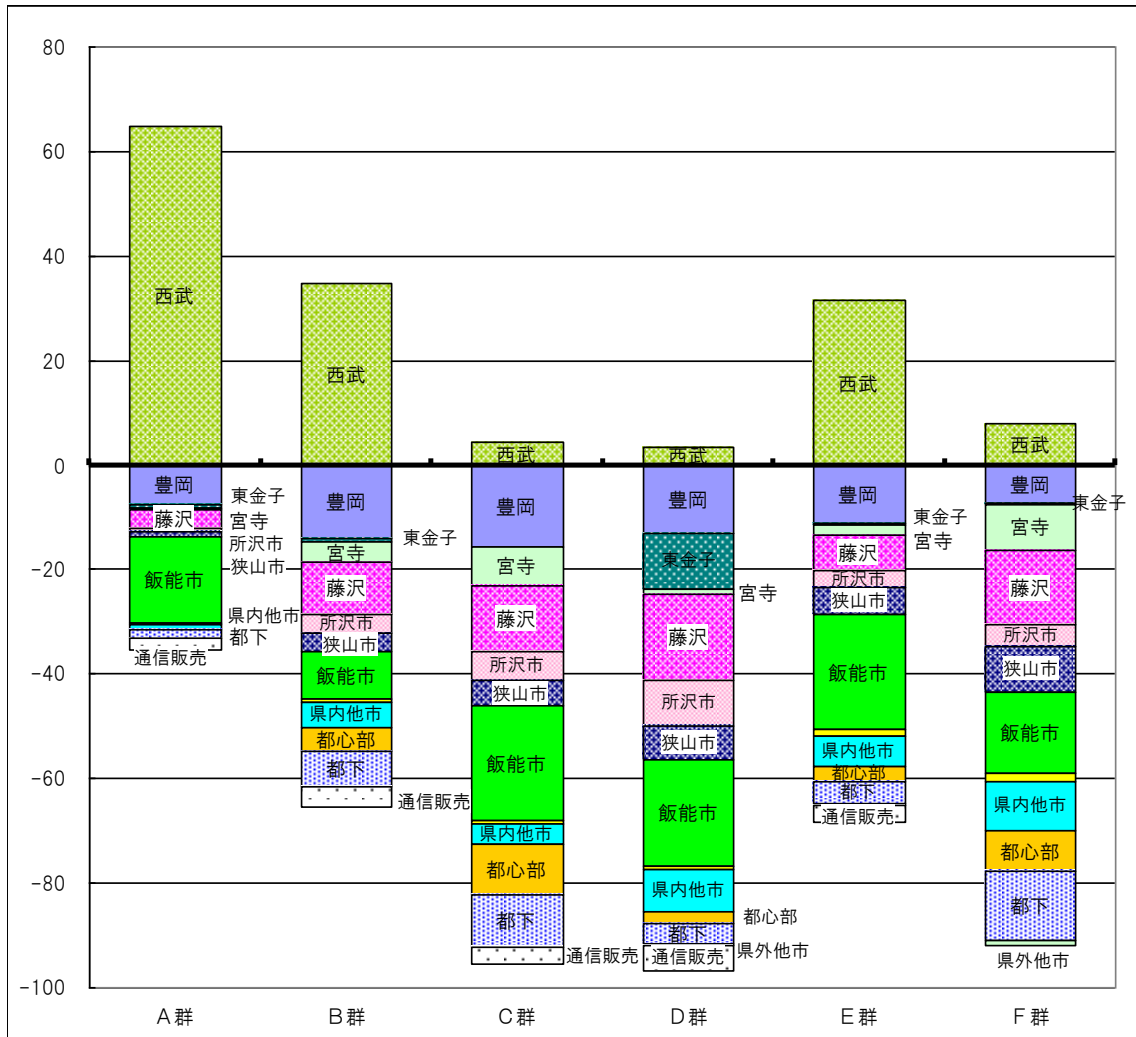
図表2-29 西武地区居住者の商品群別にみた主な買物場所 (単位:%)

商業集積地		A群 食料品・ 日用雑貨	B群 衣料品・ 男女用品	C群 靴・カバン	D群 家具・家電 ・自転車	E群 医薬化粧・ 書籍玩具	F群 買物、飲を 楽しむ
市内	西武地区計	64.8	34.7	4.4	3.3	31.6	8.1
	仏子	27.7	0.4	0.0	1.5	19.8	2.4
	野田	37.0	34.3	4.4	1.8	11.8	5.7
	豊岡地区計	7.5	14.0	15.7	13.1	11.1	7.1
	豊岡	2.0	14.0	15.2	6.2	8.6	6.2
	東町	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5
	黒須	5.5	0.0	0.5	6.9	2.5	0.5
	東金子	0.6	0.6	0.0	10.5	0.4	0.5
	金子	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	宮寺・二本木	0.6	3.9	7.4	1.1	2.1	8.6
	藤沢地区計	3.2	9.9	12.7	16.4	6.7	14.3
	上藤沢	2.8	9.3	12.3	4.4	5.6	13.8
	下藤沢	0.4	0.6	0.5	12.0	1.1	0.5
	市内	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	入間市内計	76.7	63.2	40.2	44.4	51.8	38.6
その他県内	所沢市	0.8	3.5	5.4	8.7	3.2	4.3
	狭山市	0.8	3.7	4.9	6.5	5.3	8.6
	飯能市	16.6	9.1	22.1	20.4	22.1	15.7
	川越市	0.2	0.8	0.5	0.7	1.2	1.4
	県内他市	1.0	4.8	3.9	8.0	5.6	9.5
県外	都心部	0.2	4.5	9.8	2.2	3.2	7.6
	都下	1.4	6.8	9.8	4.0	4.2	13.3
	東京以外県外	0.0	0.0	0.0	0.4	0.2	1.0
	通信販売	2.2	3.7	3.4	4.7	3.3	0.0

(注)網掛部分は吸引率5%以上である。

図表 2-30 西武地区居住者の地区外流出率

(単位:%)



②西武地区への流入状況

西武地区内商業集積地への流入状況は、図表 2-31 のとおりです。A 群、B 群、E 群について、東金子地区からのみ流入がみられます。

図表 2-31 各地区から西武地区内商業集積地への流入率

(単位:%)

西武地区へ流入率	A 群	B 群	C 群	D 群	E 群	F 群
豊岡地区から	1.5	3.2	0.7	0.1	1.5	0.6
東金子地区から	12.2	11.1	4.6	1.0	6.3	0.0
金子地区から	4.8	4.2	3.1	0.9	3.3	1.0
宮寺・二本木地区から	0.4	2.8	0.0	0.0	0.0	1.0
藤沢地区から	0.1	0.3	0.0	0.0	0.1	0.0

(注) 網掛部分は吸引率 5%以上である。

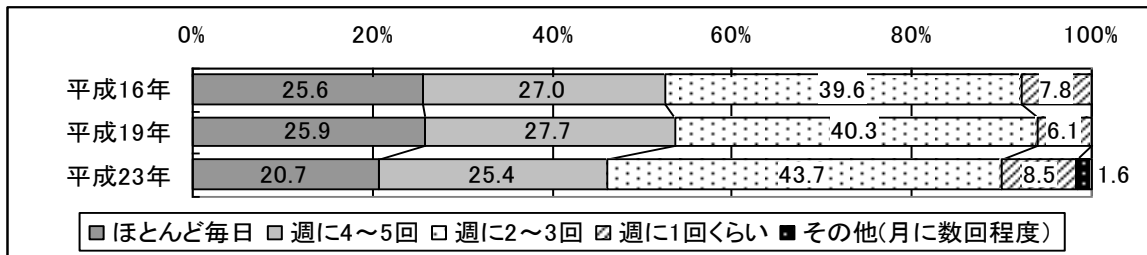
第3章 入間市民の買物行動

1. 消費者の買物行動

(1) 1週間の買物回数

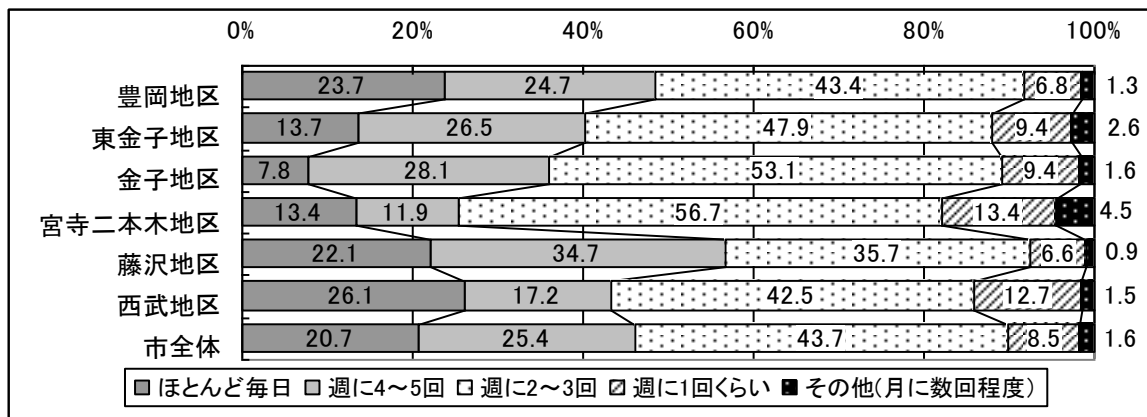
1週間の買物回数は、図表 3-1 のとおりです。「週に 2～3 回」(43.7%)が最も多く、次いで「週に 4～5 回」(25.4%)、「ほとんど毎日」(20.7%)と続きます。前回、前々回調査に比べると、「ほとんど毎日」が減少傾向にあり、「週に 2～3 回」は増加傾向にあります。

図表 3-1 1 週間の買物回数(前回、前々回調査との比較) (単位:%)



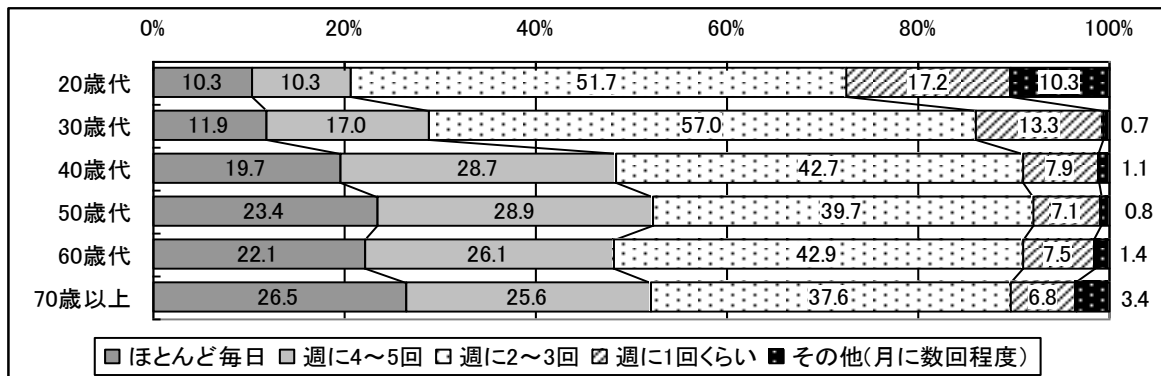
地区別の1週間の買物回数は、図表 3-2 のとおりです。藤沢地区で買物回数が多く、「ほとんど毎日」と「週に 4～5 回」を合わせると 50%を超えています。一方で、宮寺二本木地区は「週に 2～3 回」以下の割合がほぼ 75%と他地区より高くなっています。金子地区も同様に「週に 2～3 回」以下の回数は 64%となっています。

図表 3-2 地区別の 1 週間の買物回数 (単位:%)



年代別の1週間の買物回数は図表 3-3 のとおりです。20 歳代から 40 歳代までは年齢が高くなるほど買物回数が多くなる傾向にあり、50 歳代以上はあまり変わらない傾向がみられます。

図表 3-3 年代別の 1 週間の買物回数 (単位:%)

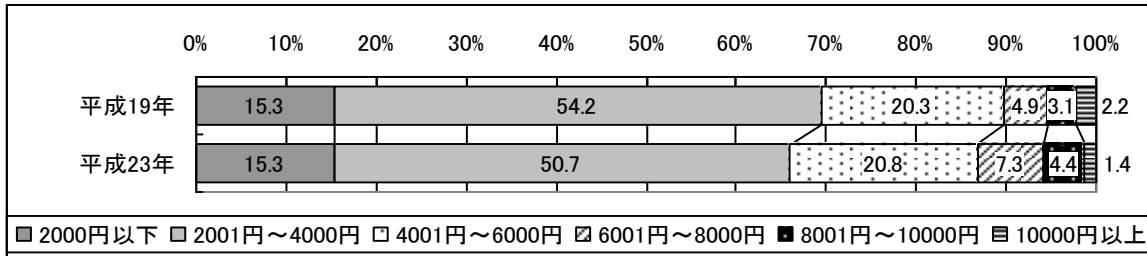


(2) 1回の買物の平均予算

1回の買物の平均予算は、図表3-4のとおりです。「2001円～4000円」(50.7%)が最も多く、次いで「4001円～6000円」(20.8%)、「2000円以下」(15.3%)の順となっています。前回調査で最も多い層であった「2001円～4000円」の割合は3.5ポイント減少しており、その分「4001円以上」の割合が増えています。

図表3-4 1回の買物の平均予算(前回調査との比較)

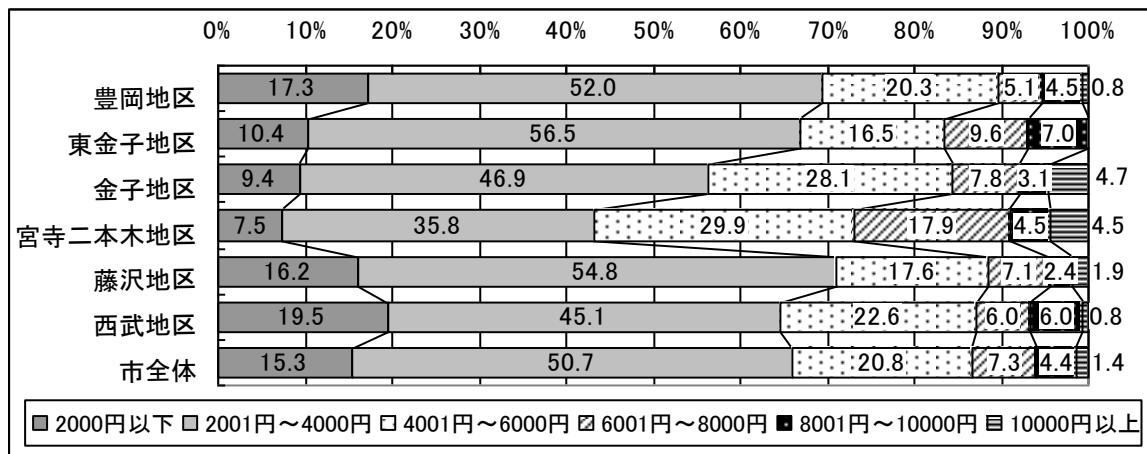
(単位:%)



地区別にみた1回の買物の平均予算は、図表3-5のとおりです。前回調査と比べて、2000円以下が2割を超える地区はなくなっています。買物回数の少ない「宮寺二本木地区」では「2001円～4000円」が35.8%と少なく、その分「4001円～6000円」や「6001円～8000円」の層が多くなっています。

図表3-5 地区別にみた1回の買物の予算

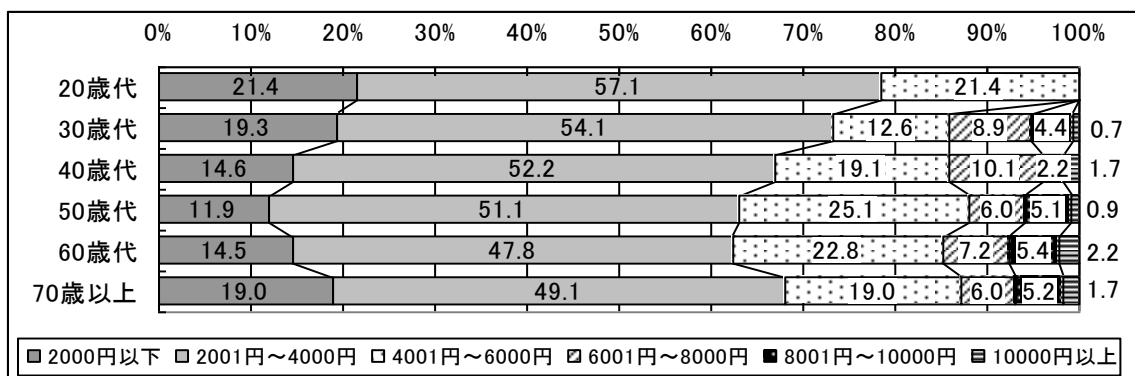
(単位:%)



年代別にみた1回の買物の平均予算は、図表3-6のとおりです。若い世代ほど平均額が低く、40歳代以上は「4001円～6000円」の割合が高くなる傾向にあります。

図表3-6 年代別にみた1回の買物の平均予算

(単位:%)



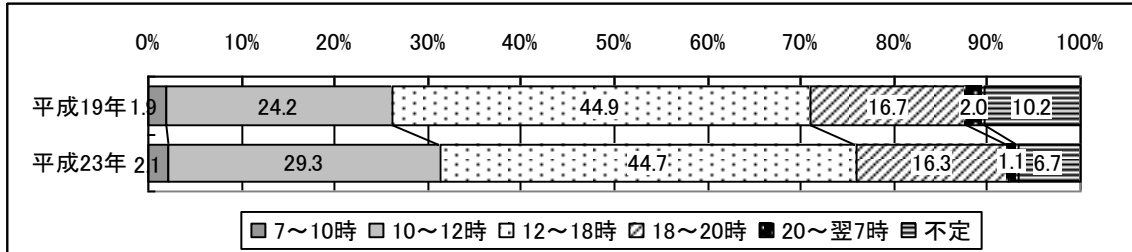
(3) 普段の買物時間帯

① 平日

平日の買物時間帯は、図表 3-7 のとおりです。「12～18 時」(44.7%)が最も多く、次いで「10～12 時」(29.3%)、「18～20 時」(16.3%)の順となっています。前回調査と比べて「10～12 時」がわずかですが増え、「不定」が減少しています。

図表 3-7 平日の買物時間帯(前回調査との比較)

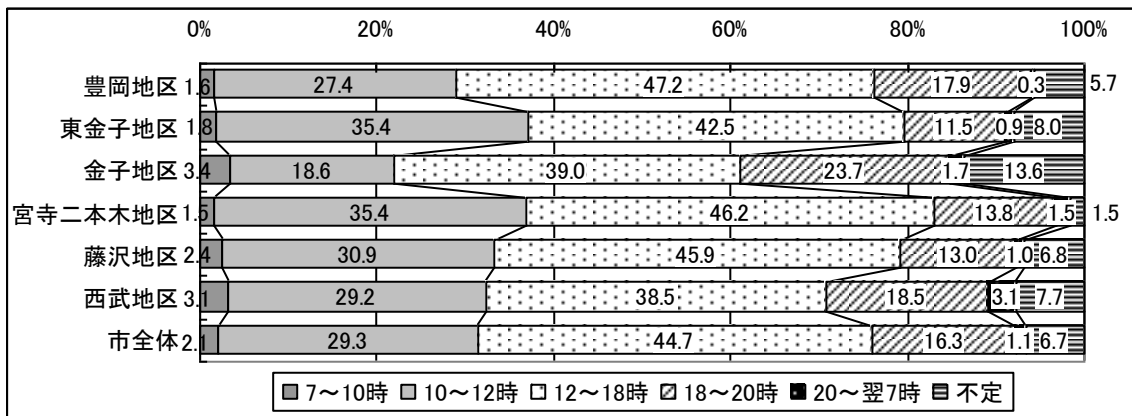
(単位:%)



地区別の平日の買物時間帯は、図表 3-8 のとおりです。各地区の傾向は市全体と同じですが、金子地区のみ「10～12 時」が 18.6%と低く、一方「18～20 時」が 20%を超え、かつ「不定」が非常に高くなっているなど、他地区と異なる買物行動がみられます。

図表 3-8 地区別の平日の買物時間帯

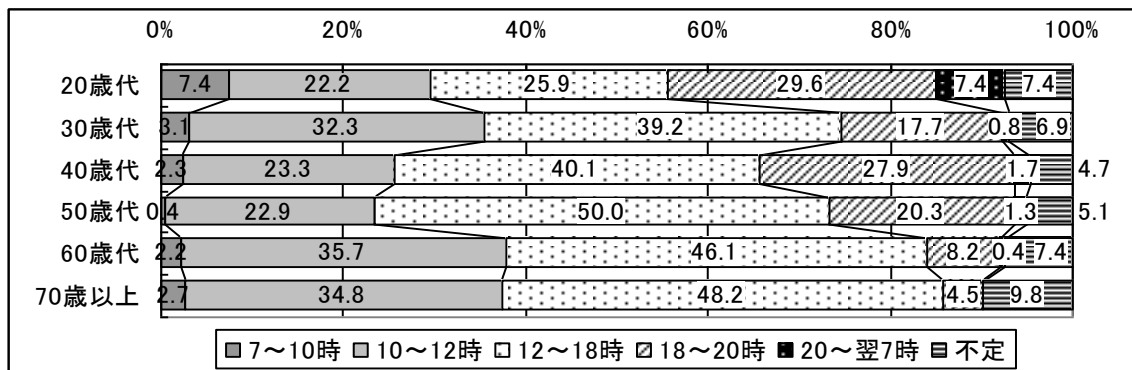
(単位:%)



年代別の平日の買物時間帯は、図表 3-9 のとおりです。30 歳代以上で「12～18 時」が最も多く、次いで 30 歳代と 60 歳代以上では「10～12 時」が多く、18 時以降は少なくなっています。一方、40 歳代、50 歳代は「10～12 時」が少なく、「18～20 時」が多くなっています。子育て中の 30 歳代は 75%が 18 時までには買物を終わています。20 歳代は、午前中、午後、夜の割合がほぼ同じで、様々な生活パターンが存在することがわかります。

図表 3-9 年代別の平日の買物時間帯

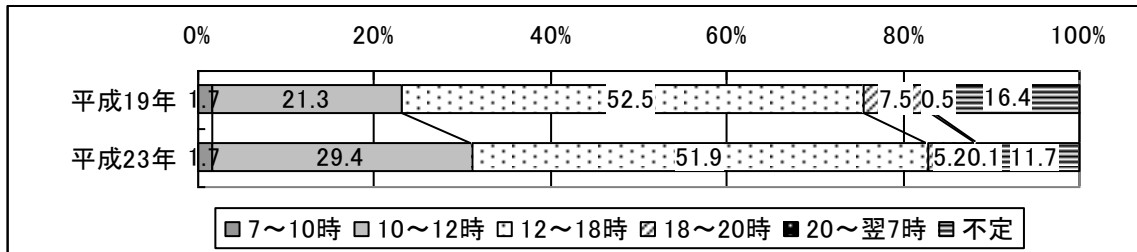
(単位:%)



②土日(祝日を含む)

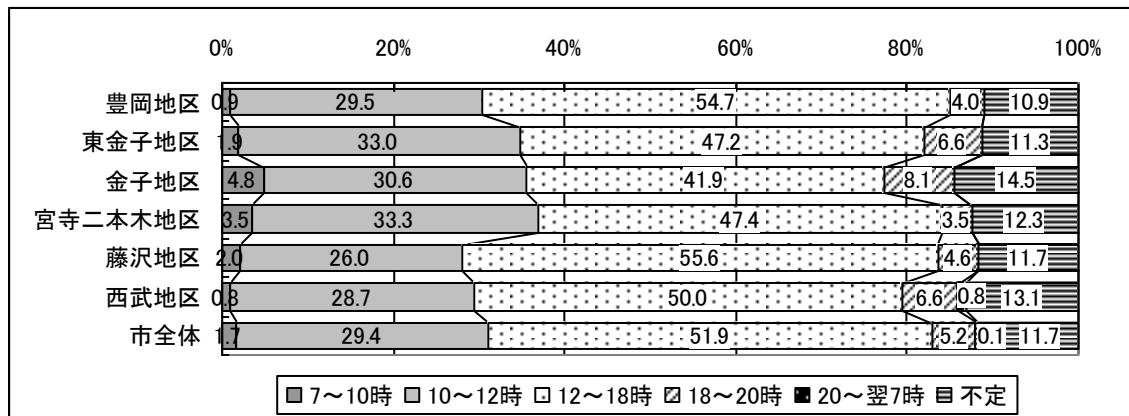
土日の買物時間帯は、図表 3-10 のとおりです。「12～18 時」(51.9%)が最も多く、次いで「10～12 時」(29.4%)、「不定」(11.7%)の順となっています。前回調査と比べて「10～12 時」が増えています。

図表 3-10 土日の買物時間帯(前回調査との比較) (単位:%)



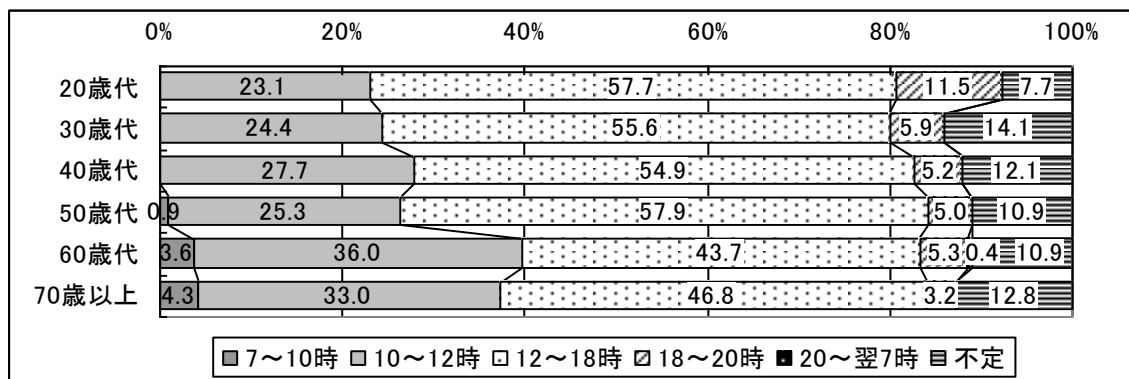
地区別の土日の買物時間帯は、図表 3-11 のとおりです。豊岡地区、藤沢地区、西武地区は市全体とほぼ同じですが、東金子地区、金子地区、宮寺二本木地区は、午前中に買物する割合が市全体よりも高い傾向にあります。また、金子地区は「12～18 時」の割合が他地区よりも低く、「18～20 時」が他地区に比べて若干高くなっています。

図表 3-11 地区別の土日の買物時間帯 (単位:%)



年代別の土日の買物時間帯は、図表 3-12 のとおりです。午前中に買物をする人の割合は、50 歳代以下で 3 割弱に対し、60 歳代以上では 4 割近くとなっており、一方、「12～18 時」に買物する割合は、60 歳代以上で 5 割弱に対し、50 歳代以下では 6 割近くみられます。20 歳代で「18～20 時」の割合が 1 割を超えています。

図表 3-12 年代別の土日の買物時間帯 (単位:%)

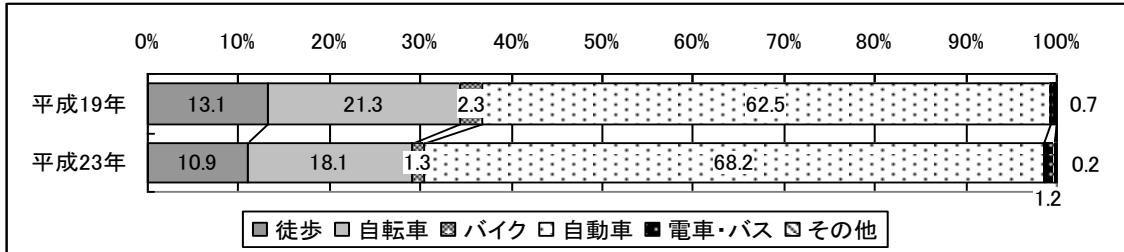


(4) 買物時の主な利用交通手段

買物時によく利用する交通手段の経年変化は、図表3-13のとおりです。前回調査以降に大規模駐車場を完備した郊外型の大型店の出店により、「自動車」の利用がやや増加しています。一方で、「自転車」や「徒歩」の利用は減少しています。

図表 3-13 買物時の利用交通手段(前回調査との比較)

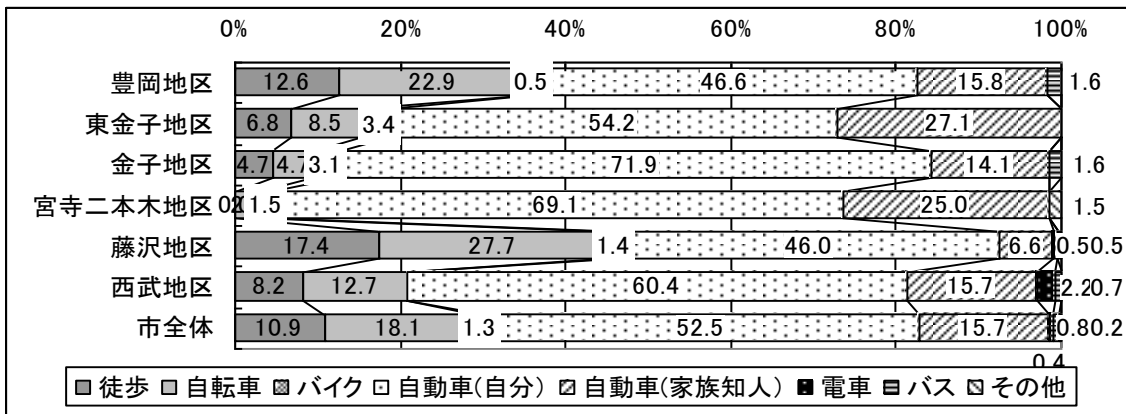
(単位:%)



今回調査では、自動車の利用を「自分の運転」と「家族知人の運転」と区分しており、地区別の買物時の主な利用交通手段は、図表 3-14 のとおりです。市全体でみますと、「自動車」(自分)が 52.5%で最も多く、次いで「自転車」18.1%、「自動車」(家族知人)15.7%、「徒歩」10.9%と続いています。地区別に自動車利用(計)をみますと、地区内に商店が少ない宮寺二本木・金子・東金子の3地区は 94.1%・86.0%・81.3%と他地区より高くなっています。一方、大型店が集積する藤沢・豊岡地区は、52.6%・62.4%と低く、自転車利用や徒歩の割合が高くなっています。

図表 3-14 地区別の買物時利用交通手段

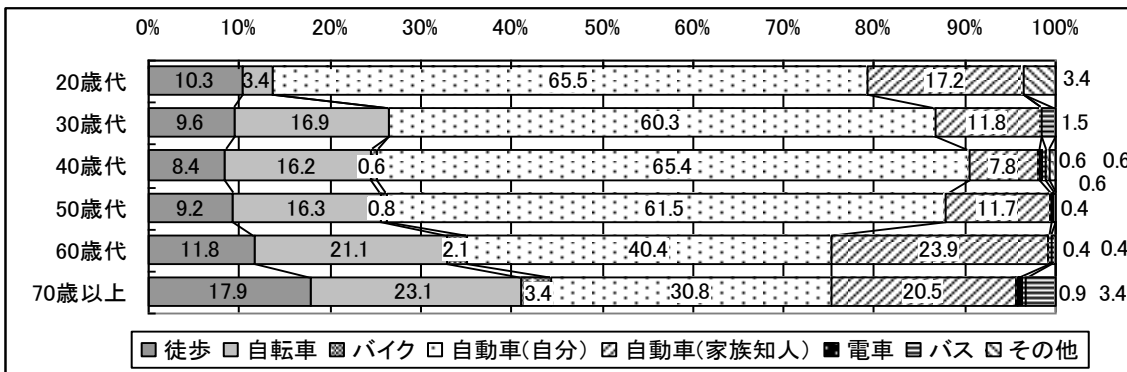
(単位:%)



年代別の買物時の主な利用交通手段は、図表 3-15 のとおりです。自動車利用(自分+家族知人)の割合は、50歳代以下は7割を超えていますが、60歳代は6割台、70歳以上は5割以下と低くなっています。特に60歳代以上では「自分」での運転が減少し、「家族知人」の比率が高くなっています。また、「徒歩」と「自転車」の利用率は年齢が高くなるに従って高くなっています。なお、20歳代・30歳代はバイク・電車・バスを利用していません。

図表 3-15 年代別の買物時利用交通手段

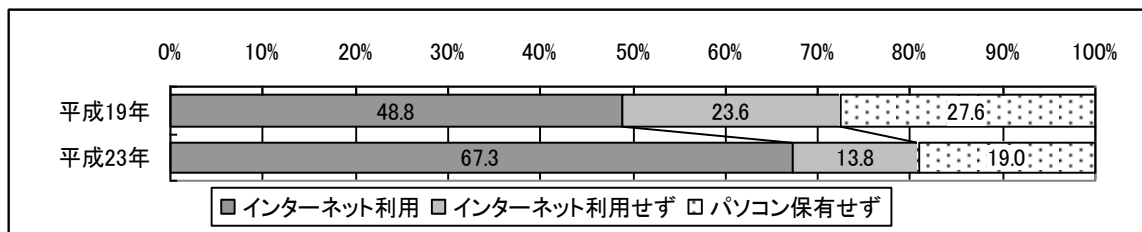
(単位:%)



(5) パソコン普及率とインターネットの利用状況

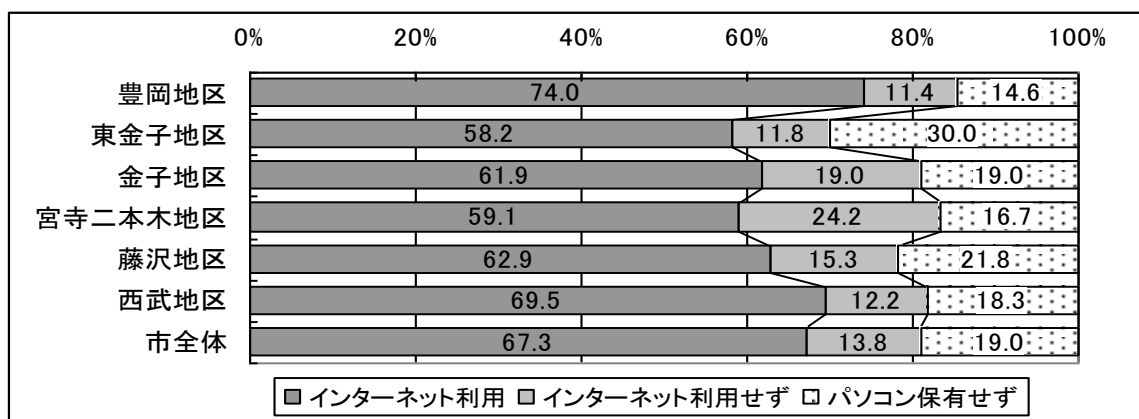
パソコン普及率とインターネットの利用状況の経年変化は、図表3-16のとおりです。パソコンの普及率は、前回調査の72.4%から今回調査では81.1%と増加しています。そのうちインターネットの利用率は67.3%で、前回より18.5ポイント増加しています。また、パソコン所有者のインターネット利用率は83.0%となっています。

図表 3-16 パソコン普及率とインターネットの利用状況(前回調査との比較) (単位:%)



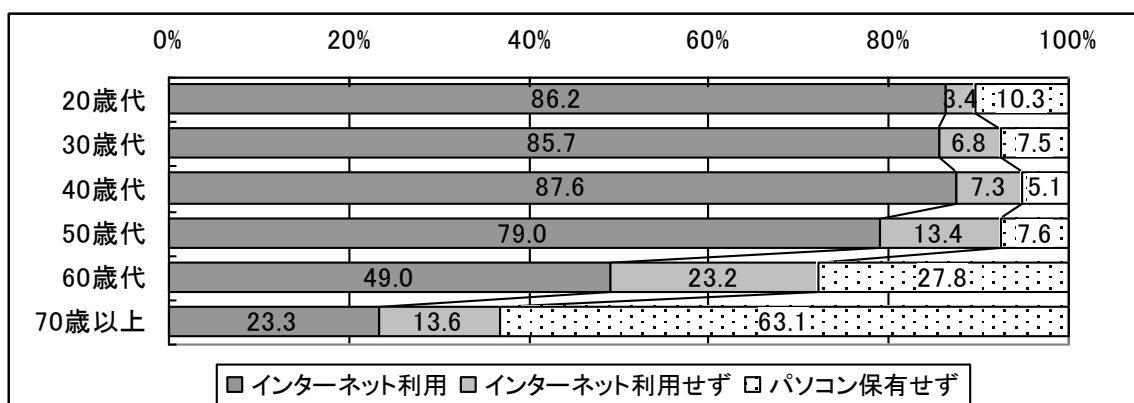
地区別のパソコン普及率とインターネットの利用状況は、図表3-17のとおりです。パソコン保有率は、東金子地区の7割に対し、他の地区では8割前後となっています。豊岡地区のパソコン保有率は85.4%と最も高く、インターネットの利用率も74.0%と最も高くなっています。

図表 3-17 地区別のパソコン普及率とインターネットの利用状況 (単位:%)



年代別のパソコン普及率とインターネットの利用状況は、図表3-18のとおりです。50歳代以下のパソコン保有率は9割に達しており、インターネット利用率も80%前後となっています。一方、年配者のパソコン保有率は、60歳代は72.2%、70歳以上は36.9%にとどまっていますが、60歳代以上のパソコン保有者の6割以上はインターネットを利用しています。

図表 3-18 年代別のパソコン普及率とインターネットの利用状況 (単位:%)



(6) 通信販売の利用状況

① 媒体別通信販売利用状況

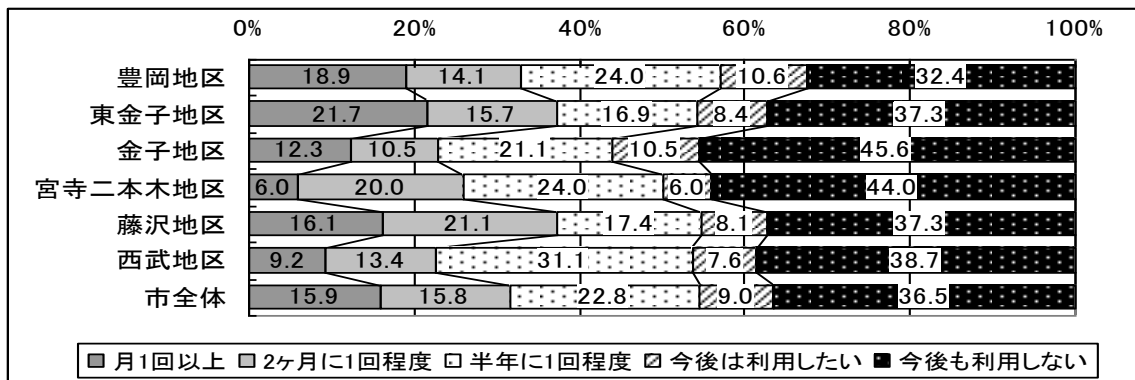
最近は、実店舗以外にさまざまな媒体による通信販売の利用率が高まっていることから、媒体別にその利用状況をまとめました。

a) インターネットショッピング

市全体および地区別のインターネットショッピングの利用状況は、図表 3-19 のとおりです。市全体では、「月 1 回以上」が 15.9%、「2 ヶ月に 1 回程度」が 15.8%、「半年に 1 回程度」が 22.8%で、合計すると 54.5%と過半数の人が利用しています。また、「今後は利用したい」が 9.0%、「利用していない」は 36.5%です。

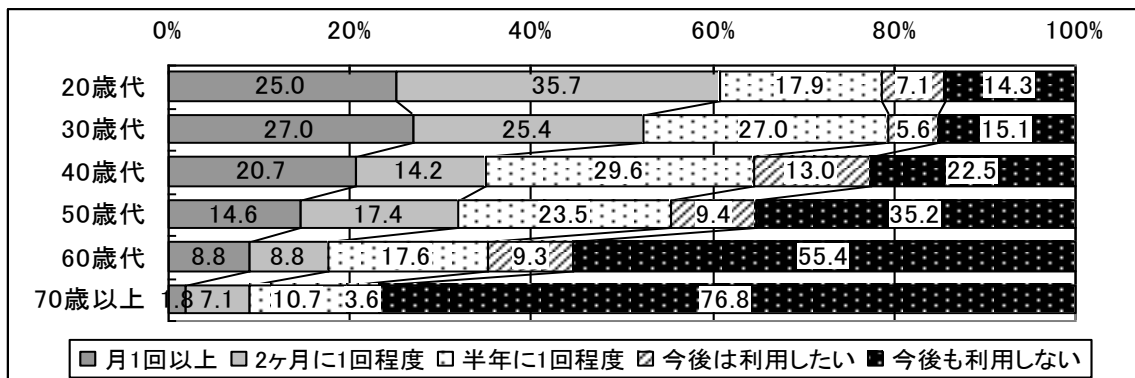
地区別のインターネットショッピング利用率(「月 1 回以上」～「半年に 1 回程度」の合計)をみると、金子地区で 43.9%と、他地区の割合より低くなっています。

図表 3-19 インターネットショッピング利用状況(市全体・地区別) (単位:%)



年代別のインターネットショッピング利用状況は、図表 3-20 のとおりです。利用率(「月 1 回以上」～「半年に 1 回程度」の合計)は、20 歳代で 78.6%、30 歳代 79.4%、40 歳代 64.5%、50 歳代 55.4%、60 歳代 35.2%、70 歳以上 19.6%となっています。月 1 回以上のヘビーユーザーは、30 歳代 27.0%、20 歳代 25.0%、40 歳代 20.7%で、それぞれ 20%を超えています。

図表 3-20 年代別のインターネットショッピング利用状況 (単位:%)



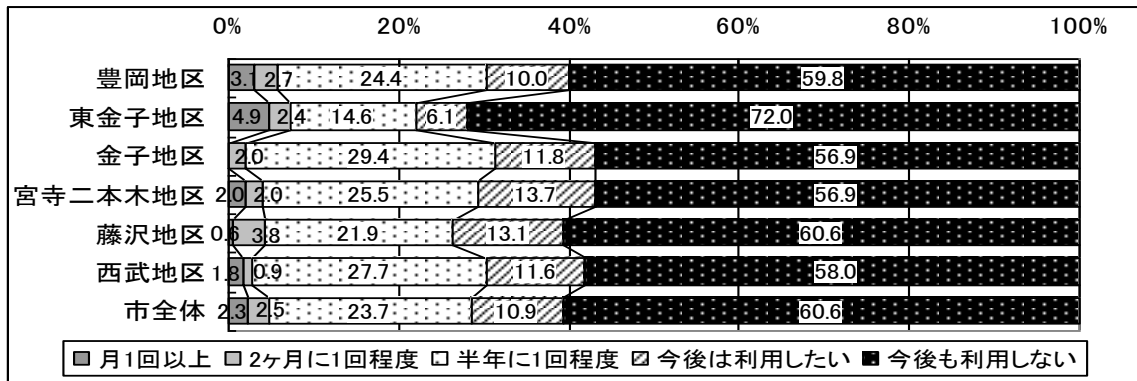
b) テレフォンショッピング

市全体および地区別のテレフォンショッピングの利用状況は、図表 3-21 のとおりです。市全体では、「月 1 回以上」が 2.3%、「2 ヶ月に 1 回程度」が 2.5%、「半年に 1 回程度」が 23.7%で、合計すると 28.5%となっています。また、「利用していない」割合は 71.5%で、利用していない方が圧倒的に多くなっています。

地区別にテレフォンショッピング利用率(「月 1 回以上」～「半年に 1 回程度」の合計)をみると、東金子地区で 21.9%と、他地区より低く、「今後は利用したい」も 1 割未満です。

図表 3-21 テレホンショッピング利用状況(市全体・地区別)

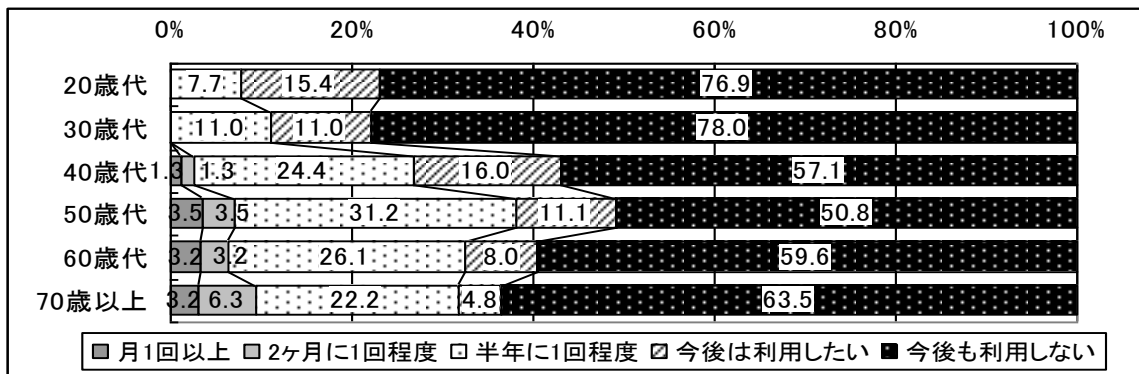
(単位:%)



年代別のテレホンショッピング利用状況は、図表 3-22 のとおりです。利用率(「月 1 回以上」～「半年に 1 回程度」の合計)は、20 歳代で 7.7%、30 歳代 11.0%、40 歳代 26.9%、50 歳代 38.2%、60 歳代 32.5%、70 歳以上で 31.7%と、40 歳代以下より 60 歳代、70 歳以上の方が高く、50 歳代が最も高くなっています。

図表 3-22 年代別のテレホンショッピング利用状況

(単位:%)

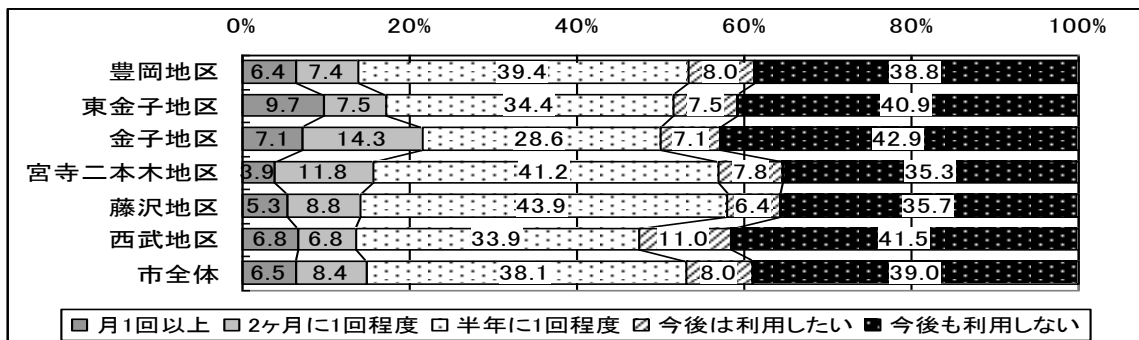


c)新聞・雑誌・カタログ販売

市全体および地区別の新聞・雑誌・カタログ販売の利用状況は図表 3-23 のとおりです。市全体では「月 1 回以上」が 6.5%、「2 ヶ月に 1 回程度」が 8.4%、「半年に 1 回程度」が 38.1%で、合計すると 53.0%となっています。また、「利用していない」割合は 47.0%です。地区別に利用率(「月 1 回以上」～「半年に 1 回程度」の合計)をみると、宮寺二本木地区と藤沢地区で市全体より高くなっています。

図表 3-23 新聞・雑誌・カタログ販売の利用状況(市全体・地区別)

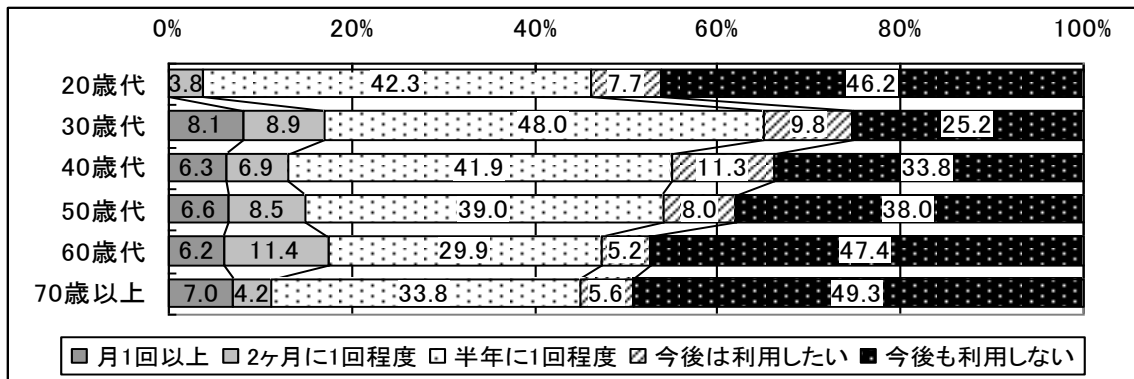
(単位:%)



年代別の新聞・雑誌・カタログ販売利用状況は、図表 3-24 のとおりです。利用率(「月 1 回以上」～「半年に 1 回程度」の合計)は、20 歳代で 46.1%、30 歳代 65.0%、40 歳代 55.1%、50 歳代 54.0%、60 歳代 47.5%、70 歳以上 45.0%と、30 歳代が最も高くなっています。

図表 3-24 年代別の新聞・雑誌・カタログ販売の利用状況

(単位:%)

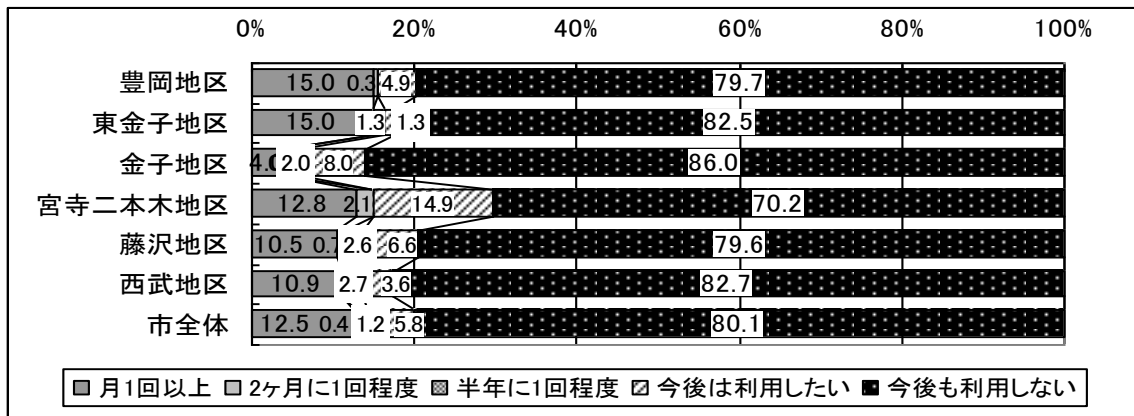


d) 共同購入(生協等が行うもの)

市全体および地区別の生協等が行う共同購入の利用状況は、図表 3-25 のとおりです。市全体では、「月 1 回以上」が 12.5%、「2ヶ月に 1 回程度」が 0.4%、「半年に 1 回程度」が 1.2%で、合計すると 14.1%です。また、「利用していない」割合は 85.9%です。地区別に利用率(「月 1 回以上」～「半年に 1 回程度」の合計)をみると、宮寺二本木地区は、「今後は利用したい」が 14.9%で、他地区より高くなっています。

図表 3-25 生協等が行う共同購入の利用状況(市全体・地区別)

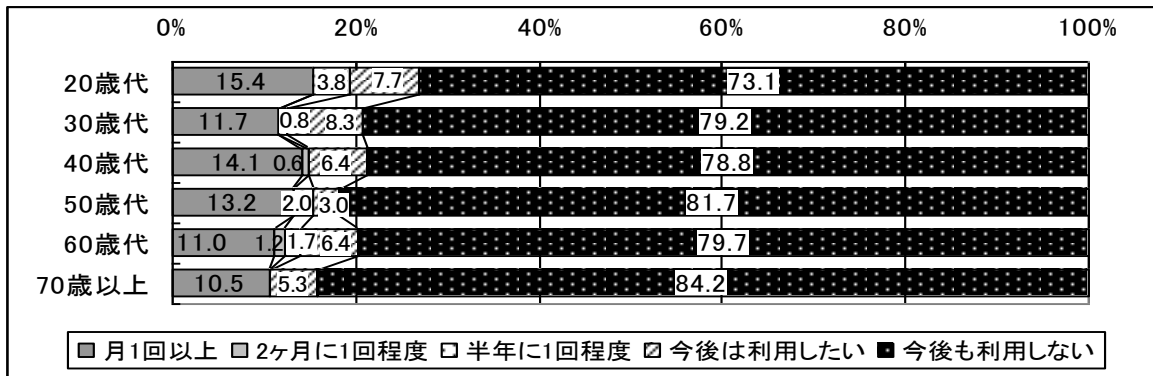
(単位:%)



年代別の生協等が行う共同購入の利用状況は、図表 3-26 のとおりです。利用率(「月 1 回以上」～「半年に 1 回程度」の合計)は、20 歳代で 19.2%、30 歳代 12.5%、40 歳代 14.7%、50 歳代 15.2%、60 歳代 13.9%、70 歳代以上 10.5%と、20 歳代が最も高くなっています。

図表 3-26 年代別の生協等が行う共同購入の利用状況

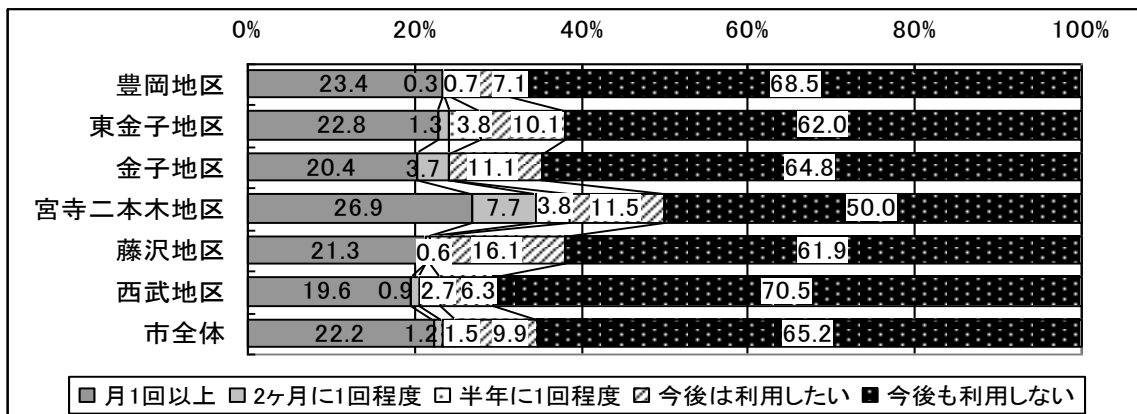
(単位:%)



e) 宅配サービス(生協等が行う)

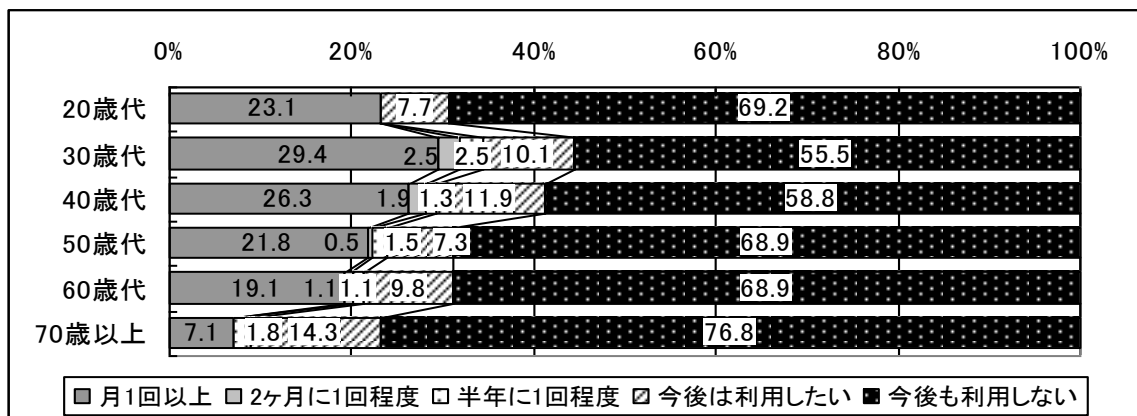
市全体および地区別の生協等が行う宅配サービスの利用状況は図表 3-27 のとおりです。市全体では、「月 1 回以上」が 22.2%、「2 ヶ月に 1 回程度」が 1.2%、「半年に 1 回程度」が 1.5%で、合計すると 24.9%となっており、共同購入の利用率 14.1%より高くなっています。また、「利用していない」割合は 75.1%です。地区別に利用率(「月 1 回以上」～「半年に 1 回程度」の合計)をみると、宮寺二本木地区の利用率が 38.4%と、他の地区より高くなっています。

図表 3-27 宅配サービス(生協等が行う)の利用状況(市全体・地区別) (単位:%)



年代別の生協等が行う宅配サービス共同購入の利用状況は、図表 3-28 のとおりです。利用率(「月 1 回以上」～「半年に 1 回程度」の合計)は、20 歳代で 23.1%、30 歳代 34.4%、40 歳代 29.5%、50 歳代 23.8%、60 歳代 21.3%、70 歳代以上 8.9%となっており、30 歳代の利用率が最も高くなっています。

図表 3-28 年代別の宅配サービス(生協等が行う)利用状況 (単位:%)

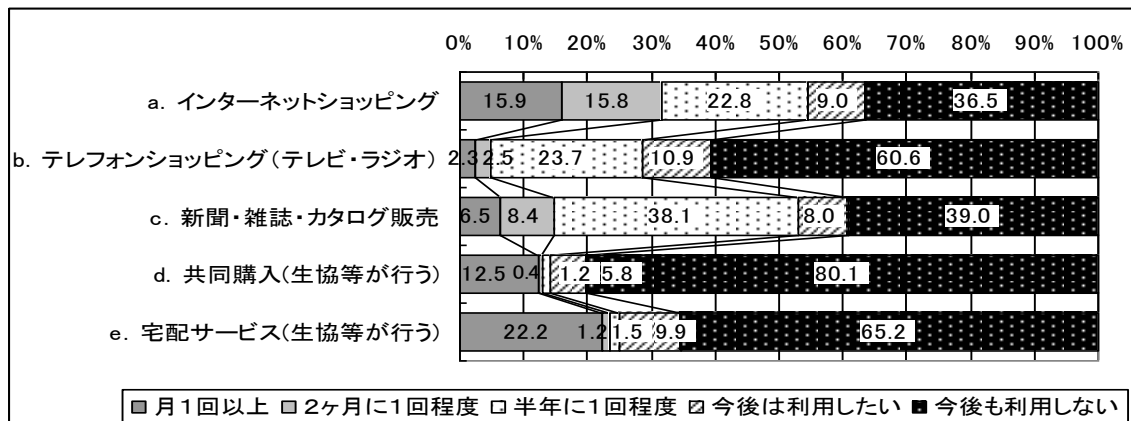


f) 通信販売利用頻度のとらまとめ

通信販売の媒体別利用頻度をまとめると、図表 3-29 のとおりです。「半年に 1 回以上」の利用率はインターネットショッピングが 54.5%で最も高く、次いで新聞・雑誌・カタログ販売が 53.0%、テレホンショッピング 39.4%となっています。「月 1 回以上」の利用率は、宅配サービス 22.2%、インターネットショッピング 15.9%、共同購入 12.5%の順で、生協等の行っている販売方法では、生活スタイルの変化もあり、共同購入より宅配サービスが高くなっています。

図表 3-29 通信販売の媒体別利用状況

(単位:%)



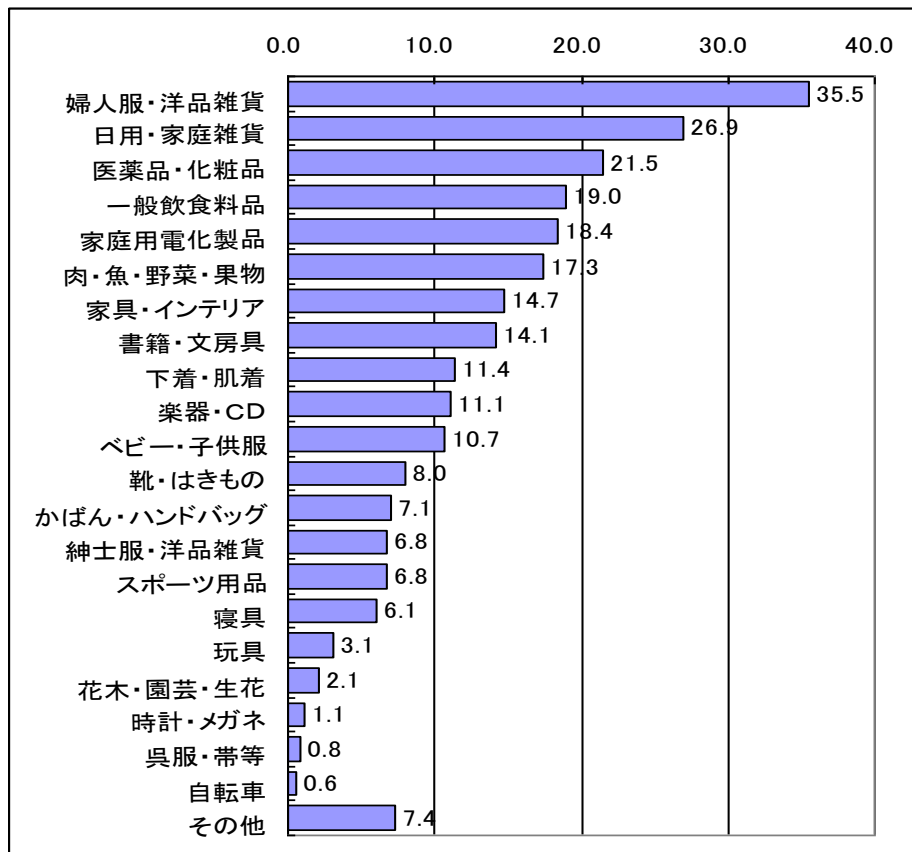
②通信販売で購入する商品

通信販売により購入する商品は、図表 3-30 のとおりです。

市全体では「婦人服・洋品雑貨」が 35.5%と突出しており、次いで「日用・家庭雑貨」が 26.9%、「医薬品・化粧品」が 21.5%と続いています。

図表 3-30 通信販売により購入する商品(複数回答)

(単位:%)



地区別にみた通信販売による購入商品は、図表 3-31 のとおりです。
地区別の購入商品の上位 3 商品は、次のようになっています。

豊岡地区 ①「婦人服・洋品雑貨」39.1%、②「日用・家庭雑貨」22.4%、③「医薬品・化粧品」19.6%
東金子地区 ①「婦人服・洋品雑貨」34.9%、②「日用・家庭雑貨」31.4%、③「一般飲食料品」25.6%
金子地区 ①「婦人服・洋品雑貨」29.8%、②「日用・家庭雑貨」「医薬品・化粧品」27.7%
宮寺二本木地区 ①「日用・家庭雑貨」40.8%、②「婦人服・洋品雑貨」34.7%、③「家庭用電化製品」24.5%
藤沢地区 ①「婦人服・洋品雑貨」35.3%、②「医薬品・化粧品」32.7%、③「日用・家庭雑貨」26.9%
西武地区 ①「婦人服・洋品雑貨」29.0%、②「日用・家庭雑貨」28.0%、③「家庭用電化製品」27.0%

図表 3-31 地区別の通信販売により購入する商品(複数回答) (単位:%)

商品区分	豊岡	東金子	金子	宮寺・ 二本木	藤沢	西武	市全体
婦人服・洋品雑貨	① 39.1	① 34.9	① 29.8	② 34.7	① 35.3	① 29.0	① 35.5
日用・家庭雑貨	② 22.4	② 31.4	② 27.7	① 40.8	③ 26.9	② 28.0	② 26.9
医薬品・化粧品	③ 19.6	16.3	② 27.7	12.2	② 32.7	15.0	③ 21.5
一般飲食料品	18.5	③ 25.6	25.5	14.3	14.1	22.0	19.0
家庭用電化製品	17.1	9.3	17.0	③ 24.5	19.2	③ 27.0	18.4
肉・魚・野菜・果物	19.2	18.6	14.9	12.2	15.4	18.0	17.3
家具・インテリア	15.7	17.4	4.3	16.3	17.3	10.0	14.7
書籍・文房具	15.7	15.1	12.8	6.1	14.1	14.0	14.1
下着・肌着	12.5	14.0	10.6	10.2	6.4	15.0	11.4
楽器・CD	9.6	9.3	4.3	16.3	14.7	10.0	11.1
ベビー・ 子供服	10.3	8.1	6.4	16.3	12.8	9.0	10.7
靴・はきもの	8.2	7.0	6.4	14.3	7.7	7.0	8.0
かばん・ハンドバッグ	7.1	7.0	4.3	2.0	7.1	11.0	7.1
紳士服・洋品雑貨	8.5	8.1	2.1	6.1	5.8	5.0	6.8
スポーツ用品	7.8	7.0	8.5	6.1	5.8	5.0	6.8
寝具	4.6	7.0	12.8	4.1	6.4	7.0	6.1
玩具	3.9	2.3	4.3	4.1	1.9	2.0	3.1
花木・園芸・生花	1.4	1.2	2.1	2.0	2.6	4.0	2.1
時計・メガネ	1.1	0.0	0.0	2.0	1.9	1.0	1.1
呉服・帯等	0.7	1.2	2.1	0.0	0.0	2.0	0.8
自転車	0.7	0.0	0.0	0.0	0.6	1.0	0.6
その他	7.1	11.6	17.0	4.1	4.5	6.0	7.4

年代別の購入商品の状況は、図表 3-32 のとおりです。年代別の上位 3 品目は、次のようになっています。

- 20 歳代 ①「婦人服・洋品雑貨」37.5%、②「日用・家庭雑貨」33.3%、③「ベビー・子供服」29.2%
- 30 歳代 ①「婦人服・洋品雑貨」46.0%、②「ベビー・子供服」37.1%、③「家具・インテリア」21.8%
- 40 歳代 ①「婦人服・洋品雑貨」40.6%、②「日用・家庭雑貨」25.2%、③「書籍・文房具」20.6%
- 50 歳代 ①「婦人服・洋品雑貨」38.4%、②「日用・家庭雑貨」32.6%、③「一般飲食料品」23.2%
- 60 歳代 ①「医薬品・化粧品」30.0%、②「婦人服・洋品雑貨」「日用・家庭雑貨」24.1%
- 70 歳以上 ①「日用・家庭雑貨」32.8%、②「婦人服・洋品雑貨」22.4%、③「肉・魚・野菜・果物」20.7%

以上のように、各年代層で「婦人服・洋品雑貨」と「日用・家庭雑貨」が上位に入っていますが、20 歳代、30 歳代の子育て世代では、「ベビー・子供服」が上位に入っているのが特徴です。

また、3 位の商品は、30 歳代では「家具・インテリア」、40 歳代は「書籍・文房具」、50 歳代は「一般飲食料品」、70 歳代では「肉・魚・野菜・果物」と、各年代層によって異なっており、バラエティに富んだ商品となっています。

図表 3-32 年齢別の通信販売により購入する商品(複数回答)

(単位:%)

商品区分	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上	市全体
婦人服・洋品雑貨	① 37.5	① 46.0	① 40.6	① 38.4	② 24.1	② 22.4	① 35.5
日用・家庭雑貨	② 33.3	20.2	② 25.2	② 32.6	② 24.1	① 32.8	② 26.9
医薬品・化粧品	20.8	18.5	19.4	20.5	① 30.0	12.1	③ 21.5
一般飲食料品	25.0	16.9	19.4	③ 23.2	15.3	17.2	19.0
家庭用電化製品	8.3	14.5	16.1	22.6	22.4	12.1	18.4
肉・魚・野菜・果物	16.7	19.4	13.5	20.5	14.7	③ 20.7	17.3
家具・インテリア	25.0	③ 21.8	12.3	13.7	12.4	12.1	14.7
書籍・文房具	4.2	15.3	③ 20.6	16.8	9.4	3.4	14.1
下着・肌着	0.0	12.1	14.8	8.9	12.4	10.3	11.4
楽器・CD	12.5	10.5	14.8	11.1	10.0	5.2	11.1
ベビー・子供服	③ 29.2	② 37.1	11.6	2.1	1.2	0.0	10.7
靴・はきもの	0.0	5.6	12.9	7.4	7.6	6.9	8.0
かばん・ハンドバッグ	4.2	4.0	7.7	11.1	6.5	1.7	7.1
紳士服・洋品雑貨	12.5	5.6	5.2	7.9	6.5	8.6	6.8
スポーツ用品	4.2	7.3	10.3	6.3	5.3	3.4	6.8
寝具	0.0	3.2	4.5	4.2	11.2	10.3	6.1
玩具	8.3	7.3	4.5	2.1	0.0	0.0	3.1
花木・園芸・生花	4.2	0.8	1.9	1.1	2.9	5.2	2.1
時計・メガネ	0.0	0.0	1.9	1.1	1.2	1.7	1.1
呉服・帯等	0.0	0.0	1.3	1.6	0.6	0.0	0.8
自転車	4.2	0.0	0.0	0.5	1.2	0.0	0.6
その他	12.5	5.6	8.4	8.4	4.1	12.1	7.4

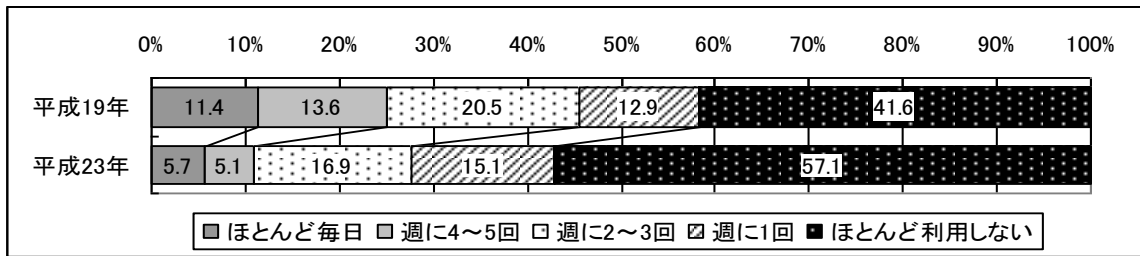
2. 商店街の利用状況と改善課題

(1) 地元商店街の利用状況

地元商店街の利用状況は、図表 3-33 のとおりです。市全体では 42.8%が利用していますが、前回調査の 58.4%から 15.8 ポイント減少しています。内訳をみると、「ほとんど毎日」と「週に 4~5 回」の多頻度利用者は 10.8%で、前回の調査の 25.0%と比べ 14.2 ポイント減少しています。一方、「ほとんど利用しない」が 57.1%と前回調査の 41.6%に比べて 15.5 ポイント増加しました。

図表 3-33 地元商店街の利用状況(前回調査との比較)

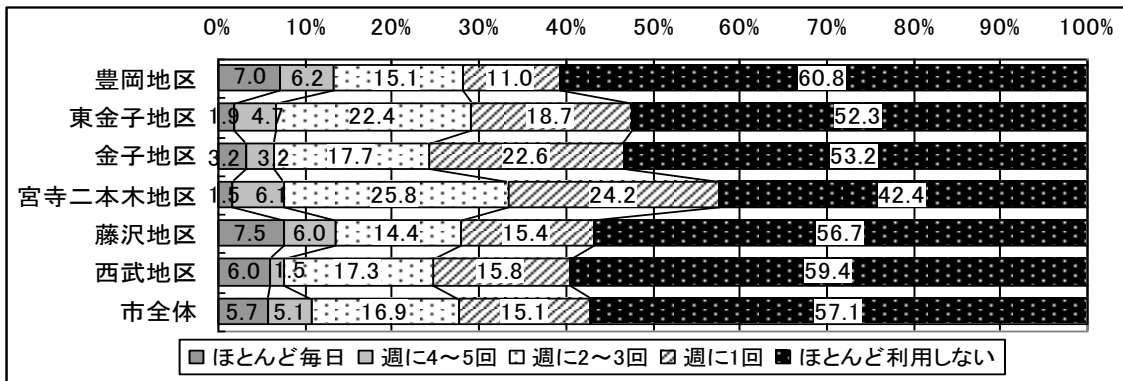
(単位:%)



地区別の地元商店街の利用状況は、図表 3-34 のとおりです。ほぼ市全体と同じですが、宮寺二本木地区の利用率が 57.6%と高くなっています。豊岡地区と藤沢地区で「ほとんど毎日」と「週に 4~5 回」の多頻度利用者が 10%を超えており、他の地区より高くなっています。

図表 3-34 地区別の地元商店街の利用状況

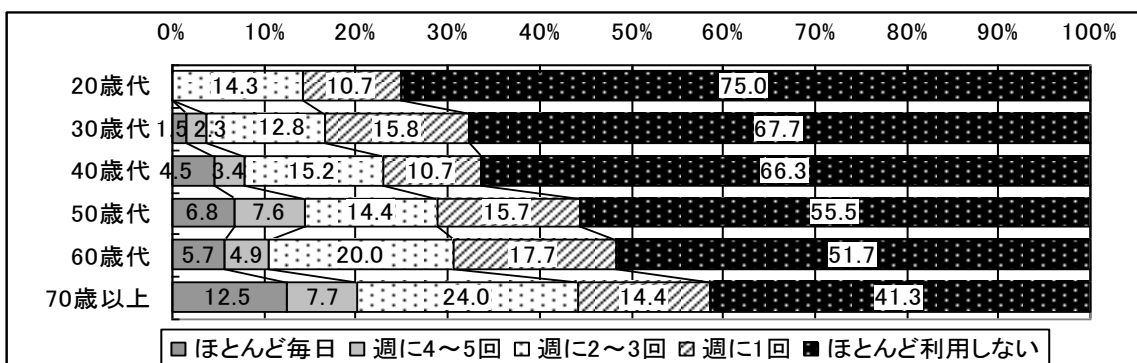
(単位:%)



年代別の地元商店街の利用状況は、図表 3-35 のとおりです。おおむね年齢が高くなるに従い利用率が増加しています。「ほとんど毎日」と「週に 4~5 回」の多頻度利用者も 60 歳代を除いて年齢が高くなるに従い増加傾向にあります。

図表 3-35 年代別の地元商店街の利用状況

(単位:%)

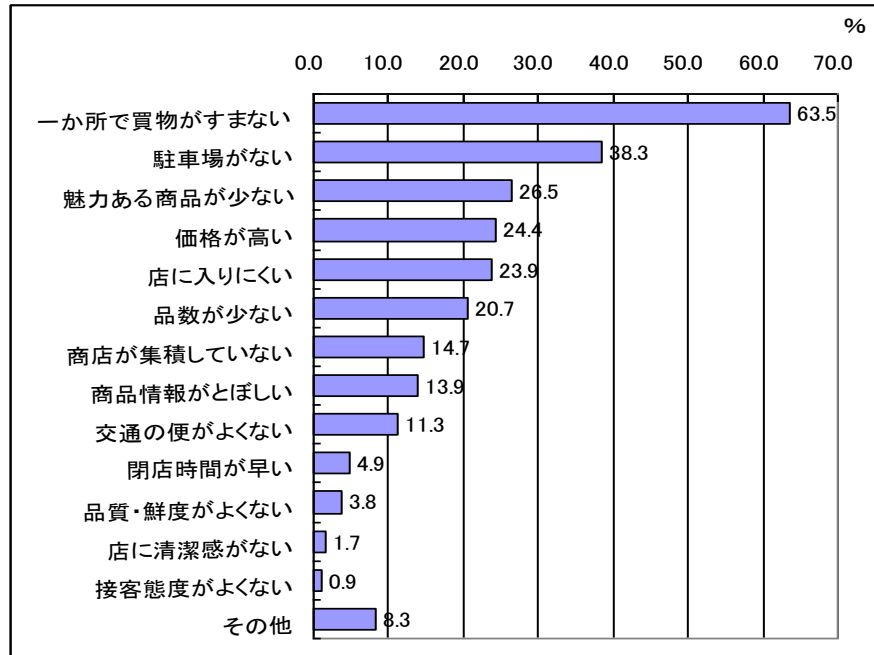


(2) 地元商店街の改善課題

① 地元商店街を利用しない理由

地元商店街をほとんど利用しない理由は、図表 3-36 のとおりです。「一か所で買物がすまない」が最も高く回答者の 63.5%を占めています。この理由は他に比べて突出して高く、時短、省力という一か所での買物スタイルが出来ないことが最大の難点となっています。次いで、「駐車場がない」38.3%、「魅力ある商品が少ない」26.5%、「価格が高い」24.4%、「店に入りにくい」23.9%と続いています。

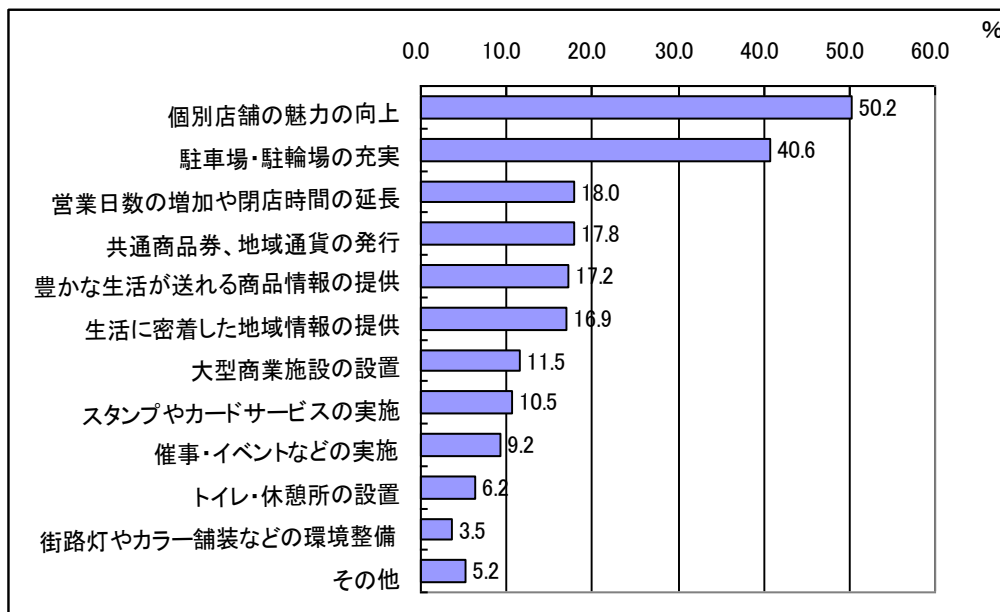
図表 3-36 地元商店街を利用しない理由(複数回答) (単位:%)



② 地元商店街を魅力的にするには

地元商店街を魅力的にするために重要なことをたずねたところ、図表 3-37 のとおりとなっています。「個別店舗の魅力の向上」が最も高く 50.2%です。日常の買物は時短、省力ですが、魅力的な店には手間をかけて買物に行くスタイルが見えます。次いで「駐車場・駐輪場の充実」40.6%が続き、この 2 項目が突出しています。

図表 3-37 地元商店街を魅力的にするために重要なこと(複数回答) (単位:%)

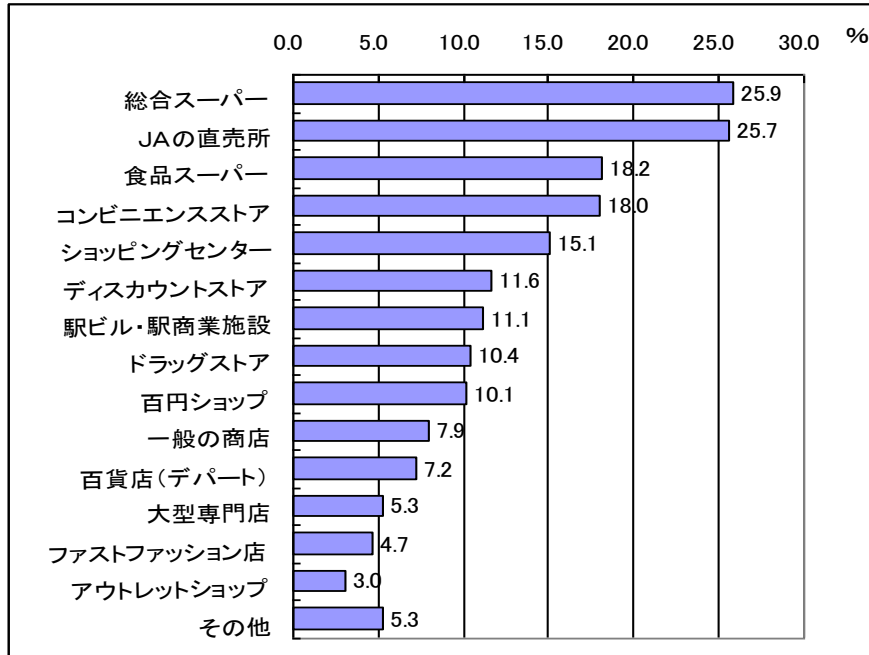


(3) 消費者の動向と意識

1) 身近にあればよいと思う買物施設

身近にあればよいと思う買物施設は、図表 3-38 のとおりです。「総合スーパー」が 25.9%、「JAの直売所」が 25.7%ほぼ同じ比率で突出しています。次いで、「食品スーパー」18.2%、「コンビニエンスストア」18.0%、ショッピングセンター15.1%と続いています。

図表 3-38 身近にあればよいと思う買物施設(複数回答) (単位:%)



地区別の希望する施設は、図表 3-39 のとおりです。地区別の上位 3 施設は、次のとおりです。

- 豊岡地区 ①「総合スーパー」「JAの直売所」25.3% ③「コンビニエンスストア」17.6%
 東金子地区 ①「総合スーパー」26.9% ②「JAの直売所」26.1% ③「食品スーパー」21.8%
 金子地区 ①「総合スーパー」26.6% ②「JAの直売所」「コンビニエンスストア」23.4%
 宮寺・二本木地区①「食品スーパー」42.0% ②「ドラッグストア」30.4% ③「総合スーパー」21.7%
 藤沢地区 ①「駅ビル・駅商業施設」24.9%②「JAの直売所」23.5% ③「総合スーパー」18.8%
 西武地区 ①「総合スーパー」27.6% ②「JAの直売所」22.4% ③「食品スーパー」17.9%

図表 3-39 地区別の身近にあればよいと思う買物施設(複数回答) (単位:%)

買物施設の区分	豊岡地区	東金子地区	金子地区	宮寺二本木地区	藤沢地区	西武地区	市全体
総合スーパー	① 25.3	① 26.9	① 26.6	③ 21.7	③ 18.8	① 27.6	① 25.9
JAの直売所	① 25.3	② 26.1	② 23.4	18.8	② 23.5	② 22.4	② 25.7
食品スーパー	15.0	③ 21.8	17.2	① 42.0	9.4	③ 17.9	③ 18.2
コンビニエンスストア	③ 17.6	18.5	② 23.4	7.2	17.8	14.2	18.0
ショッピングセンター	13.4	16.8	18.8	15.9	9.9	17.2	15.1
ディスカウントストア	9.7	12.6	17.2	5.8	13.6	8.2	11.6
駅ビル・駅商業施設	5.5	5.9	10.9	0.0	① 24.9	10.4	11.1
ドラッグストア	13.7	5.0	3.1	② 30.4	3.8	5.2	10.4
百円ショップ	11.3	5.0	12.5	17.4	3.8	10.4	10.1
一般の商店	6.1	9.2	1.6	8.7	9.9	7.5	7.9
百貨店(デパート)	6.6	5.9	3.1	1.4	10.3	6.0	7.2
大型専門店	3.2	5.9	9.4	2.9	6.1	6.7	5.3
その他	4.5	3.4	0.0	7.2	7.5	4.5	5.3
ファストファッション店	5.3	4.2	6.3	2.9	3.8	3.0	4.7
アウトレットショップ	2.4	2.5	3.1	0.0	3.3	5.2	3.0

年代別に希望する施設は、図表 3-40 のとおりです。総合スーパーは市全体では 1 位ですが、20 歳代と 50 歳代、60 歳代では「JA直売所」が 1 位になっています。上位 3 施設は、年代別には次のようになっています。

20 歳代 ①「JAの直売所」「コンビニエンスストア」24.1%、③「食品スーパー」「百円ショップ」20.7%

30 歳代 ①「ショッピングセンター」22.1% ②「ドラッグストア」19.1% ③「百円ショップ」17.6%

40 歳代 ①「コンビニエンスストア」27.9% ②「総合スーパー」22.9% ③「ショッピングセンター」17.9%

50 歳代 ①「JAの直売所」28.0% ②「総合スーパー」25.1% ③「コンビニエンスストア」17.6%

60 歳代 ①「JAの直売所」32.5% ②「総合スーパー」28.2% ③「食品スーパー」20.7%

70 歳以上 ①「総合スーパー」28.8% ②「JAの直売所」「食品スーパー」24.6%

以上のように、30 歳代の望む商業施設は、他の年代と違い、専門店のある「ショッピングセンター」が 1 位となっており、また、20・30 歳代は、「百円ショップ」が 3 位に入っています。

図表 3-40 年代別の身近にあればよいと思う買物施設(複数回答) (単位:%)

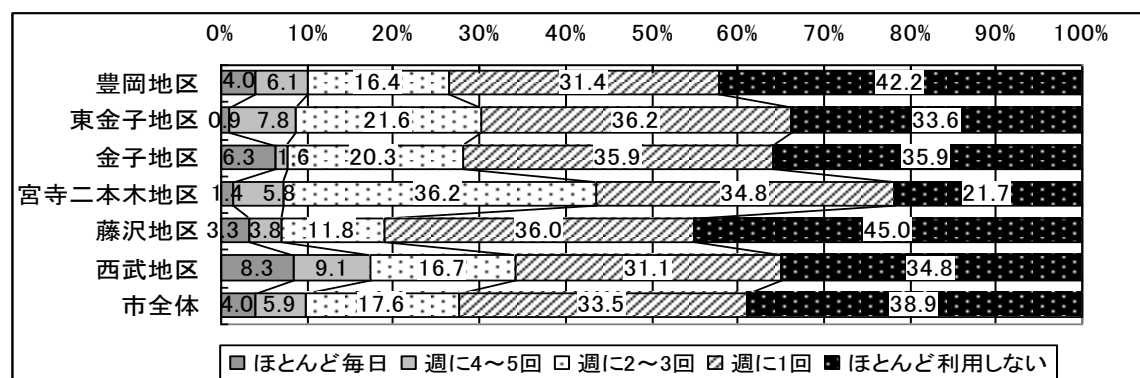
買物施設の区分	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上	市全体
総合スーパー	13.8	14.7	② 22.9	② 25.1	② 28.2	① 28.8	① 25.9
JAの直売所	① 24.1	14.0	11.7	① 28.0	① 32.5	② 24.6	② 25.7
食品スーパー	③ 20.7	15.4	14.0	11.3	③ 20.7	② 24.6	③ 18.2
コンビニエンスストア	① 24.1	14.7	① 27.9	③ 17.6	11.8	11.9	18.0
ショッピングセンター	10.3	① 22.1	③ 17.9	11.7	11.4	11.9	15.1
ディスカウントストア	13.8	8.8	13.4	15.5	7.9	6.8	11.6
駅ビル・駅商業施設	13.8	10.3	12.8	11.3	8.9	7.6	11.1
ドラッグストア	13.8	② 19.1	14.0	7.9	6.8	2.5	10.4
百円ショップ	③ 20.7	③ 17.6	9.5	6.3	7.9	7.6	10.1
一般の商店	10.3	2.9	5.6	6.3	8.6	14.4	7.9
百貨店(デパート)	0.0	8.8	7.8	8.4	4.3	6.8	7.2
大型専門店	0.0	8.8	2.2	3.8	5.7	5.9	5.3
その他	10.3	11.0	6.7	3.8	3.2	0.8	5.3
ファストファッション	10.3	5.9	4.5	6.3	2.5	1.7	4.7
アウトレットショップ	3.4	4.4	2.8	3.3	2.1	1.7	3.0

2)コンビニエンスストアの利用状況

①利用頻度

コンビニエンスストアの市全体および地区別の利用頻度は、図表 3-41 のとおりです。市全体では、「ほとんど利用しない」が最も高く 38.9%でした。次いで「週に 1 回」が 33.5%となっています。一方で、「ほとんど毎日」+「週に 4~5 回」の高頻度利用は 9.9%と 1 割相当となっています。地区別では、豊岡地区、藤沢地区では「ほとんど利用しない」が市全体より高くなっています。また、西武地区では多頻度利用が 17.4%と高くなっています。宮寺二本木地区は、商業施設が整っていないためか、「ほとんど利用しない」は 21.7%と非常に低く、「週に 2~3 回」が他地区に比べて 36.2%と高くなっており、「コンビニエンスストア」への依存度が高い状況にあります。

図表 3-41 コンビニエンスストアの利用頻度(市全体・地区別) (単位:%)

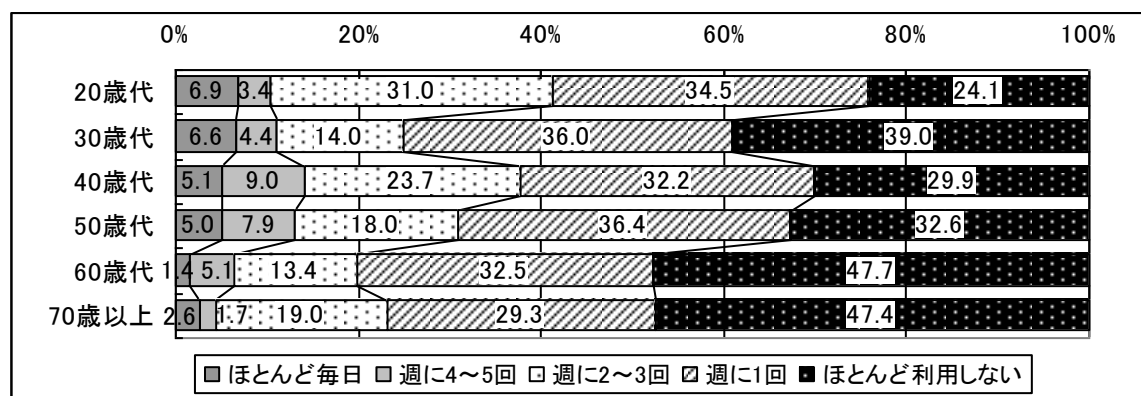


年代別のコンビニエンスストアの利用頻度は、図表 3-42 のとおりです。「週 1 回以上」の利用は、20 歳代が 75.9%と最も高く、次いで 40 歳代 70.1%、50 歳代 67.4%、30 歳代 61.0%、60 歳代と 70 歳以上が 52.3%と続いており、各世代での利用状況は 5 割を超えています。このうち、「ほとんど毎日」と「週 4~5 回」を合わせた「ヘビーユーザー」は、40 歳代 14.1%、50 歳代 12.9%、30 歳代 11.0%、20 歳代 10.3%が該当しています。

一方、「ほとんど利用しない」の比率は、60 歳代と 70 歳以上が共に 47%を超えて高くなっているほか、30 歳代も 39.0%と他の年代よりも高くなっています。

図表 3-42 年代別のコンビニエンスストア利用頻度

(単位:%)



②購入商品

市全体および地区別のコンビニエンスストアでの購入商品は、図表 3-43 のとおりです。

上位 3 商品の市全体と地区別の購入商品は、次のようになっています。

市全体	①「弁当・総菜」46.0%	②「飲料・酒類」42.5%	③「各種サービス」「その他」27.1%
豊岡地区	①「弁当・総菜」45.9%	②「飲料・酒類」45.4%	③「菓子類」24.3%
東金子地区	①「弁当・総菜」51.3%	②「飲料・酒類」41.3%	③「各種サービス」「その他」35.0%
金子地区	①「弁当・総菜」58.5%	②「菓子類」31.7%	③「飲料・酒類」29.3%
宮寺・二本木地区	①「弁当・総菜」52.8%	②「飲料・酒類」45.3%	③「菓子類」30.2%
藤沢地区	①「弁当・総菜」40.5%	②「飲料・酒類」35.3%	③「各種サービス」「その他」33.6%
西武地区	①「飲料・酒類」48.3%	②「弁当・総菜」37.9%	③「菓子類」33.3%

上記のように、各年代とも「弁当・総菜」・「飲料・酒類」が上位 1・2 位を占める比率が高く、「各種サービス」・「菓子類」等が 3 番目となっています。

図表 3-43 コンビニエンスストアでの購入商品(市全体・地区別)

(単位:%)

商品区分	豊岡	東金子	金子	宮寺・二本木	藤沢	西武	市全体
弁当・総菜	① 45.9	① 51.3	① 58.5	① 52.8	① 40.5	② 37.9	① 46.0
飲料・酒類	② 45.4	② 41.3	③ 29.3	② 45.3	② 35.3	① 48.3	② 42.5
各種サービス(ATM、コピー、宅配便、チケット)	23.4	③ 35.0	26.8	15.1	③ 33.6	28.7	③ 27.1
その他(主にたばこ)	23.4	③ 35.0	26.8	15.1	③ 33.6	28.7	③ 27.1
菓子類	③ 24.3	26.3	② 31.7	③ 30.2	19.8	③ 33.3	26.1
その他食料品	14.2	11.3	14.6	22.6	14.7	14.9	14.7
雑誌・書籍	11.0	13.8	12.2	7.5	8.6	9.2	10.4
日用雑貨	3.7	3.8	7.3	9.4	4.3	4.6	4.7
医薬品・化粧品	0.0	1.3	2.4	0.0	0.0	0.0	0.3

年代別のコンビニエンスストアでの購入商品は、図表 3-44 のとおりです。

年代別では 20 歳代・30 歳代で「飲料・酒類」が最も高く、40 歳代以上では「弁当・総菜」が最も高くなっています。年代別の上位 3 商品は、次のようになっています。

- 20 歳代 ①「飲料・酒類」72.7% ②「菓子類」40.9% ③「弁当・総菜」27.3%
 30 歳代 ①「飲料・酒類」53.7% ②「弁当・総菜」47.6% ③「菓子類」35.4%
 40 歳代 ①「弁当・総菜」51.2% ②「飲料・酒類」49.6% ③「菓子類」31.2%
 50 歳代 ①「弁当・総菜」50.0% ②「飲料・酒類」40.6% ③「各種サービス」25.6%
 60 歳代 ①「弁当・総菜」38.9% ②「各種サービス」35.6% ③「飲料・酒類」34.2%
 70 歳代以上 ①「弁当・総菜」46.7% ②「飲料・酒類」「各種サービス」26.7%

図表 3-44 年代別のコンビニエンスストアでの購入商品 (単位: %)

商品区分	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
弁当・総菜	③ 27.3	② 47.6	① 51.2	① 50.0	① 38.9	① 46.7
飲料・酒類	① 72.7	① 53.7	② 49.6	② 40.6	③ 34.2	② 26.7
各種サービス(ATM、コピー、宅配便、チケット)	9.1	25.6	23.2	③ 25.6	② 35.6	② 26.7
菓子類	② 40.9	③ 35.4	③ 31.2	24.4	22.8	10.0
その他食料品	13.6	7.3	17.6	15.6	14.8	16.7
雑誌・書籍	18.2	8.5	12.8	11.3	7.4	10.0
その他(主にたばこ)	9.1	2.4	4.8	7.5	8.7	3.3
日用雑貨	4.5	2.4	0.8	3.1	6.0	16.7
医薬品・化粧品	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0

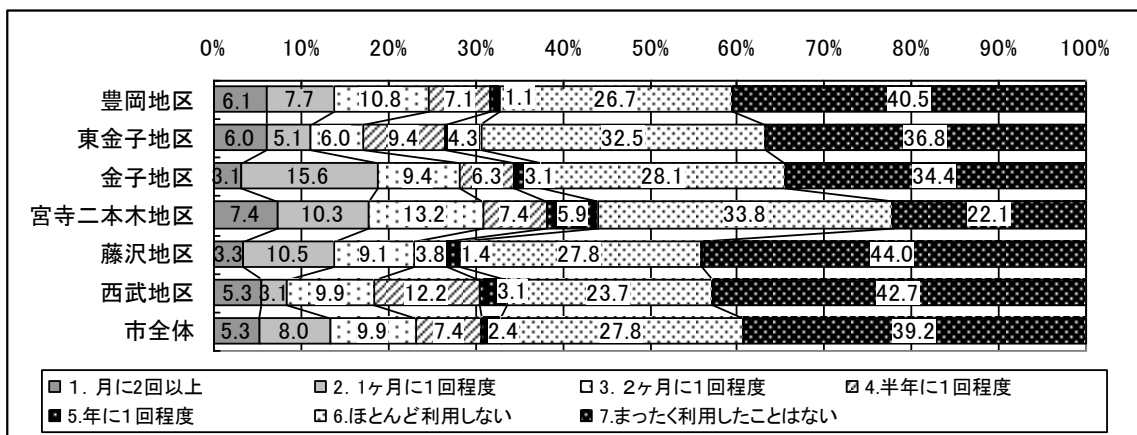
3)コストコ入間店の利用状況

①利用頻度

市全体および地区別のコストコ入間店の利用頻度は、図表 3-45 のとおりです。市全体では、「まったく利用したことはない」が 39.2%と最も高く、次いで「ほとんど利用しない」が 27.8%となっています。一方、「月に 2 回以上」+「1 ヶ月に 1 回程度」の高頻度利用は 13.3%となっています。

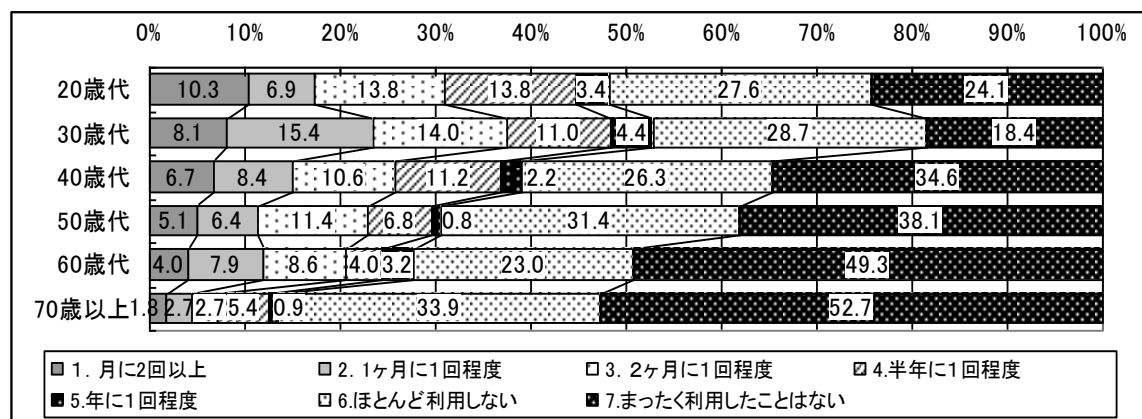
地区別では、地区内にコストコのある宮寺二本木地区は、「まったく利用したことはない」が 22.1%で最も低く、「月に 2 回以上」の多頻度利用は 7.4%と高い状況です。また、「年に 1 回程度」以上の利用率は 44.2%と非常に高くなっています。なお、他地区の「年に 1 回以上」の利用率は、高い順に金子地区 37.5%、西武地区 33.6%、豊岡地区 32.8%、東金子地区 30.7%、藤沢地区 28.1%となっています。

図表 3-45 コストコの利用頻度(市全体・地区別) (単位: %)



年代別のコストコの利用頻度は、図表 3-46 のとおりです。「年に 1 回以上」の利用は、30 歳代が 52.9%と最も高く、次いで 20 歳代 48.2%となっています。その他の年代の利用率は、40 歳代 39.1%、50 歳代 30.5%、60 歳代 27.7%、70 歳以上 13.5%と年齢が高くなるに従って減少しています。コストコでの主な購入商品は図表 3-47 のとおり食料品となっており、大量販売であることから高齢者の利用頻度が下がっていると考えられます。

図表 3-46 年代別のコストコの利用頻度 (単位:%)



②購入商品

コストコでの市全体および地区別の購入商品は、図表 3-47 のとおりです。

上位 3 商品は、市全体、地区別に次のようになっています。

- | | | | |
|----------|--------------------------|------------------|---------------|
| 市全体 | ①「パン・ケーキ」60.0% | ②「鮮魚・精肉・青果」55.6% | ③「飲料・酒類」39.7% |
| 豊岡地区 | ①「パン・ケーキ」55.6% | ②「鮮魚・精肉・青果」50.8% | ③「飲料・酒類」40.3% |
| 東金子地区 | ①「パン・ケーキ」「鮮魚・精肉・青果」61.1% | ③「菓子・おつまみ」44.4% | |
| 金子地区 | ①「鮮魚・精肉・青果」79.2% | ②「パン・ケーキ」62.5% | ③「総菜」37.5% |
| 宮寺・二本木地区 | ①「パン・ケーキ」70.0% | ②「鮮魚・精肉・青果」46.7% | ③「日用雑貨」43.3% |
| 藤沢地区 | ①「パン・ケーキ」「鮮魚・精肉・青果」62.7% | ③「飲料・酒類」45.8% | |
| 西武地区 | ①「パン・ケーキ」59.1% | ②「鮮魚・精肉・青果」52.3% | ③「飲料・酒類」43.2% |

以上のように、居住地区内で購入しにくい食料品等が上位に入っているものと思われます。

図表 3-47 コストコでの購入商品(市全体・地区別) (単位:%)

商品区分	豊岡	東金子	金子	宮寺・二本木	藤沢	西武	市全体
パン・ケーキ	①55.6	①61.1	②62.5	①70.0	①62.7	①59.1	①60.0
鮮魚・精肉・青果	②50.8	①61.1	①79.2	②46.7	①62.7	②52.3	②55.6
飲料・酒類	③40.3	36.1	25.0	36.7	③45.8	③43.2	③39.7
日用雑貨	37.1	19.4	20.8	③43.3	37.3	36.4	34.1
菓子・おつまみ	33.1	③44.4	29.2	33.3	23.7	38.6	32.8
冷凍食品	20.2	8.3	25.0	26.7	8.5	25.0	18.8
総菜	12.9	16.7	③37.5	6.7	13.6	22.7	16.3
衣料品	4.0	0.0	4.2	3.3	3.4	6.8	3.8
その他	4.0	5.6	4.2	0.0	1.7	0.0	2.8
医薬品・化粧品	3.2	2.8	0.0	3.3	1.7	0.0	2.5
おもちゃ・季節商品	1.6	0.0	0.0	3.3	3.4	0.0	1.6
スポーツ・アウトドア用品	1.6	0.0	0.0	3.3	0.0	2.3	1.3
書籍・CD・DVD・文具	0.8	0.0	4.2	0.0	1.7	0.0	0.9
家電・パソコン用品	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	0.6
タイヤ・カー用品	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3

年代別のコストコでの購入商品は、図表 3-48 のとおりです。年代別では全年代で「パン・ケーキ」と「鮮魚・精肉・青果」が1番目か 2 番目になっていますが、3 番目は年代により「飲料・酒類」・「菓子・おつまみ」・「日用雑貨」が挙げられています。年代別の上位 3 商品は、次のようになっています。

- 20 歳代 ①「パン・ケーキ」「鮮魚・精肉・青果」「飲料・酒類」64.3%
 30 歳代 ①「パン・ケーキ」65.3% ②「鮮魚・精肉・青果」52.8% ③「飲料・酒類」38.9%
 40 歳代 ①「パン・ケーキ」68.6% ②「鮮魚・精肉・青果」47.1% ③「菓子・おつまみ」40.0%
 50 歳代 ①「パン・ケーキ」58.3% ②「鮮魚・精肉・青果」56.9% ③「日用雑貨」「菓子・おつまみ」41.7%
 60 歳代 ①「鮮魚・精肉・青果」67.5% ②「パン・ケーキ」48.1% ③「飲料・酒類」41.6%
 70 歳以上 ①「パン・ケーキ」60.0% ②「鮮魚・精肉・青果」「菓子・おつまみ」33.3%

図表 3-48 年代別のコストコでの購入商品 (単位:%)

商品区分	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
パン・ケーキ	①64.3	①65.3	①68.6	①58.3	②48.1	①60.0
鮮魚・精肉・青果	①64.3	②52.8	②47.1	②56.9	①67.5	②33.3
飲料・酒類	①64.3	③38.9	37.1	40.3	③41.6	20.0
日用雑貨	14.3	36.1	32.9	③41.7	32.5	20.0
菓子・おつまみ	35.7	30.6	③40.0	③41.7	19.5	②33.3
冷凍食品	14.3	15.3	24.3	19.4	18.2	13.3
総菜	14.3	27.8	15.7	13.9	10.4	6.7
衣料品	0.0	1.4	4.3	5.6	5.2	0.0
その他	0.0	4.2	7.1	1.4	0.0	0.0
医薬品・化粧品	7.1	2.8	2.9	1.4	1.3	6.7
おもちゃ・季節商品	0.0	4.2	0.0	0.0	2.6	0.0
スポーツ・アウトドア用品	0.0	0.0	1.4	2.8	1.3	0.0
書籍・CD・DVD・文具	0.0	1.4	1.4	0.0	1.3	0.0
家電・パソコン用品	0.0	0.0	1.4	1.4	0.0	0.0
タイヤ・カー用品	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0

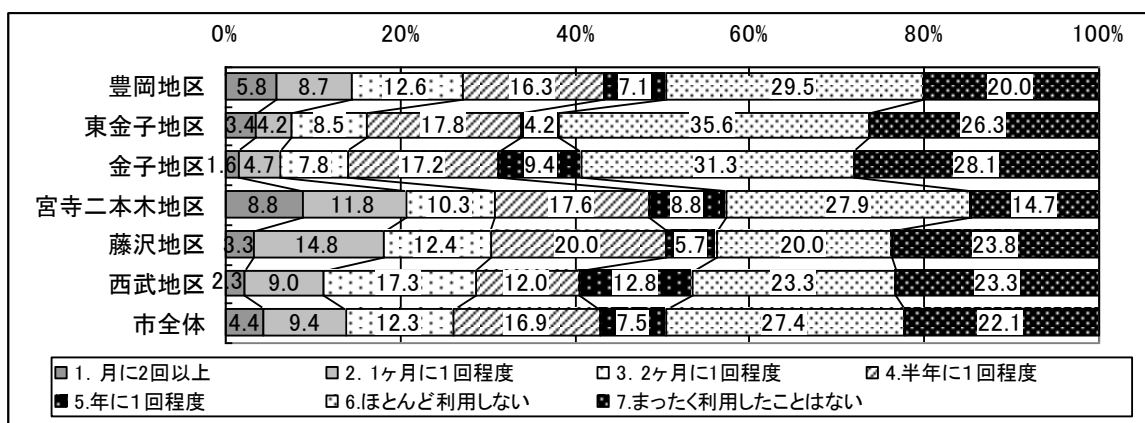
4)三井アウトレットパーク入間の利用状況

①利用頻度

市全体および地区別の三井アウトレットパークの利用頻度は、図表 3-49 のとおりです。市全体では、「ほとんど利用しない」が 27.4%と最も多く、次いで「まったく利用したことはない」22.1%、「半年に 1 回程度」16.9%の順になっています。一方、「月に 2 回以上」+「1 月に 1 回程度」の高頻度利用は 13.8%となっています。

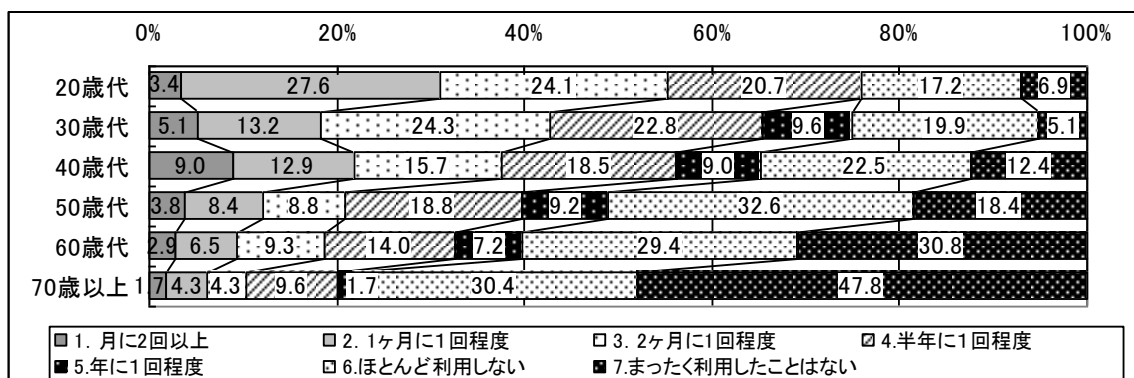
地区別では、地区内に三井アウトレットパークがある宮寺二本木地区では「まったく利用したことはない」が 14.7%と他の地域と比べ最も低くなっており、逆に「月に 2 回以上」が 8.8%と最も高くなっています。「年 1 回程度以上」の利用率をみると、地元の宮寺二本木地区が 57.3%で最も高く、次いで藤沢地区 56.2%、西武地区 53.4%、豊岡地区 50.5%の順であり、金子地区と東金子地区の利用率は、40.6%、38.1%と低くなっています。

図表 3-49 三井アウトレットパーク利用頻度(市全体・地区別) (単位:%)



年代別の三井アウトレットパークの利用頻度は、図表 3-50 のとおりです。「年 1 回程度以上」の利用率をみると、20 歳代が 75.8%と最も高く、30 歳代 75.0%、40 歳代 65.1%、50 歳代 49.0%、60 歳代 39.9%、70 歳以上 21.6%と、年齢が高くなるに従って減少しています。また、「1 ヶ月に 1 回程度」以上の利用率でも、20 歳代は 31.0%と高く、40 歳代が 21.9%、30 歳代が 18.3%と続いています。

図表 3-50 年代別の三井アウトレットパーク利用頻度 (単位:%)



②購入商品

三井アウトレットパークの市全体および地区別の購入商品は、図表 3-51 のとおりです。上位 3 商品は、市全体、地区別に次のようになっています。

- 市全体 ①「婦人服・下着・婦人雑貨」63.7% ②「婦人用バッグ・靴」33.3%
③「スポーツ・アウトドア」32.7%
- 豊岡地区 ①「婦人服・下着・婦人雑貨」65.6% ②「婦人用バッグ・靴」35.9%
③「スポーツ・アウトドア用品」33.9%
- 東金子地区 ①「婦人服・下着・婦人雑貨」66.7% ②「婦人用バッグ・靴」「スポーツ・アウトドア用品」33.3%
- 金子地区 ①「婦人服・下着・婦人雑貨」61.5% ②「婦人用バッグ・靴」38.5%
③「スポーツ・アウトドア用品」30.8%
- 宮寺・二本木地区 ①「婦人服・下着・婦人雑貨」64.1% ②「婦人用バッグ・靴」38.5%
③「紳士服・紳士用雑貨」「インテリア・食器など家庭雑貨」30.8%
- 藤沢地区 ①「婦人服・下着・婦人雑貨」63.6% ②「スポーツ・アウトドア用品」「紳士服・紳士用雑貨」33.9%
- 西武地区 ①「婦人服・下着・婦人雑貨」57.7% ②「紳士服・紳士用雑貨」35.2%
③「スポーツ・アウトドア用品」32.4%

図表 3-51 三井アウトレットパークでの購入商品(市全体・地区別) (単位:%)

商品区分	豊岡	東金子	金子	宮寺・二本木	藤沢	西武	市全体
婦人服・下着・婦人雑貨	①65.6	①66.7	①61.5	①64.1	①63.6	①57.7	①63.7
婦人用バッグ・靴	②35.9	②33.3	②38.5	②38.5	30.5	25.4	②33.3
スポーツ・アウトドア用品	③33.9	②33.3	③30.8	25.6	②33.9	③32.4	③32.7
紳士服・紳士用雑貨	27.1	26.7	15.4	③30.8	②33.9	②35.2	29.8
インテリア・食器など家庭雑貨	24.0	15.6	23.1	③30.8	23.7	23.9	23.5
喫茶・飲食	17.7	8.9	15.4	20.5	18.6	18.3	17.4
子供服・ベビー用品・おも	16.7	13.3	3.8	15.4	11.9	5.6	12.8
コーヒー豆・日本茶	11.5	8.9	11.5	17.9	10.2	11.3	11.4
紳士用カバン・靴	11.5	13.3	11.5	2.6	7.6	9.9	9.7
化粧品・香水・化粧小物	6.8	8.9	7.7	7.7	7.6	7.0	7.5
その他	2.1	4.4	3.8	2.6	2.5	5.6	3.0
洋服のリフォーム	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

年代別の三井アウトレットパークでの購入商品は、図表 3-52 のとおりです。

上位 3 商品は、年代別に次のようになっています。

20 歳代	①「婦人服・下着・婦人雑貨」77.3%	②「紳士服・紳士用雑貨」54.5%、
	③「インテリア・食器など家庭雑貨」「子供服・ベビー用品・おもちゃ」27.3%	
30 歳代	①「婦人服・下着・婦人雑貨」70.6%	②「紳士服・紳士用雑貨」32.4%
	③「婦人用バッグ・靴」「スポーツ・アウトドア用品」31.4%	
40 歳代	①「婦人服・下着・婦人雑貨」67.2%	②「スポーツ・アウトドア用品」34.5%
	③「婦人用バッグ・靴」31.9%	
50 歳代	①「婦人服・下着・婦人雑貨」64.1%	②「婦人用バッグ・靴」45.3%
	③「スポーツ・アウトドア用品」30.8%	
60 歳代	①「婦人服・下着・婦人雑貨」58.6%	②「スポーツ・アウトドア用品」36.0%
	③「婦人用バッグ・靴」28.8%	
70 歳代以上	①「スポーツ・アウトドア用品」40.0%	②「紳士服・紳士用雑貨」32.0%
	③「婦人服・下着・婦人雑貨」「喫茶、飲食」28.0%	

以上のように、20 歳代から 60 歳代では「婦人服・下着・婦人雑貨」が最も多くなっています。20 歳代・30 歳代では「紳士服・紳士用雑貨」が続いていますが、20 歳代では 3 番目に「インテリア・食器など家庭雑貨」「子供服・ベビー用品・おもちゃ」が挙げられています。40 歳代から 60 歳代では、「婦人用バッグ・靴」と「スポーツ・アウトドア用品」を含めた 3 大商品となっています。70 歳以上の順位は、「スポーツ・アウトドア用品」が最も高く、次いで「紳士服・紳士用雑貨」、3 番目に「婦人服・下着・婦人雑貨」「喫茶、飲食」が挙げられています。70 歳以上の利用目的には、買物以外に「くつろぐ場所」としての意味も含まれているようです。

図表 3-52 年代別三井アウトレットパークでの購入商品 (単位:%)

商品区分	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
婦人服・下着・婦人雑貨	①77.3	①70.6	①67.2	①64.1	①58.6	③28.0
婦人用バッグ・靴	22.7	③31.4	③31.9	②45.3	③28.8	20.0
スポーツ・アウトドア用品	13.6	③31.4	②34.5	③30.8	②36.0	①40.0
紳士服・紳士用雑貨	②54.5	②32.4	25.9	28.2	27.9	②32.0
インテリア・食器など家庭雑貨	③27.3	28.4	23.3	23.1	21.6	12.0
喫茶・飲食	13.6	21.6	15.5	15.4	16.2	③28.0
子供服・ベビー用品・おもちゃ	③27.3	20.6	11.2	6.8	11.7	8.0
コーヒー豆・日本茶	0.0	12.7	13.8	13.7	7.2	12.0
紳士用カバン・靴	13.6	5.9	7.8	10.3	15.3	4.0
化粧品・香水・化粧小物	4.5	10.8	9.5	6.0	4.5	8.0
その他	0.0	4.9	4.3	1.7	1.8	4.0
洋服のリフォーム	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

5) コストコと三井アウトレットパークの利用頻度の比較

コストコと三井アウトレットパークの地区別「年 1 回程度以上」の利用率の比較は、図表 3-53 のとおりです。

三井アウトレットパークの利用率は、市全体・地区別ともにコストコの利用率より高く、その差は藤沢地区で 28.1 ポイント、西武地区 19.8 ポイント、豊岡地区 17.7 ポイントと特に大きくなっています。

図表 3-53 コストコと三井アウトレットパークの利用頻度の比較 (単位:%)

商品区分	コストコ(A)		アウトレットパーク(B)		ポイント差(B-A)
	順位	年 1 回以上利用	順位	年 1 回以上利用	
豊岡地区	4	32.8	4	50.5	17.7
金子地区	5	30.7	6	38.1	7.4
東金子地区	2	37.5	5	40.6	3.1
宮寺二本木地区	1	44.1	1	57.4	13.3
藤沢地区	6	28.1	2	56.2	28.1
西武地区	3	33.6	3	53.4	19.8
市全体	-	33.0	-	50.5	17.5

(4)東日本大震災後の買物行動

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災により、物資の供給が一時絶たれ、一部の商品が品不足となる現象が起きました。そこで、今回は、「地震直後の買物行動とその行動が風評に影響されたか」、また、「その後食料品・日用雑貨の備蓄や食品の安全性などを意識して買物行動に変化が生じたか」について調査項目としましたが、その取りまとめ結果は以下のとおりとなっています。

1)震災後 2 週間の商品別の買物行動

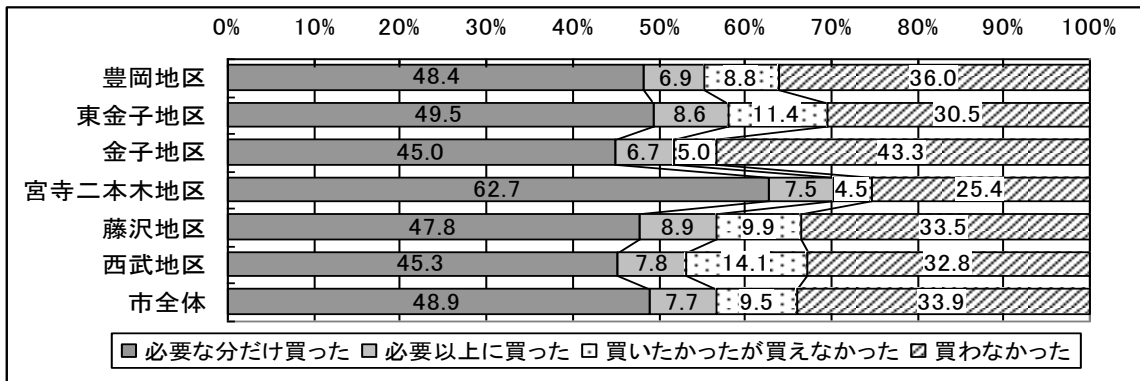
①米

市全体および地区別の米の買物行動は、図表 3-54 のとおりです。市全体では、「必要な分だけ買った」が最も高く 48.9%でした。また「必要以上に買った」は 7.7%で、買った人は合わせて 56.6%、「買いたかったが買えなかった」は 9.5%で、買う行動をとった人は合計 66.1%でした。買おうとした人のうち 14.4%は買えなかったことがわかります。一方で「買わなかった」が 33.9%でした。

地区別の買う行動をとった比率は、宮寺二本木地区が 74.7%で最高ですが、この地区が買物施設に恵まれないためと考えられます。その他の地区では「必要な分だけ買った」が 50%弱で、「必要以上に買った」が 7~9%ですが、金子地区と西武地区は「買いたかったが買えなかった」が 11.4%、14.1%と多くなっています。

図表 3-54 米の買物行動(市全体・地区別)

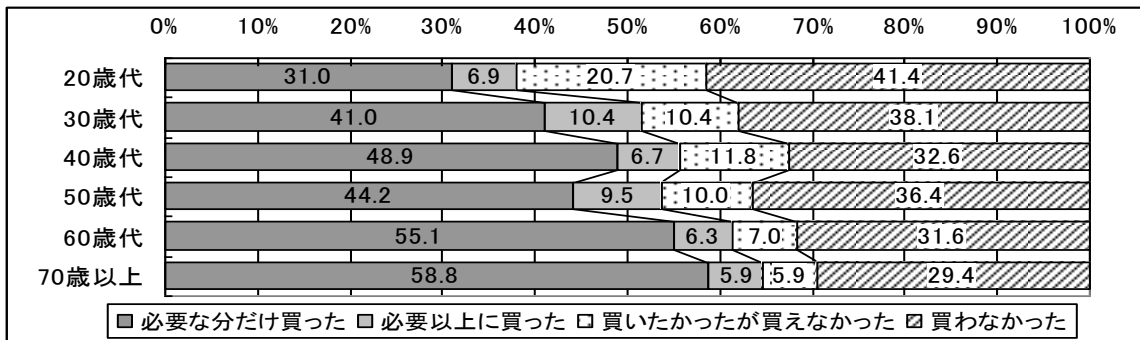
(単位:%)



年代別の米の買物行動は、図表 3-55 のとおりです。「必要な分だけ買った」は 20 歳代が最も低く、年齢が高くなるに従って増えています。「必要以上に買った」は 30 歳代が 10.4%、50 歳代が 9.5%と高く、他の年代は 6%前後でした。「買いたかったが買えなかった」は 20 歳代が最も高く 20.7%であり、年齢が高くなるにつれて低くなっています。「買わなかった」も 20 歳代が最も高く、年齢が高くなるに従って減少しています。

図表 3-55 年代別の米の買物行動

(単位:%)



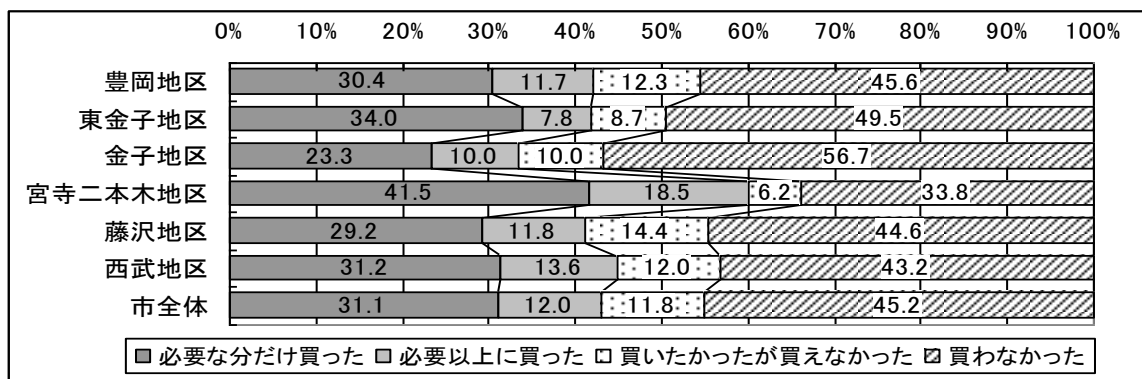
②水

市全体および地区別の水の買物行動は、図表 3-56 のとおりです。市全体では、「買わなかった」が最も高く 45.2%です。また、「必要な分だけ買った」は 31.1%、「必要以上に買った」は 12.0%であり、「買いたかったが買えなかった」は 11.8%であり、「買う行動をとった人」は合計 54.9%でした。「買う行動をとった人」のうち、買え

なかった人は21.5%いたことがわかります。

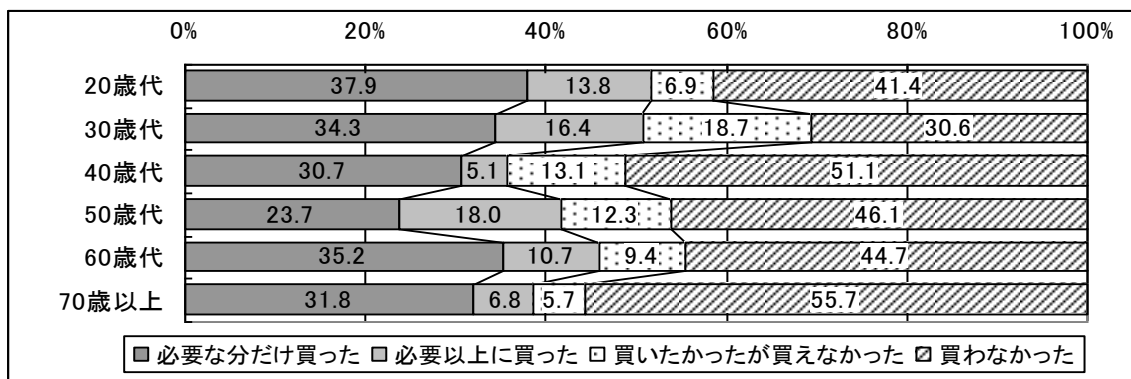
地区別では、宮寺二本木地区で「買う行動をとった人」が66.2%で最も高くなっています。これは米の購買行動と同様、この地区が買物施設に恵まれないためと考えられます。特に「必要以上に買った」が18.5%と高くなっています。金子地区は「必要な分だけ買った」が23.3%で、「必要以上に買った」が10.0%、「買ったかったが買えなかった」は10.0%で合わせて43.3%であり、他地区と比べ最も低くなっています。

図表 3-56 地区別の水の買物行動(市全体・地区別) (単位:%)



年代別の水の買物行動は、図表 3-57 のとおりです。「必要な分だけ買った」は20歳代から50歳代までは年齢が高くなるに従って減少傾向を示しています。「必要以上に買った」は20歳代13.8%、30歳代16.4%、50歳代18.0%と高くなっています。「買ったかったが買えなかった」は30歳代が最も高く18.7%であり、年齢が高くなるにつれて低くなっています。「買わなかった」は70歳以上55.7%、40歳代51.1%と50%を超えています。

図表 3-57 年代別の水の買物行動 (単位:%)



③牛乳

市全体および地区別牛乳の買物行動は、図表 3-58 のとおりです。

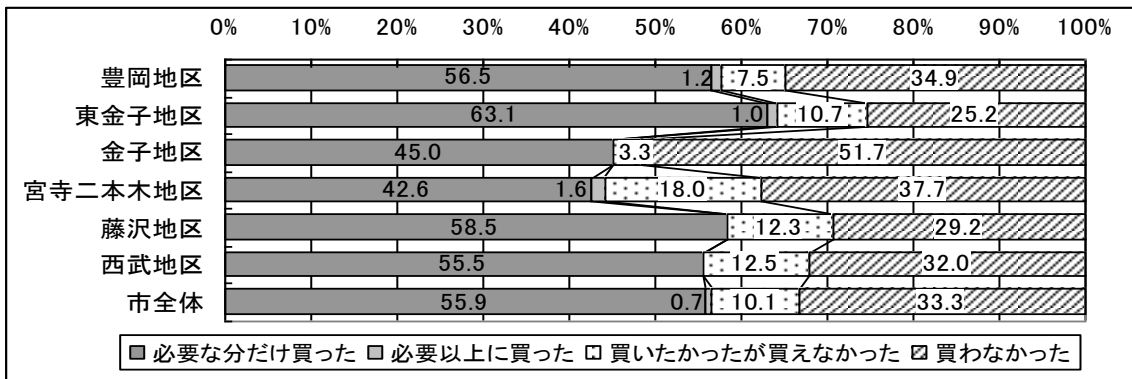
市全体では、牛乳は生鮮品であることから「必要な分だけ買った」が55.9%と最も高く、「必要以上に買った」は0.7%と低く、「買ったかったが買えなかった」は10.1%であり、「買う行動をとった人」は66.7%でした。一方、「買わなかった」は33.3%でした。

地区別では、東金子地区は「買う行動をとった人」が74.8%、金子地区は「買わなかった」が51.7%、宮寺二本木地区は「買ったかったが買えなかった」が18.0%とそれぞれ最も高くなっています。

年代別の牛乳の買物行動は、図表 3-59 のとおりです。「必要な分だけ買った」は20歳代が39.3%と最も低く、30歳代54.9%から70歳以上58.4%と年代が高くなるほど高率になっています。一方「必要以上に買った」は40~60歳代の数%でした。「買ったかったが買えなかった」は20歳代が14.3%と最も高く、年齢が高くなるに従って低くなっています。「買わなかった」は20歳代が46.4%と最も高く、30歳代が31.6%と最も低くなっていますが、年齢が高くなるに従って微増しています。

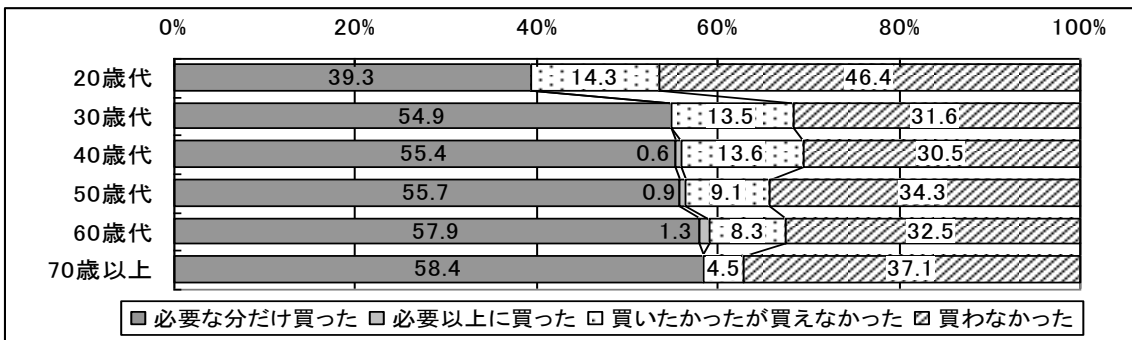
図表 3-58 牛乳の買物行動(市全体・地区別)

(単位:%)



図表 3-59 年代別の牛乳の買物行動

(単位:%)



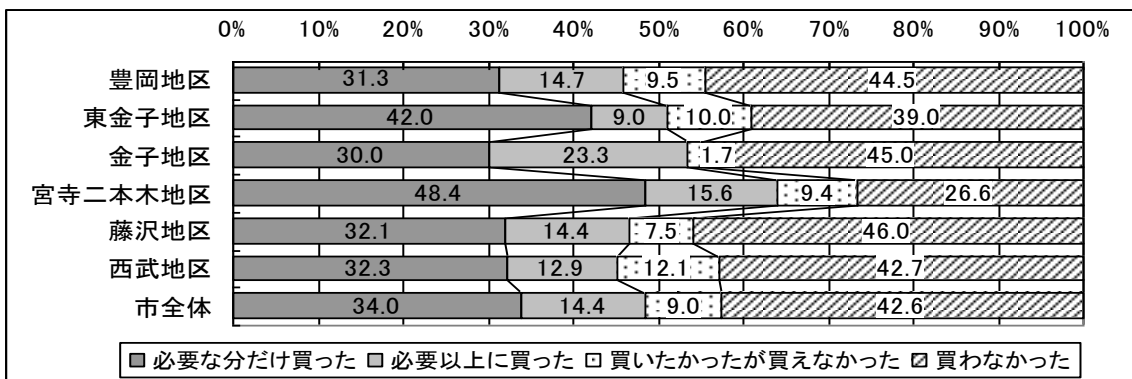
④カップ麺

市全体および地区別のカップ麺の買物行動は、図表 3-60 のとおりです。市全体では、「買わなかった」が 42.6%で最も高い値です。また、「必要な分だけ買った」が 34.0%、「必要以上に買った」が 14.4%であり、「買いたかったが買えなかった」の 9.0%と合わせて、「買う行動をとった人」は 57.4%でした。

地区別では、宮寺二本木地区では「買う行動をとった人」は 73.4%で最も高くなっており、金子地区では「必要以上に買った」が 23.3%と最も高くなっています。東金子地区と西武地区では「買いたかったが買えなかった」が 10%以上と他の地区よりやや高くなっています。

図表 3-60 カップ麺の買物行動(市全体・地区別)

(単位:%)



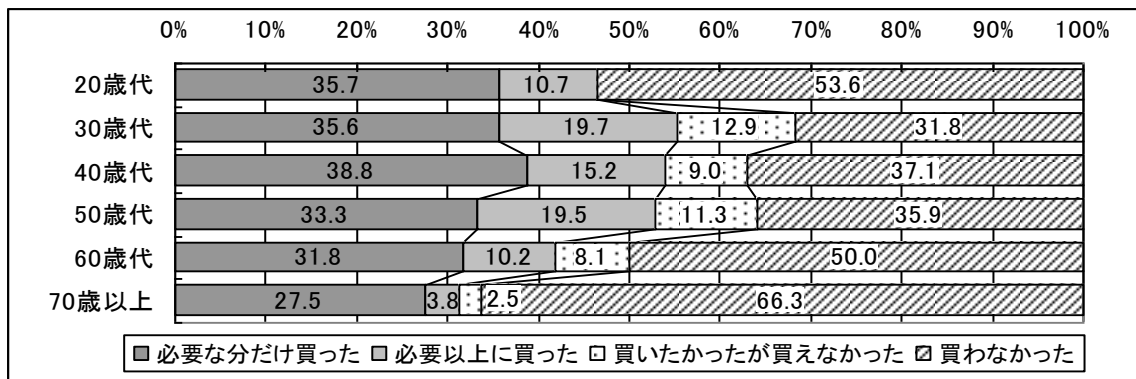
年代別のカップ麺の買物行動は、図表 3-61 のとおりです。

「必要な分だけ買った」は 40 歳代が 38.8%と最も高く、50 歳代以降は年齢が高くなるに従って減少傾向にあります。「必要以上に買った」は 30 歳代～50 歳代が 15%以上で高くなっています。「買いたかったが買えなかった」は 30 歳代～50 歳代が 10%前後で高くなっていますが、年齢が高くなるに従って低くなっています。

「買わなかった」は 70 歳代以上が最も高く 66.3%、次いで 20 歳代が 53.6%となっています。30 歳代以降は年齢が高くなるに従って増加傾向にあります。

図表 3-61 年代別のカップ麺の買物行動

(単位:%)



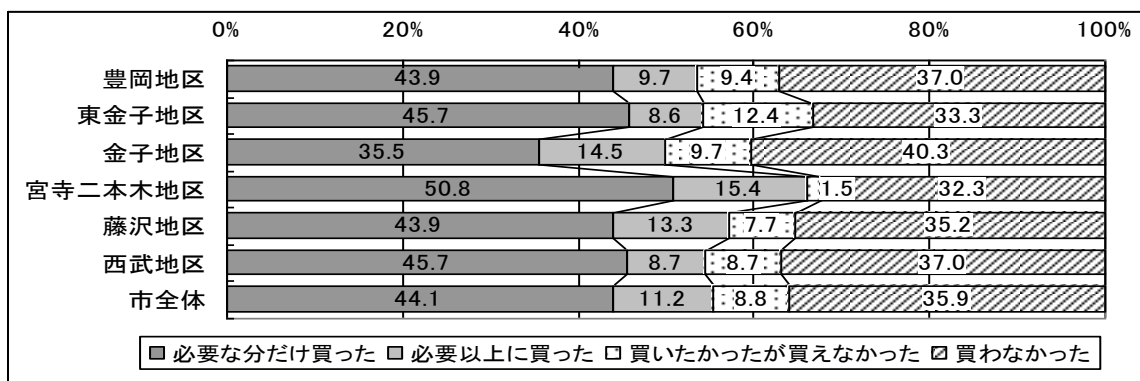
⑤トイレトーパー

市全体および地区別のトイレトーパーの買物行動は、図表 3-62 のとおりです。市全体では、「必要分だけ買った」が 44.1%と最も高く、「必要以上に買った」11.2%、「買いたかったが買えなかった」8.8%であり、「買う行動をとった人」は 64.1%でした。一方、「買わなかった」は 35.9%でした。

地区別では、宮寺・二本木地区は「買う行動をとった人」が 67.7%で最も高く、「買いたかったが買えなかった」が 1.5%と低くなっています。金子地区では「買わなかった」が 40.3%で最も高くなっています。

図表 3-62 トイレトーパーの買物行動(市全体・地区別)

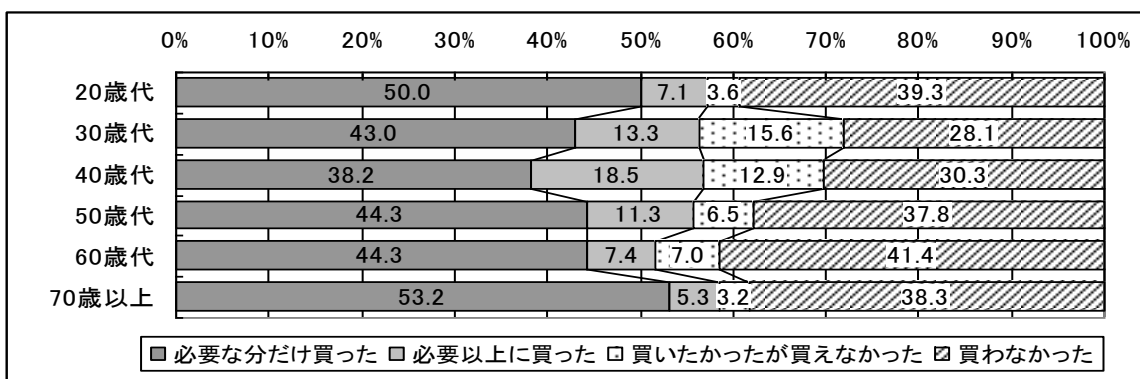
(単位:%)



年代別のトイレトーパー買物行動は、図表 3-63 のとおりです。「必要分だけ買った」は、70 歳以上が 53.2%と最も高く、次いで 20 歳代の 50.0%となっています。40 歳代は 38.2%と最も低く、30 歳代、50 歳代、60 歳代は 40%台です。「必要以上に買った」は 40 歳代の 18.5%が最大であり、「買いたかったが買えなかった」は 30 歳代が 15.6%で最も高く、両者とも低年齢及び高年齢に向けて減少しています。「買わなかった」は 60 歳代の 41.4%、20 歳代の 39.3%、70 歳以上の 38.3%が高く、30 歳代の 28.1%が最も低くなっています。

図表 3-63 年代別のトイレトーパーの買物行動

(単位:%)



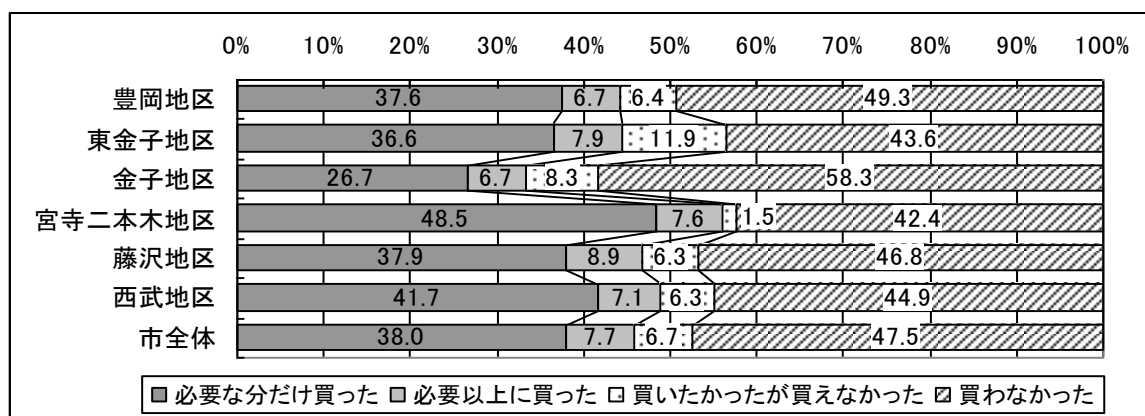
⑥ティッシュペーパー

市全体および地区別のティッシュペーパーの買物行動は、図表 3-64 のとおりです。市全体では、「買わなかった」が 47.5%と最も高くなっています。一方、「必要な分だけ買った」は 38.0%、「必要以上に買った」は 7.7%、「買いたかったが買えなかった」6.7%の 3 者を合わせた「買う行動をとった人」が 52.5%いました。

地区別では、宮寺・二本木地区は「買う行動をした人」が 57.6%と他地区よりやや高くなっています。金子地区は「買わなかった」が 58.3%と他の地区より 10ポイント程度高く、逆に「買う行動をとった人」は 41.7%と最も低くなっています。

図表 3-64 ティッシュペーパーの買物行動(市全体・地区別)

(単位:%)



年代別のティッシュペーパーの買物行動は、図表 3-65 のとおりです。

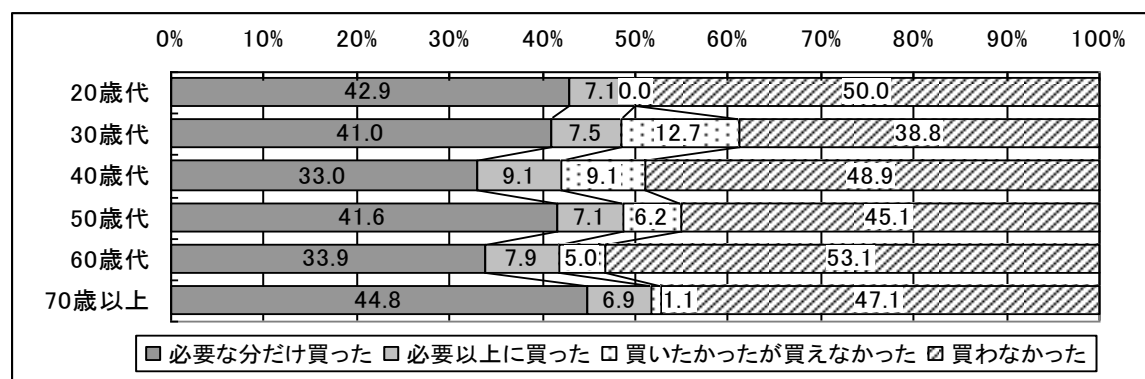
「買う行動をとった人」は市全体 52.5%となっていますが、30 歳代は 61.2%と最も高くなっています。

一方、40 歳代と 60 歳代は「必要な分だけ買った」が 33%台と低率となっています。

また、「必要な分だけ買った」と「必要以上に買った」を合わせた「購入した比率」が高かったのは、70 歳以上 51.7%、20 歳代 50.0%、50 歳代 48.7%、30 歳代 48.5 の順となっています。

図表 3-65 年代別のティッシュペーパーの買物行動

(単位:%)



⑦紙おむつ

市全体および地区別の紙おむつの買物行動は、図表 3-66 のとおりです。市全体では、「買わなかった」が 87.5%で最も高く、「必要な分だけ買った」7.8%、「必要以上に買った」3.9%、「買いたかったが買えなかった」0.8%の順となっています。

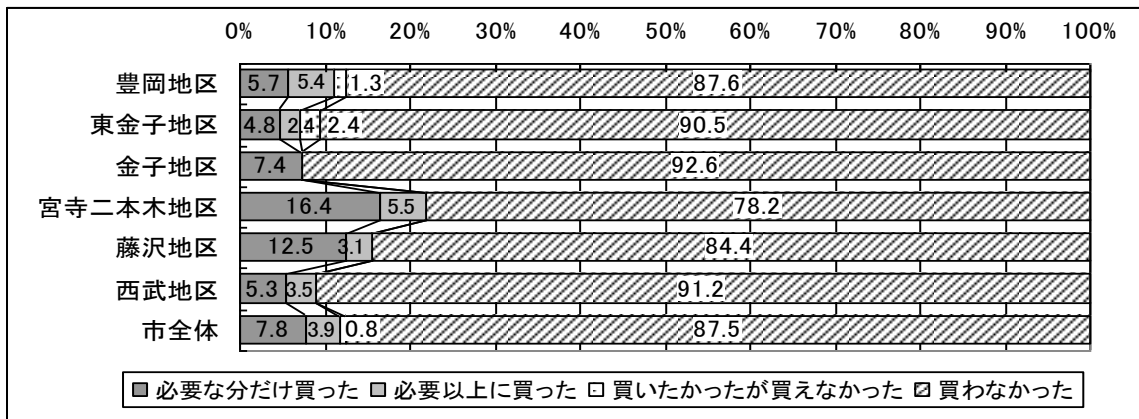
地区別では、宮寺二本木地区で買う行動をとった人が 21.9%で他の地域より高くなっています。

年代別の紙おむつの買物状況は、図表 3-67 のとおりです。

「必要な分だけ買った」+「必要以上に買った」は 20 歳代が 46.5%、30 歳代が 32.0%と、子育て中の世代が高くなっていることがわかります。このうち、「必要以上に買った」のは、20 歳代が 17.9%、30 歳代が 14.4%となっていますが、予備用と思われます。

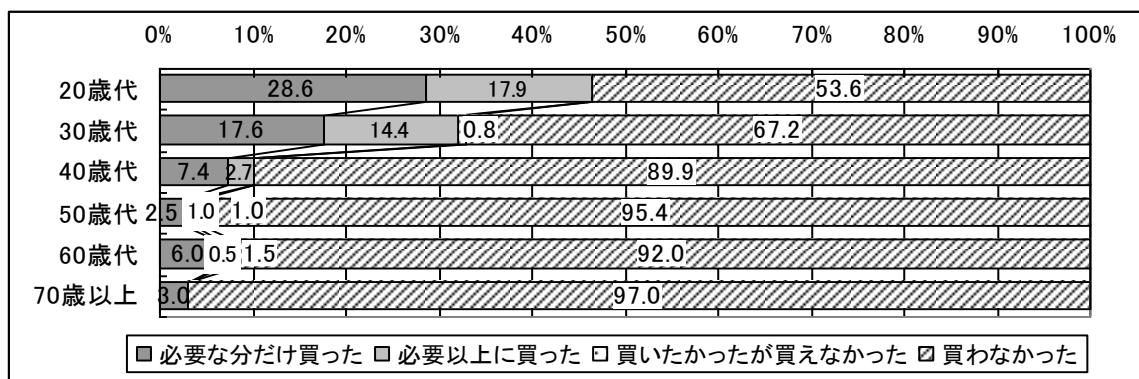
図表 3-66 紙おむつの買物行動(市全体・地区別)

(単位:%)



図表 3-678 年代別の紙おむつの買物行動

(単位:%)

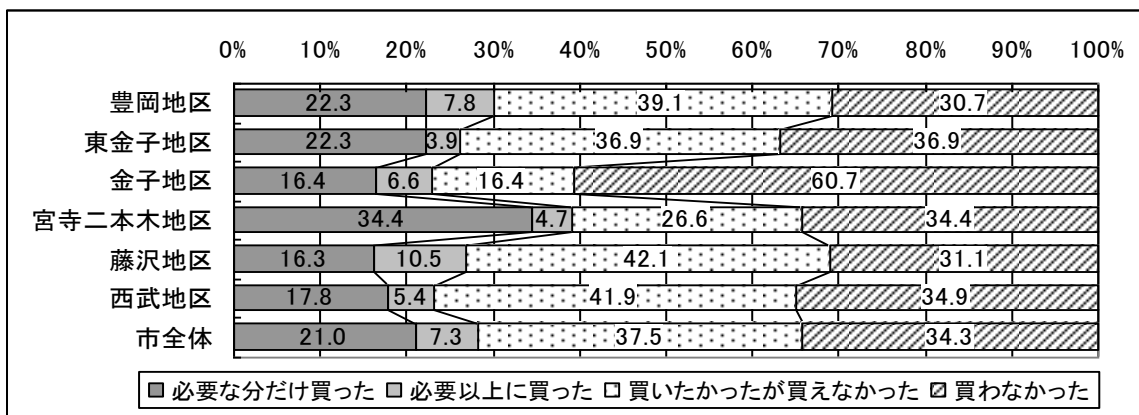


③乾電池

市全体および地区別の乾電池の買物行動は、図表 3-68 のとおりです。市全体では、「買ったかったが買えなかった」が37.5%と最も高く、次いで「買わなかった」が34.3%、「必要な分だけ買った」が21.0%、「必要以上に買った」は7.3%となっており、「購入した人」は28.3%でした。地区別では、宮寺・二本木地区は「購入した人」が39.1%で最も高く、逆に、金子地区は「買わなかった」が60.7%と最も高くなっています。

図表 3-68 乾電池の買物状況(市全体・地区別)

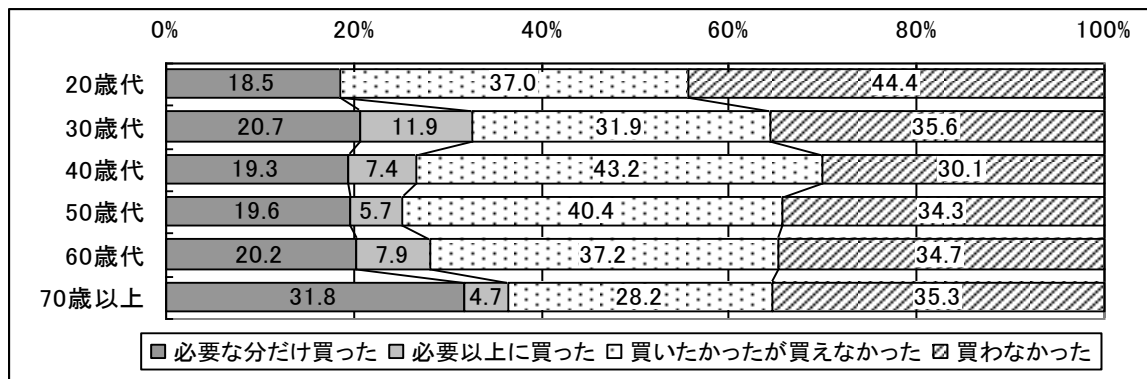
(単位:%)



年代別の乾電池の買物行動は、図表 3-69 のとおりです。「必要な分だけ買った」は20歳代から60歳代までは20%前後であり、70歳以上は31.8%と最も高くなっています。また、「買ったかったが買えなかった」は、30歳代と70歳以上を除く各年代で40%前後となっており、「購入した人」の比率より多くなっています。

図表 3-69 年代別の乾電池の買物行動

(単位:%)



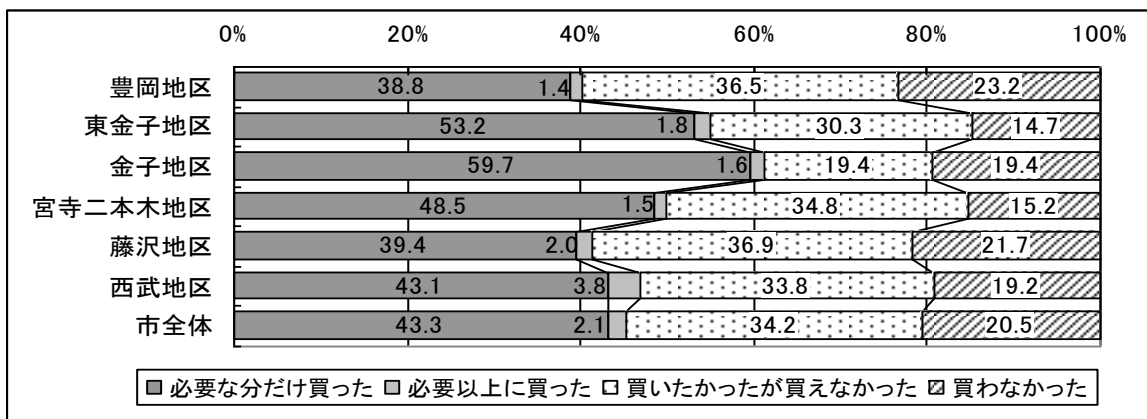
⑨ガソリン

市全体および地区別のガソリンの買物行動は、図表 3-70 のとおりです。市全体では、「必要な分だけ買った」が 43.3%と最も高く、「必要以上に買った」は 2.1%となっています。一方、「買ったかったが買えなかった」は 34.2%と3分の1以上にのぼっています。「買わなかった」比率は 20.5%となっています。

地区別では、金子・東金子地区は「必要な分だけ買った」が 59.7%・50.7%と他地区よりも高くなっています。

図表 3-70 地区別のガソリンの買物状況(市全体・地区別)

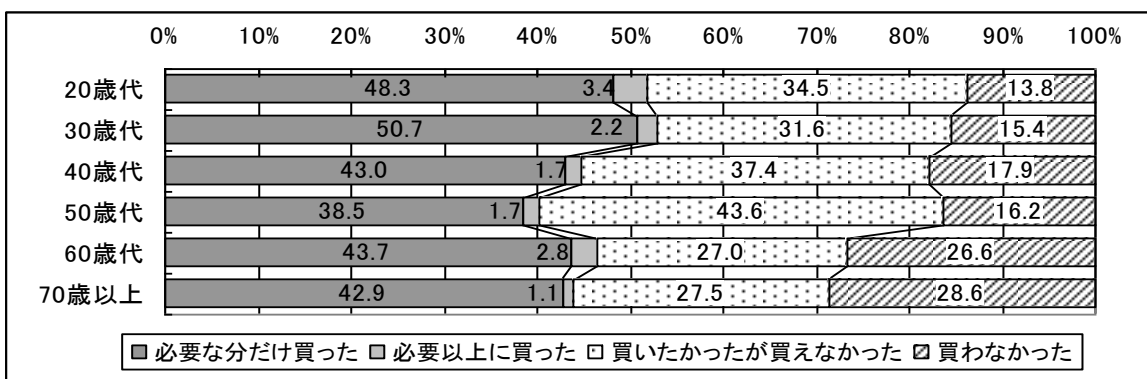
(単位:%)



年代別のガソリンの買物行動は、図表 3-71 のとおりです。購入した比率(「必要な分だけ買った」+「必要以上に買った」)は、30歳代 52.9%、20歳代の 51.7%と、他の世代より高くなっています。また、「買ったかったが買えなかった」は、50歳代の 43.6%を筆頭に 40歳代~20歳代までが 30%を超えています。なお、60歳代以上は、「買わなかった」が 26%以上となっています。

図表 3-71 年代別のガソリンの買物行動

(単位:%)



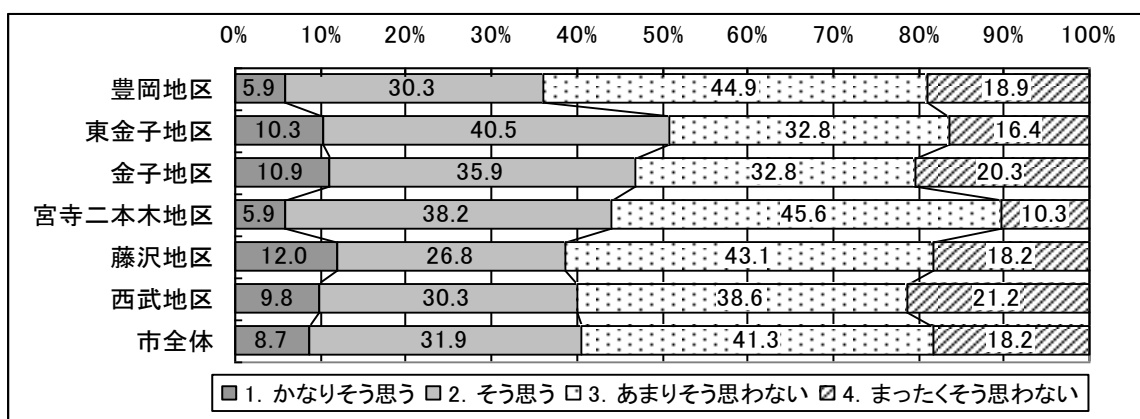
2) 震災後の自身の買物行動

① 風評などの影響

震災後の風評などで「自身の買物行動への影響」の市全体および地区別の状況は、図表 3-72 のとおりです。市全体では、「あまりそうは思わない」が 41.3%と最も高く、「まったくそうは思わない」の 18.2%を合わせた「否定的な回答」は 59.5%となっています。「かなりそう思う」は 8.7%と少なかったものの、「そう思う」は 31.9%となっており、両者を合わせた「影響された」との回答は 40.6%となっています。

地区別では、「否定的な回答」が市平均 59.5%より多いのは、豊岡地区 63.8%、藤沢地区 61.3%で、「影響された」が市平均 40.6%より多いのは、東金子地区 50.8%、金子地区 46.8%、宮寺二本木地区 44.1%となっています。

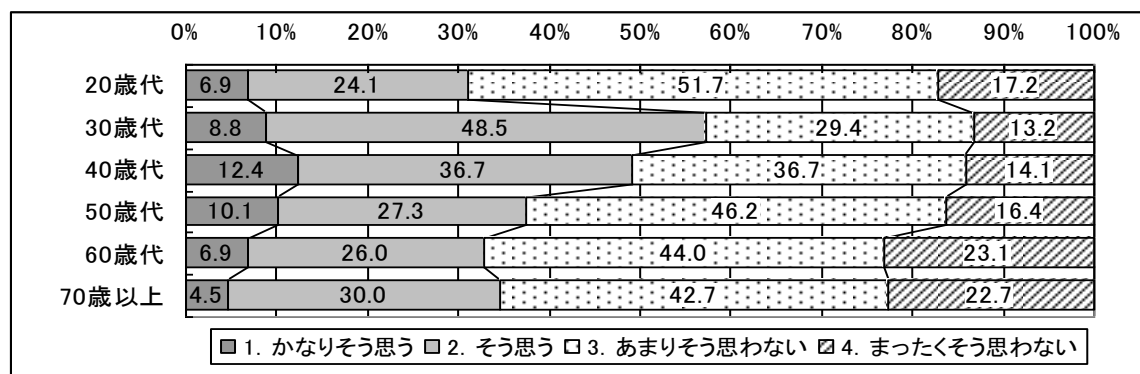
図表 3-72 買物行動への風評などの影響(市全体・地区別) (単位:%)



年代別の風評の影響は、図表 3-73 のとおりです。「かなりそう思う」と「そう思う」を合わせた「影響された」比率は、30 歳代が 57.3%、40 歳代が 49.1%と他の年代よりも高くなっています。

逆に、「あまりそう思わない」+「まったくそう思わない」を合わせた「否定的な回答」比率では、20 歳代が 68.9%と最も高く、50 歳代から 70 歳以上でも 60%を超えています。

図表 3-73 年代別の買物行動への風評の影響について (単位:%)



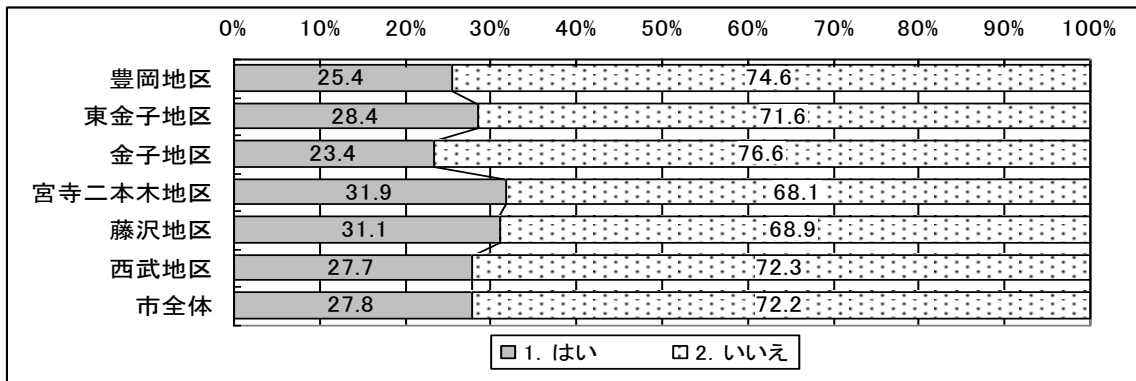
② 買物行動の変化(備蓄について)

「東日本大震災以後、自身の買物行動は変化したか」についての回答のうち、「今まで以上に、食料品や日用品の備蓄を心がけるようになったか」についての市全体および地区別の状況は、図表 3-74 のとおりです。

市全体では、「はい」が 27.8%、「いいえ」は 72.2%で、備蓄を心がけるようになった人は全体の 3 割弱という結果となっています。

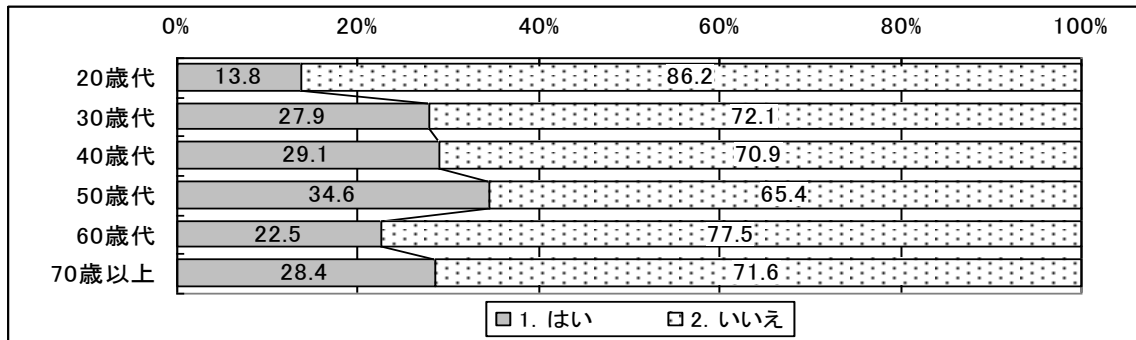
地区別では、宮寺・二本木地区が 31.9%、藤沢地区 31.1%と市平均の 27.8%を上回っていますが、他の地域はほぼ庭訓並みとなっています。

図表 3-74 地区別の東日本大震災後の買物行動変化(備蓄について) (単位:%)



年代別の状況は、図表 3-75 のとおりです。「備蓄を心がけるようになった」は、50 歳代が 34.6%と最も高く、以下、50 歳代 34.6%、40 歳代 29.1%と平均を超えています。20 歳代は 13.8%と最も低く、60 歳代も 22.5%と低いものとなっています。

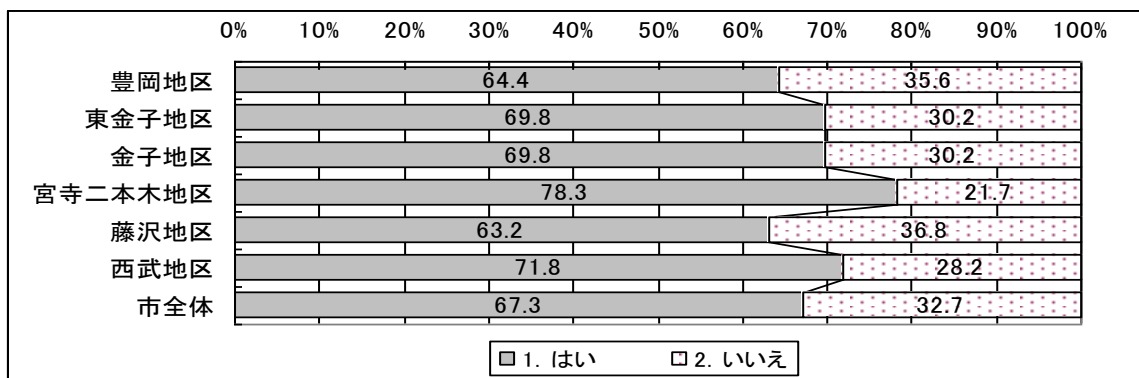
図表 3-75 年代別の東日本大震災後の買物行動変化(備蓄について) (単位:%)



③買物行動の変化(節約について)

震災後「今まで以上に節約を心がけるようになったか」についての市全体および地区別の状況は、図表 3-76 のとおりです。市全体で見ますと 67.3%が「節約を心がけるようになった」としており、大きな変化と言えます。地区別では、宮寺二本木地区が 78.3%と他の地区より高く、藤沢地区は 63.2%と低くなっています。

図表 3-76 東日本大震災後の買物行動変化(節約意識について) (単位:%)

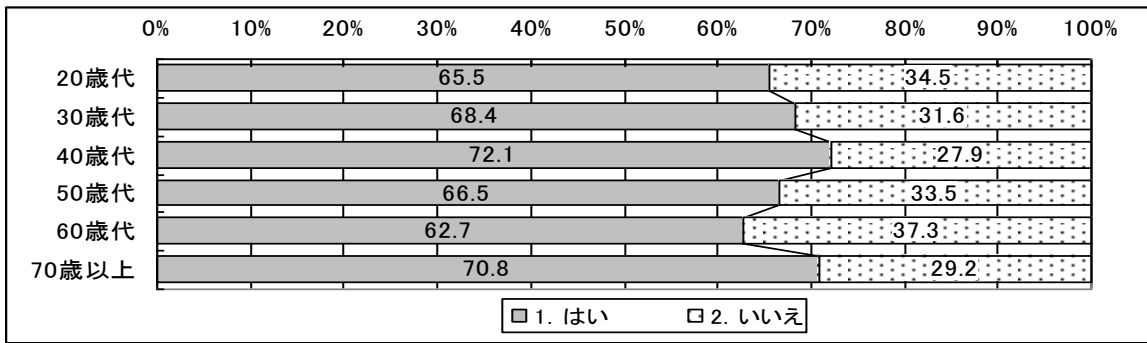


年代別の状況は、図表 3-77 のとおりです。節約を心がける比率が高いのは、40 歳代が 72.1%と最も高く、次いで 70 歳以上が 70.8%、30 歳代の 68.4%と続いています。

一方、60 歳代は 62.7%と最も低い値となっています。

図表 3-77 年代別の東日本大震災後の買物行動変化(節約意識について)

(単位:%)



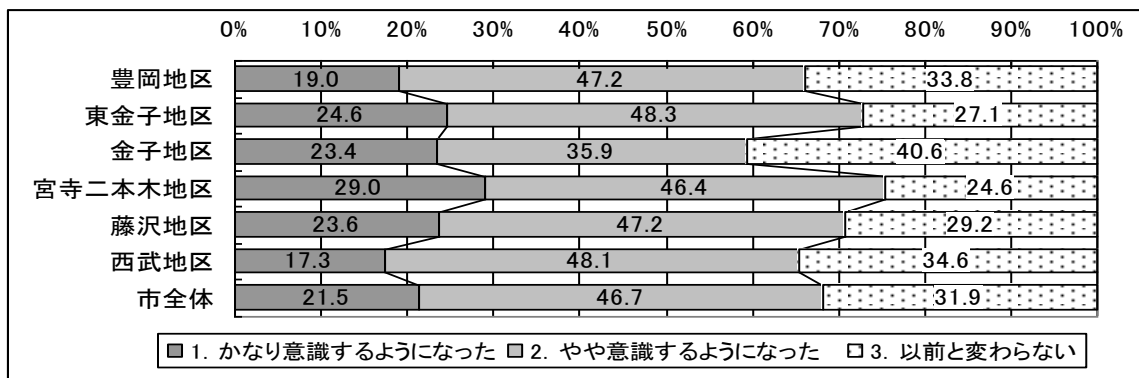
④食品の安全性

「東日本大震災後、食品の安全性について意識するようになったか」についての市全体および地区別の状況は、図表 3-78 のとおりです。市全体では、「かなり意識するようになった」は 21.5%、「やや意識するようになった」は 46.7%で、両者を合わせた「意識するようになった」比率は 68.2%にのぼっています。一方、「以前と変わらない」は 31.9%となっています。

地区別の「意識するようになった」比率は、宮寺二本木地区が 75.4%と最も高く、東金子地区 72.9%、藤沢地区 70.8%の順となっています。「以前と変わらない」は、金子地区が 40.6%と他の地区より高くなっています。

図表 3-78 東日本大震災後の食品の安全意識(市全体・地区別)

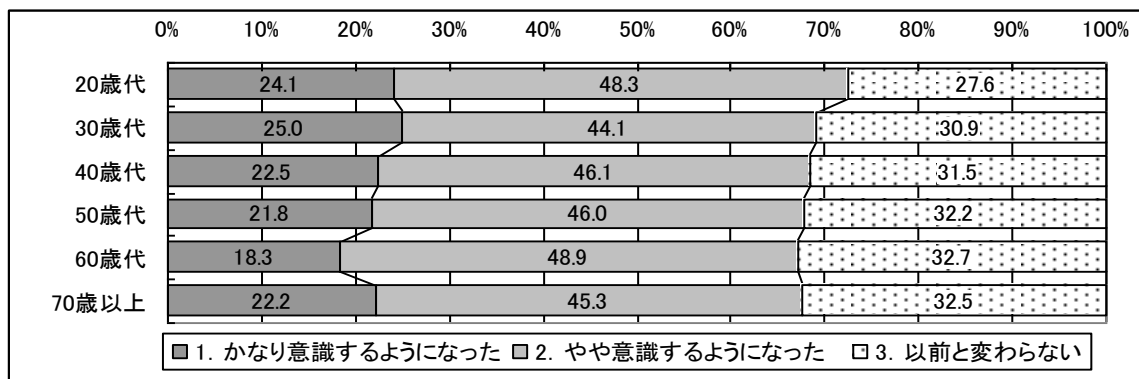
(単位:%)



年代別には、図表 3-79 のとおりです。年代別の「安全性を意識するようになった」(「かなり意識するようになった」+「やや意識するようになった」)比率は、20歳代が 72.4%で最も高く、以下年代が上がるに従って低くなる傾向がありますが、最も低い 60歳代でも 67.2%であり大きな差はみられません。

図表 3-79 年代別の東日本大震災後の食品安全意識

(単位:%)



第4章 入間市内の買物環境と居住継続意向

今回の消費動向調査においては、次の項目について質問し、その理由を聞きました。

①「住まいの地域や市内の買物環境」

②「入間市に今後も住み続けたいか」

以下がその回答結果と、各質問の回答理由です。

1. 居住地域や入間市内の買物環境

(1) 居住地域や入間市内の買物環境

「住まいの地域や入間市内の買物環境について」の満足度を市全体および地区別にみると、図表4-1のとおりです。

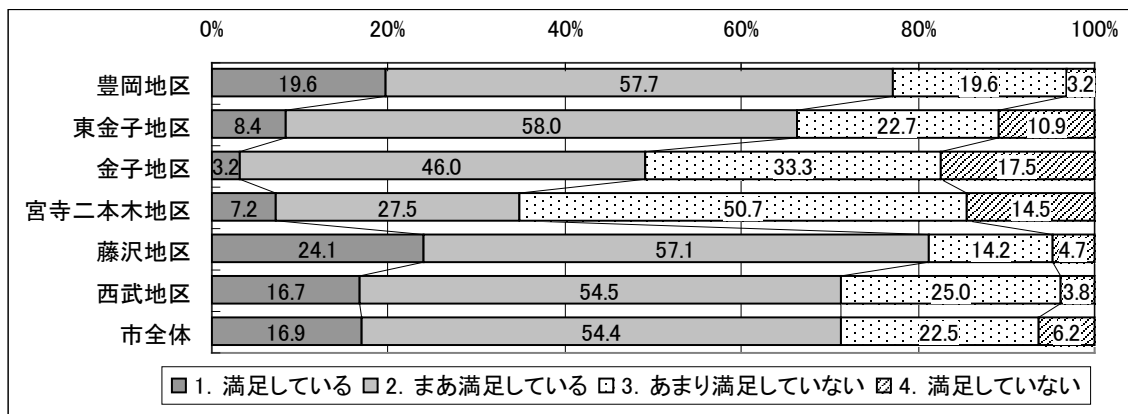
市全体では、「満足している」16.9%、「まあ満足している」54.4%の両者を合わせた「満足度」は 71.3%に達していますが、「あまり満足していない」22.5%と「満足していない」6.2%の両者を合わせた「不満度」は 28.7%となっています。

地区別の満足度をみると、藤沢地区は 81.2%と最も高く、次いで豊岡地区が 77.3%、西武地区は 71.2%で市平均の 71.3%とほぼ同じですが、宮寺二本木地区は、コストコ入間店や三井アウトレットモールが立地しているにもかかわらず日常の買物ができるスーパーなどが無いことから 34.7%と低く、金子地区と東金子地区は共に地域にスーパーが 1 社のみであることからそれぞれ 49.2%・66.4%と低いものとなっています。

このように、満足度の高低で分類してみると、藤沢、豊岡の2地区は高く、西武、東金子の2地区は平均に近く、宮寺・二本木、金子の2地区が平均より低いという、3つカテゴリーに区分できます。

図表 4-1 地区別の居住地域や入間市内の買物環境について

(単位:%)



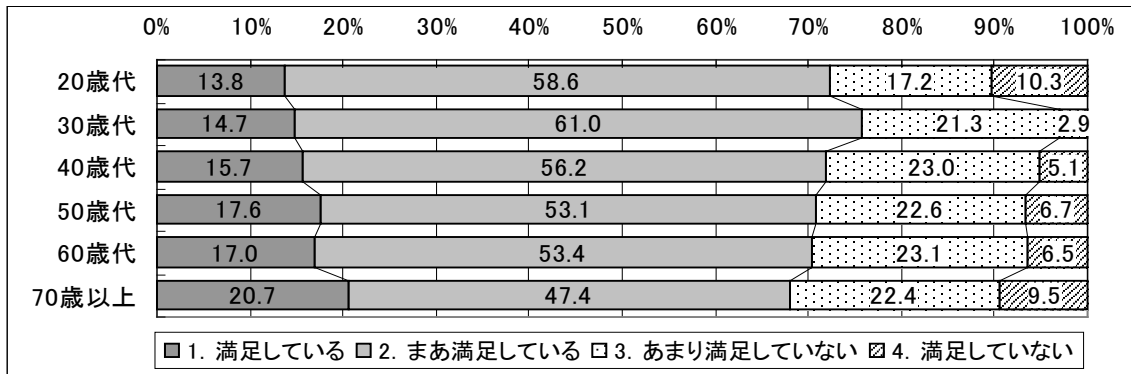
年代別の満足度の状況は、図表 4-2 のとおりです。

「満足」(「満足している」+「まあ満足している」)の比率は、各年代とも 70%前後であり、30 歳代が 75.7%とやや高く、70 歳以上が 68.1%とやや低い程度で大きな差異はみられません。満足度の内訳では、「満足している」は、20 歳代の 13.8%から 70 歳以上の 20.7%まで、年齢が高くなるに従って高くなる傾向がみられます。また、「まあ満足している」という曖昧さを持った回答は 30 歳代が 61.0%と最も高く、おおそ年齢が高くなるにつれて減少しています。

一方、「不満」(「あまり満足していない」+「満足していない」)の比率は、70 歳以上が 31.9%、20 歳代 27.5%とやや高く、30 歳代は 24.2%と最も低くなっています。その内訳をみますと、「満足していない」の比率は、20 歳代が 10.3%と最も高く、30 歳代は 2.9%で最も低く、年齢が高くなるに従って高くなる傾向がみられます。また、「あまり満足していない」については、20 歳代が 17.2%と低いほかは、他の年代は 22%前後であり差はみられません。

図表 4-2 年代別の居住地域や入間市内の買物環境について

(単位:%)



(2) 居住地域や入間市内の買物環境に関する理由等

①「満足(満足している+まあ満足している)」の理由

図表4-1の「居住地区や入間市内の買物環境について」の評価として、「満足(満足している+まあ満足している)」の理由については、図表4-3・4-4のとおりです。

まず、「満足」グループは全体の71.3%に達しており、その理由として最も多いのは店舗が近くにあるという「店舗の距離」関係で30.7%となっています。次いで、「理由の記載なし」が25.4%、大型店が多いという「店舗数等」が18.6%、利便性等に関する「環境・その他」が17.3%と続いています。

地区別の満足率では、「店舗の距離」が西武・宮寺二本木・東金子・豊岡の4地区で30%を超えており、うち、「徒歩・自転車で行ける」との回答は、西武地区の27.7%、藤沢地区の26.2%、豊岡地区の24.4%が高くなっています。また、「自動車で行ける」との回答は、宮寺二本木地区が20.8%、東金子地区が15.2%と高くなっています。

なお、「理由の記載なし」を地区別でみると、宮寺二本木地区が41.7%と最も高く、次いで金子地区が38.7%、西武地区が28.7%となっており、言葉に出来ない理由が存在しているようです。

図表 4-3 地区別の買物環境に関する満足理由

(単位:人)

理 由		豊 岡	東金子	金 子	宮寺・ 二本木	藤 沢	西 武	地区不明	市全体
店舗数 等	11 店舗の数が多	12	5	0	0	14	2	0	33
	12 各種の大型店が揃っている	32	7	1	2	17	6	0	65
	13 その他	10	4	1	0	5	7	2	29
	小 計	54	16	2	2	36	15	2	127
品揃え 等	21 店舗の品揃えが良い	7	0	1	1	4	1	0	14
	22 魅力的な店がある	1	0	0	0	0	0	0	1
	23 価格が安い	9	1	0	0	2	1	0	13
	24 その他	6	0	0	0	3	2	0	11
小 計	23	1	1	1	9	4	0	39	
店舗の 距離	31 近い(徒歩・自転車で行ける)	68	11	5	3	45	26	0	158
	32 自動車で行ける	16	12	3	5	3	7	0	46
	33 その他	3	2	0	0	0	0	0	5
	小 計	87	25	8	8	48	33	0	209
交通関 係	51 駐車場が完備している	6	1	0	0	0	1	0	8
	52 道路が混みあっていない	0	0	0	0	1	0	0	1
	53 その他	1	1	1	0	3	0	0	6
	小 計	7	2	1	0	4	1	0	15
環境・ その他	61 便利。特に不便を感じない	25	8	4	3	15	9	0	64
	62 市内で全てが揃う	3	1	1	0	14	3	0	22
	63 その他	20	4	2	0	4	2	0	32
	小 計	48	13	7	3	33	14	0	118
無回答	71 意見記載なし	60	22	12	10	42	27	0	173
合 計		279	79	31	24	172	94	2	681

図表 4-4 地区別の買物環境に関する満足理由の構成比

(単位:%)

理 由		豊 岡	東金子	金 子	宮寺・ 二本木	藤 沢	西 武	地区不明	市全体
店舗数 等	11 店舗の数が多	4.3	6.3	0.0	0.0	8.1	2.1	0.0	4.8
	12 各種の大型店が揃っている	11.5	8.9	3.2	8.3	9.9	6.4	0.0	9.5
	13 その他	3.6	5.1	3.2	0.0	2.9	7.4	100.0	4.3
	小 計	19.4	20.3	6.5	8.3	20.9	16.0	100.0	18.6
品揃え 等	21 店舗の品揃えが良い	2.5	0.0	3.2	4.2	2.3	1.1	0.0	2.1
	22 魅力的な店がある	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
	23 価格が安い	3.2	1.3	0.0	0.0	1.2	1.1	0.0	1.9
	24 その他	1.1	0.0	0.0	0.0	1.7	2.1	0.0	1.2
	小 計	7.2	1.3	3.2	4.2	5.2	4.3	0.0	5.3
店舗の 距離	31 近い(徒歩・自転車で行ける)	24.4	13.9	16.1	12.5	26.2	27.7	0.0	23.2
	32 自動車で行ける	5.7	15.2	9.7	20.8	1.7	7.4	0.0	6.8
	33 その他	1.1	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7
	小 計	31.2	31.6	25.8	33.3	27.9	35.1	0.0	30.7
交通関 係	41 駐車場が完備している	2.2	1.3	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	1.2
	42 道路が混みあっていない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.1
	43 その他	0.4	1.3	3.2	0.0	1.7	0.0	0.0	0.9
	小 計	2.5	2.5	3.2	0.0	2.3	1.1	0.0	2.2
環境・ その他	51 便利。特に不便を感じない	9.0	10.1	12.9	12.5	8.7	9.6	0.0	9.4
	52 市内ですべてが揃う	1.1	1.3	3.2	0.0	8.1	3.2	0.0	3.2
	53 その他	7.2	5.1	6.5	0.0	2.3	2.1	0.0	4.7
	小 計	17.2	16.5	22.6	12.5	19.2	14.9	0.0	17.3
無回答	61 意見記載なし	21.5	27.8	38.7	41.7	24.4	28.7	0.0	25.4
合 計		100	100	100	100	100	100	100	100

②「不満(あまり満足していない+満足していない)」の理由

図表4-1の「居住地区や人間市内の買物環境について」の評価として、「不満(あまり満足していない+満足していない)」の理由については、図表4-5・4-6のとおりです。

「不満」グループは全体の28.7%であり、最も多い理由は店舗が遠いという「店舗の距離」で25.7%となっています。次いで、大型店などの店舗が少ないという「店舗数等」が22.2%、「商品の品揃え」が19.4%、利便性が悪い等の「環境・その他」が14.8%と続いています。

地区別の不満理由の高いものは、次のとおりです。

豊岡地区……………大型店舗等の出店はあるものの「店舗数等」に関しての不満が24.4%

東金子地区……………「商品の品揃え」に関しての不満が23.3%

金子地区……………市外に買物に行くなど「環境が悪い」との不満が34.4%

宮寺・二本木地区…店舗が遠いと「店舗距離」が42.2%と最も高い

藤沢地区……………大型商店の出店数は最多であるものの、「商品の品揃え等」への不満が35.0%

西武地区……………遠くて不便など「店舗の距離」に関する不満が39.5%

図表 4-5 地区別の買物環境に関する不満足理由

(単位:人)

理 由		豊 岡	東金子	金 子	宮寺・ 二本木	藤 沢	西 武	市全体
店舗の 数関係	11 大型店が少ない	11	0	5	1	1	4	22
	12 個人店舗がない・少ない	5	3		2	1	3	14
	13 その他	5	5	2	4	6	5	27
	小 計	21	8	7	7	8	12	63
商品の 品揃え	21 店の品揃えがよくない	9	7	2	3	5	4	30
	22 魅力的な店がない	1	1	0	1	2	2	7
	23 価格が高い	3	1	1	0	1	0	6
	24 その他	4	1	0	0	6	1	12
	小 計	17	10	3	4	14	7	55
店舗の 距離	31 遠くて不便	13	4	4	6	3	8	38
	32 自動車でないといけない	5	5	3	11	1	6	31
	33 その他	1	0	0	2	0	1	4
	小 計	19	9	7	19	4	15	73
交通関 係	41 駐車場が完備していない	2	1	0	0	0	0	3
	42 道路が渋滞する	2	1	0	2	0	0	5
	43 道が狭い	1	1	0	0	0	0	2
	44 その他	4	0	0	0	0	1	5
	小 計	9	3	0	2	0	1	15
環境・そ の他	51 とにかく不便	0	2	2	2	0	0	6
	52 駅周辺が不便。さみしい	0	0	0	2	5	0	7
	53 商店街が無い・活気がない	0	1	0	0	2	0	3
	54 市外に買物に行く	0	0	6	3	4	0	13
	55 その他	6	1	3	1	2	0	13
小 計	6	4	11	8	13	0	42	
無回答	61 意見記載なし	14	9	4	5	1	3	36
合 計		86	43	32	45	40	38	284

図表 4-6 地区別の買物環境に関する不満足理由の構成比

(単位:%)

理 由		豊 岡	東金子	金 子	宮寺・ 二本木	藤 沢	西 武	市全体
店舗の 数関係	11 大型店が少ない	12.8	0.0	15.6	2.2	2.5	10.5	7.7
	12 個人店舗がない・少ない	5.8	7.0	0.0	4.4	2.5	7.9	4.9
	13 その他	5.8	11.6	6.3	8.9	15.0	13.2	9.5
	小 計	24.4	18.6	21.9	15.6	20.0	31.6	22.2
商品の 品揃え	21 店の品揃えがよくない	10.5	16.3	6.3	6.7	12.5	10.5	10.6
	22 魅力的な店がない	1.2	2.3	0.0	2.2	5.0	5.3	2.5
	23 価格が高い	3.5	2.3	3.1	0.0	2.5	0.0	2.1
	24 その他	4.7	2.3	0.0	0.0	15.0	2.6	4.2
	小 計	19.8	23.3	9.4	8.9	35.0	18.4	19.4
店舗の 距離	31 遠くて不便	15.1	9.3	12.5	13.3	7.5	21.1	13.4
	32 自動車でないといけない	5.8	11.6	9.4	24.4	2.5	15.8	10.9
	33 その他	1.2	0.0	0.0	4.4	0.0	2.6	1.4
	小 計	22.1	20.9	21.9	42.2	10.0	39.5	25.7
交通関 係	41 駐車場が完備していない	2.3	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1
	42 道路が渋滞する	2.3	2.3	0.0	4.4	0.0	0.0	1.8
	43 道が狭い	1.2	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7
	44 その他	4.7	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	1.8
	小 計	10.5	7.0	0.0	4.4	0.0	2.6	5.3
環境・そ の他	51 とにかく不便	0.0	4.7	6.3	4.4	0.0	0.0	2.1
	52 駅周辺が不便。さみしい	0.0	0.0	0.0	4.4	12.5	0.0	2.5
	53 商店街が無い・活気がない	0.0	2.3	0.0	0.0	5.0	0.0	1.1
	54 市外に買物に行く	0.0	0.0	18.8	6.7	10.0	0.0	4.6
	55 その他	7.0	2.3	9.4	2.2	5.0	0.0	4.6
小 計	7.0	9.3	34.4	17.8	32.5	0.0	14.8	
無回答	61 意見記載なし	16.3	20.9	12.5	11.1	2.5	7.9	12.7
合 計		100	100	100	100	100	100	100

2. 入間市への居住継続意向

(1)入間市への居住継続意向

「入間市に今後も住み続けたいか」との居住継続意向の市全体および地区別は、図表 4-7 のとおりです。

市全体では、「ぜひ住み続けたい」が 33.6%、「できれば住み続けたい」は 54.1%であり、両者を合わせた「住み続けたい」は 87.7%に達しています。

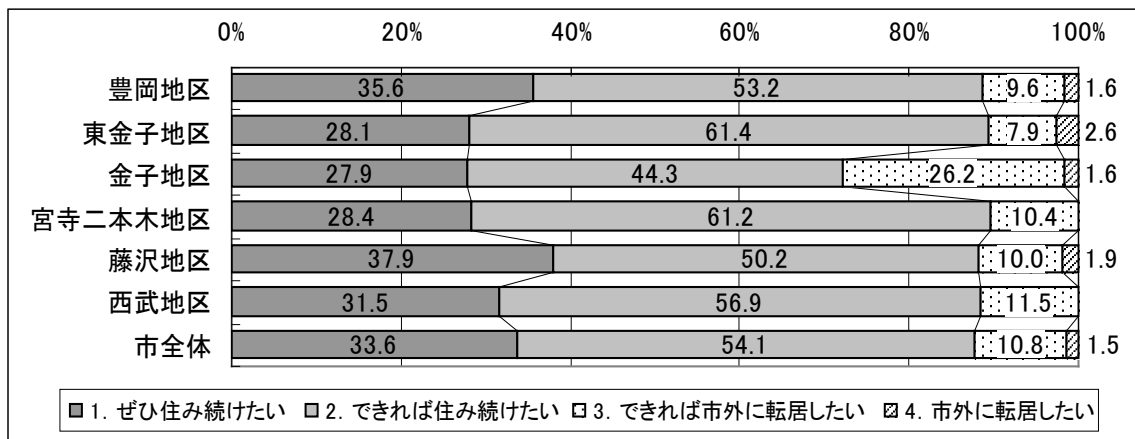
一方、「できれば市外に転居したい」10.8%と、「市外に転居したい」1.5%を合わせた「転居希望」は 12.3%と低い値となっています。

地区別では、「ぜひ住み続けたい」の比率は、藤沢地区 37.9%、豊岡地区 35.6%と特に高くなっていますが、両者は図表 4-1 の「居住地域や買物環境」の「満足」比率が高い地域でもあります。

一方、金子地区は「住み続けたい(「ぜひ住み続けたい」+「できれば住み続けたい)」比率が 72.2%であり、他の地域の 9 割弱と比較して特に低く、「できれば市外に転居したい」26.2%、「市外に転居したい」1.6%と「転居希望」が 27.8%と他地区よりも高くなっています。

図表 4-7 入間市への居住継続意向(市全体・地区別)

(単位:%)



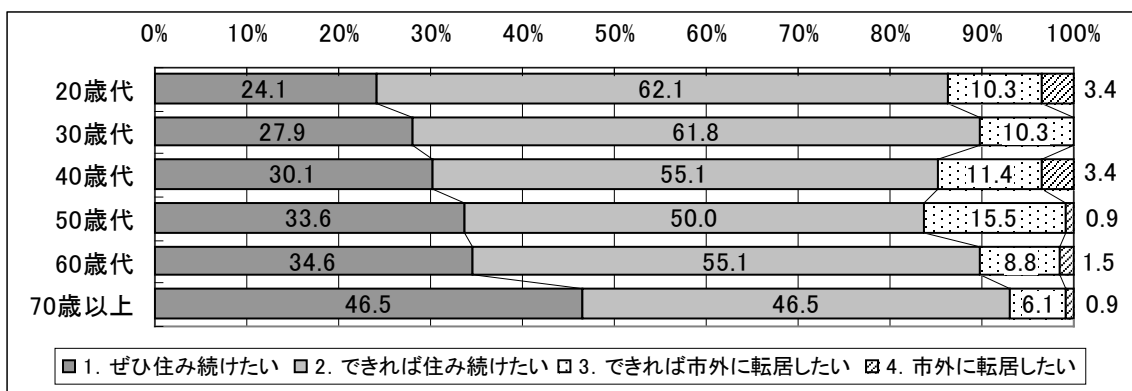
年代別の「居住継続意向」は、図表 4-8 のとおりです。

「住み続けたい(「ぜひ住み続けたい」+「できれば住み続けたい)」の比率は、70 歳以上が 93.0%で最も高く、次いで 60 歳代、30 歳代が共に 89.7%となっています。このように 60 歳代以上及び子供の小さな 30 歳代は定住志向が強く、以下 20 歳代 86.2%、40 歳代 85.2%、50 歳代 83.6%の順となっています。このうち、「ぜひ住み続けたい」の比率は、年齢が高くなるに従ってその比率も高くなっています。

一方、「転居希望(「できれば市外に転居したい」+「市外に転居したい)」の比率は、子供の成長が終わった 50 歳代(16.4%)、40 歳代(14.8%)、子供がいないかまだ小さい 20 歳代(13.9%)において、やや高い傾向がみられます。

図表 4-8 年代別の入間市への居住継続意向

(単位:%)



(2)居住継続意向に関する理由

①「住み続けたい(「ぜひ住み続けたい」+「できれば住み続けたい)」の理由

図表4-7の「入間市への居住継続意向」とおり「住み続けたい(「ぜひ住み続けたい」+「できれば住み続けたい)」は87.7%に達しており、それらの理由は、図表4-9・4-10のとおりです。

「住み続けたい」の最多理由は、「無記入」の26.8%となっていますが、理由付けしたものでは、「故郷である・持家がある」が21.0%と最多であり、次いで「生活環境がよい・住みやすい」が13.6%、「自然環境がよい」が12.5%の順となっています。

なお、「買物環境がよい」は3.4%と意外と低い値にとどまっています。

地区別の特徴(無記入を除く)は、次のとおりです。

豊岡地区……………「故郷である・持家がある」が最多の19.3%

東金子地区……………「故郷である・持家がある」が最多の23.5%

金子地区……………「自然環境がよい」が最多の22.7%

宮寺・二本木地区…「故郷である・持家がある」が最多の35.0%

藤沢地区……………「故郷である・持家がある」の17.7%と「生活環境がよい・住みやすい」の17.2%が拮抗

西武地区……………「故郷である・持家がある」が最多の26.3%

図表4-9 「市内に住み続けたい」理由の件数

(単位:人)

理 由	豊岡	東金子	金子	宮寺・ 二本木	藤沢	西武	地区 不明	市全体
01生活環境がよい・住みやすい	49	11	2	3	32	17	0	114
02自然環境がよい	32	18	10	8	20	17	0	105
03買物環境がよい	20	2	0	0	7	0	0	29
04故郷である・持家がある	64	24	5	21	33	30	0	177
05公共・福祉・医療施設が充実している	5	0	0	1	1	0	0	7
06交通アクセスがよい	30	2	2	0	14	7	1	56
07その他の理由	18	7	6	6	15	7	0	59
08意見・要望等	23	7	6	5	23	5	0	69
09無記入	91	31	13	16	41	31	2	225
合 計	332	102	44	60	186	114	3	841

図表4-10 「市内に住み続けたい」理由の構成比

(単位:%)

理 由	豊岡	東金子	金子	宮寺・ 二本木	藤沢	西武	地区 不明	市全体
01生活環境がよい・住みやすい	③14.8	10.8	4.5	5.0	③17.2	③14.9	0.0	③13.6
02自然環境がよい	9.6	③17.6	②22.7	③13.3	10.8	③14.9	0.0	12.5
03買物環境がよい	6.0	2.0	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0	3.4
04故郷である・持家がある	②19.3	②23.5	11.4	①35.0	②17.7	②26.3	0.0	②21.0
05公共・福祉・医療施設が充実している	1.5	0.0	0.0	1.7	0.5	0.0	0.0	0.8
06交通アクセスがよい	9.0	2.0	4.5	0.0	7.5	6.1	33.3	6.7
07その他の理由	5.4	6.9	③13.6	10.0	8.1	6.1	0.0	7.0
08意見・要望等	6.9	6.9	③13.6	8.3	12.4	4.4	0.0	8.2
09無記入	①27.4	①30.4	①29.5	②26.7	①22.0	①27.2	66.7	①26.8
合 計	100	100	100	100	100	100	100	100

②「転居希望(「できれば市外に転居したい」+「市外に転居したい」)」の理由

「転居希望(「できれば市外に転居したい」+「市外に転居したい」)」の理由は、図表 4-11・4-12 のとおりです。

「転居希望」グループは全体の 7.0%と少ないです。

「転居希望」の理由としては、「交通アクセスがわるい」の 26.3%が最も多く、次いで、「その他の理由」が 18.6%、「無記入」11.9%となっています。

図表 4-11 「転居したい」理由の件数

(単位:人)

理由	豊岡	東金子	金子	宮寺・二本木	藤沢	西武	市全体
01 生活環境がよくない・住みにくい	1	2	1	1	0	1	6
02 自然環境がわるい	2	0	0	0	3	1	6
03 買物環境がわるい	0	1	2	1	2	2	8
04 市外へ出たい	9	0	0	0	0	0	9
05 教養・娯楽施設が未整備である	2	1	1	0	0	1	5
06 公共・福祉・医療施設が未整備である	2	0	2	0	3	0	7
07 交通アクセスがわるい	8	4	7	4	7	1	31
08 その他の理由	8	2	2	1	5	4	22
09 意見・要望等	4	0	0	0	3	3	10
10 無記入	6	2	2	0	2	2	14
合計	42	12	17	7	25	15	118

図表 4-12 「転居したい」理由の構成比

(単位:%)

理由	豊岡	東金子	金子	宮寺・二本木	藤沢	西武	市全体
01 生活環境がよくない・住みにくい	2.4	②16.7	5.9	14.3	0.0	6.7	5.1
02 自然環境がわるい	4.8	0.0	0.0	0.0	③12.0	6.7	5.1
03 買物環境がわるい	0.0	8.3	②11.8	14.3	8.0	③13.3	6.8
04 市外へ出たい	①21.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.6
05 教養・娯楽施設が未整備である	4.8	8.3	5.9	0.0	0.0	6.7	4.2
06 公共・福祉・医療施設が未整備である	4.8	0.0	②11.8	0.0	③12.0	0.0	5.9
07 交通アクセスがわるい	②19.0	①33.3	①41.2	①57.1	①28.0	6.7	①26.3
08 その他の理由	②19.0	②16.7	②11.8	14.3	②20.0	①26.7	②18.6
09 意見・要望等	9.5	0.0	0.0	0.0	③12.0	②20.0	8.5
10 無記入	14.3	②16.7	②11.8	0.0	8.0	③13.3	③11.9
合計	100	100	100	100	100	100	100

3. 買物環境と居住継続に関する個別理由の主なもの

(1)買物環境に関する主な理由等

1)満足している主な理由

①店舗数等

(店舗の数が多い)

- ・入間市は非常にスーパーが多く、色々と安く良い物を選べるので良い。(多数)
- ・大型スーパーが多く、ほとんどの品物が近くで揃うので満足している。
- ・近くに大型店舗があるので便利だし、ちらしが入るのでセール品も助かる。
- ・個人商店もありますが、大型店もあるので不便はしていない。
- ・買物施設は十分ありますが、どこも似たりよったりで、一押しの特徴が無いように思う。
- ・個人店の魅力がいま一つ。よって大型店に行ってしまう。
- ・地域にたくさんのスーパーがあり、現在はまだ足腰が丈夫でなんとかなるからよい。しかし、足腰が弱くなった時を考えると不安になる。
- ・スーパーがたくさんあるので、日用品の買物には良いが、百貨店がほしい。

(各種の大型店が揃っている)

- ・家の近くに百貨店、スーパー、商店街があり、車で10分位の場所には大型スーパーがあるので、ほとんどの物は市内で買物できるから。また、他の市と比べても食料品は安いと思うので。
- ・徒歩で、スーパー、ホームセンター、ドラッグストアに行ける。車で20分もあれば、百貨店、大型ショッピングモールに行けるから
- ・豊岡に住んでいますが、車で5~10分の距離に、日用品・食料品等を購入できる大型店が複数あり、店を選んで買物することができる。地元の商店街が充実していないことから100%満足できない理由です。TVにみるように、商店街で、食品・お惣菜など買物したいという気持ちはあります。
- ・スーパーやドラッグストアなどは充実していると思う。アウトレットも出来て、家族で買物を楽しめる場が増えたので。
- ・入間市内に商業施設が充実している。高速道路入間ICもあり、生活に利便性を感じる事が多いから。
- ・アウトレットの店舗数は多いが若向きですね。時々出掛けますが、近くにこのような店があると、時には楽しめます。買う、買わないは別にして。
- ・近くにスーパー、ドラッグストア、本屋、飲食店等いろいろなお店があるので、それほど不自由ではないです。が、子供がいるので子供服のお店がもう1軒位あるといいなと思います。

(その他)

- ・東藤沢地区は、所沢商店街、スーパー、武蔵藤沢から246号に通じる道に店は多数あるため、とても満足している。個人店・大型店どちらにも頑張ってもらいたい。
- ・ほとんどのスーパーが大手グループになったので魅力が薄れた。同じような店ばかりたくさんあっても意味がない。地域の商店街を利用したいが、基本的に車の移動のついでなので、パーキングに困る。
- ・人は大型店ばかりでは生きられず、個人商店がそれなりにやっていたらいいものではないかと思ってしまう。
- ・近くのスーパーが何軒か突然店じまいして不便になった事がある。
- ・電器店、総合スーパーが近くに多くあり、共倒れするケースがある。それに伴い、スーパーのない地域もある。立地条件を考慮すると良いです。
- ・個人商店がなくなり、ちょっとした物が手に入らない。

②品揃え等

(店舗の品揃えが良い)

- ・欲しい物、必要な物は、すぐ買いに行くことができる。
- ・品物の種類がいっぱいあり一度で買物が済み、値段も安い。
- ・店が多いので選びやすい。品物によって店の値段が違うので安いと遠くまで行き買う事ができる。
- ・普通に生活をして行く分には、“商品が無い”という事は無い。買物にストレスを感じません。

(魅力的な店がある)

- ・さまざまなジャンルの店舗が多く、商品が充実していて市内でほとんど、買物が済ませられる。
- ・個人商店、専門店、大型店がたくさんあり買物に不自由しない。

- ・ショッピングセンター、食品スーパー、百貨店、アウトレットショップなどが車で10分以内の所に有るので便利です。年を重ねてから徒歩で行ける様な地域密着型の生活必需品・食料品の揃う小規模なお店が身近に有ると安心ですね。
- ・仕事の帰りに立ち寄れて、自宅より車で10分くらいの場所に店があるので満足しています。百貨店は、洋服店が縮小されて残念です。

(価格が安い)

- ・食料品などの物価は都内に比べれば安い方だと思うし、アウトレットパーク入間ができたことで、今まで都内までいかないと買えなかったような服や雑貨なども買えるようになったので。輸入食材などの今まではめずらしかったものも扱う店が増えたので。
- ・物価も店を選べば安いし、100均も多くて便利。
- ・他の市より価格が安い。お店に個性あり、自分の好物を買う時には行動しやすい。
- ・必要な物が近くで安く早く揃うので電車で買物に行くことは無い。でも何か「あそこ好き！あのお店好き！」という気軽に入れる一押しのお店が無いように思う。
- ・価格も安く、お土産品などちょっと上等なものは百貨店などで手に入るから。だが、豊岡地区まで車で行かねばならず、駐車料金が必ずかかるのが少し不満。2歳の子供と一緒になので、2時間サービスでも足りなかったりすること。
- ・自宅の立地条件が入間市、所沢市の境界付近の為両市内の店舗で価格等を比較し購入出来る。
- ・だいたい便利に買物出来るがもう少し、有機野菜など、手軽に買えるとよい

(その他)

- ・大型施設が多いので、一度に買物ができる。アウトレットができて、東京まで出なくても近くで楽に買物ができるようになった。
- ・デパートやショッピングセンターもあり、食品スーパーも至る所にあり、選んで買物ができる。

③店舗の距離

(近い・徒歩・自転車で行ける)

- ・徒歩、自転車圏内に多数のお店があるため、買物には困らない。あまり大型の店（ショッピングセンターやアウトレットなど）は交通渋滞をまねくため、程よい距離にあるのも満足している。
- ・毎日の生活に必要なものは、自転車で行ける範囲内ですべてそろうので満足している。
- ・歩き、自転車、自動車ですぐに行けるショッピングモール等が沢山あり、一度で買物を済ませる事が出来る。
- ・購入したい商品によって、スーパーを使い分けて買物ができる。道路が日曜日などが混むので歩いて行ったり自転車で走ったりできる距離内にあるので便利です。
- ・家の近くにホームセンターやドラッグストア、コンビニなどがあるし、駅の近くにはデパートや百貨店などあるので、買物するには充分よい環境だと思う。
- ・食料品に関しては、近くに安いスーパーがあるので満足している。アウトレットができたので衣料品もいろいろと見に行く事ができて良かったと思う。入間市内は食事（外食）のできる場所が少ない。
- ・近くにはスーパーがあり、食品等の買物ができる。時間によっては他のスーパーを利用できる。肌着や靴下などはしまむらがあり、日用品などはカインズが何れも近くにある。近くに電機店がないが、通販の方が価格が安いので、そちらを利用している。

(自動車で行ける)

- ・車さえあれば、欲しい物に合わせて市内だけでほとんど手に入れることができるので。また、駐車場も広く、無料であることが多い。お店が閉店してもすぐに新しいお店が入ることが多いので、活気がなくなるということがないので良い。
- ・車を持っているので、大型店舗でほとんど買物もすんでしまう。価格についても、何店舗か比べて選ぶこともできる。特に不便を感じることはありません。ただ徒歩で行くにはせいぜいコンビニがやっとなので近くにスーパーができるとうれしいです。
- ・自宅近くに店がなく、何をかうにも自動車を使います。しかし、自動車ですぐに出れば、10分前後でスーパーやアウトレットともあり、便利だと思います。駐車場がないと、行けません。
- ・車があれば、安売り店からアウトレットなど都会に近いような物まで、いろいろなお店に行ける。店舗が多いので競争があるのか、物価も安めだと思う。ただ、車が無いと不便に思える（効外型大型店頼みなので）。
- ・車があるからよいが、夫が車で仕事へ行っていると交通手段がなく、自転車で多くは買物できない。
- ・今は車があればどこにでも買物に行けて良いのですが、もっと歳をとって車の運転がむずかしくなった時が心配です。

- ・車で動けることが前提で「満足」していますが、渋滞を考慮しなければならない。又、車が使えない状況になった時には、困ることになると思います。
- ・住んでいる地域はあまりいい環境とは言えませんが、車で市内のいろいろな店舗に行けるので。でも、車で行動できないお年寄りの方には不便だと思います。
- ・駅北口再開発にて大型SC、大型量販店の出店を希望する。現生活においては車での活用により不便なし。

(その他)

- ・仕事していると夜遅くまで営業している店がないので困る。24時間が大変なら開店時間を遅くしてほしい。大手スーパーは混んでいるので買物が面倒なので、平日にまとめ買いしている。
- ・今は車で買物に行けるが年を取った時買物品目の中の衣類・履物・家具類を購入するのに大変だろうなあとと思う。
- ・歩いて買える場所が少ない。ブラブラ歩きながら買物を楽しむところがあってもいいと思う。

④交通関係

(駐車場が完備している)

- ・自分が利用している店は、駐車場がある。夜も営業している。家からも近い。
- ・近所から個人商店が次々と店を閉めてから久しい。駐車場完備の大型店で何でも揃うので自然とそのようになってしまったのだろうが、食品の店は歩き、または自転車で行ける近所が良い。
- ・自動車で行くので駐車場が広く長時間置いても無料でゆっくり買物が出来る所へ行く。品数も多く新鮮なものを選べるのもいい。
- ・普段、買物に行く所は、ほぼ大型駐車場が完備されているので、その点では満足しているが、欲しい物が一ヶ所で済まされる事が少ない。
- ・スーパーなどは、立体駐車場よりも平面の広々している所を選んでしまう。商店街での買物もいいが、歩いていける所で済ませられるような所が近くにあれば良いと思うが、実際は無い。

(その他)

- ・バスの運行本数が少ない。(時間により1時間に1～2本しかない)
- ・週末、年末、道路渋滞が緩和されれば良いのだが…

⑤その他

(それなりに便利・不便を感じない)

- ・生活をする買物環境はまあ整っている。
- ・とりあえず、市内の商業施設でこと足りているので！！
- ・買物は、以前市外に出掛けることも多かったが、最近が入間市内の品揃えで充分であり便利になった。
- ・こんなところで十分だと思います。これからだんだん減っていかないように皆様に応援していきたいと思います。人口15万弱の東京近郊地方都市だから！
- ・普段の生活は不自由ありませんが、百貨店で買いたいような品物は入間市内では品不足で、所沢や都内に出ないといけない。
- ・必要なものは手に入るのもまあ満足しているが、家族で楽しめる大型ショッピングセンターの中身があまり充実していない。
- ・ほとんどの物は近くでそろるので、遠くへ行かず、交通費等かからずに済む。が、スポーツ用品を扱う所が少ない点は困る。

(その他)

- ・衣・食・住の買物が身近で、割と気楽に行けるのでまずまず満足している。
- ・個性ある小売店が少ない。商店街に活気がない。
- ・ほとんどの物は、生協の宅配で買っている。カタログで、生産地・内容物など詳しく書いてあるので、納得して買物が出来る。
- ・飲食店が少ない。
- ・武蔵藤沢駅前のお店が充実していないというか、無い。日用品雑貨一般食品などには満足しているが、おしゃれなものがない。
- ・電車一本で都心に行く事は出来ませんが、駅近辺に、もう少し充実した買物の場所があれば良いと思います。武蔵藤沢駅

を利用していますが、駅のまわりに小手指、入間市のようにスーパー、商業施設がありません。

- ・残念ながら個人商店は減少していますが、衣食住共にスーパー・ドラッグストア・ホームセンター・百貨店の存在は大きい。但し、アウトレットは年令的に見てあまり興味はないが、子供達には楽しみようです。

2) 不満である主な理由

① 店舗数等

(大型店が少ない)

- ・スーパーやコンビニが近くになく不便。
- ・お店の数が少ない。スーパーの品数が少ないので市外に行く事が多い。安くて安心のお店が少ない。
- ・近くにスーパーがない。コープを取るほかない。足りないものがあると人に頼むか、バスで駅に。
- ・個別店は多いが、ショッピングモールなどの大型施設がない。入間市駅北口になにもない。
- ・徒歩で行ける近くにはスーパー 1 軒のみ。非常時は自転車でも市外の青梅市のホームセンターやスーパーへ行かざるを得ない状況！ 重い物を乗せるので大変である。昔は、近くにたくさん店もあったのですが。
- ・仏子駅を利用しているが、帰りが遅くなるとコンビニしか空いていない。仏子駅近くに買物できるスーパーや商店があるとうれしい。
- ・駅周辺（入間市、武蔵藤沢）に他の街のような各種多彩な商店が全く充実していない。ブラブラ買物して食事をして楽しむ施設がない。
- ・1つの敷地にいろんな店があると便利だと思います。そういった大型商域は少ない。

(個人商店がない・少ない)

- ・家の近くにパン屋、ケーキ屋、八百屋がない。
- ・新久地区は商店数が少ない。
- ・車がないと毎日の買いものが出来ない。個人商店がほしい。
- ・個人商店が少なく、会話がなくなった。
- ・家の近くに商店、特に個人商店がない。交通の手段としてバスの数が少ない。最近、時刻が変わり減便され買物等に不便になってきた。
- ・他の市から越してきたが、看板はあるのに常に閉まっているような個人商店を目にすることがたびたびある。駅前だけでなく、お店同士がもっと近ければ一度にまわりやすい。
- ・扇町屋商店街の専門店が少なくなり、大きなスーパーがいくつか出来たのでほとんどそこで買物を済ませている。
- ・アウトレットの近くに住んでいる。少量の食品が買える店がない。今後、車が運転できなくなった時が不安。

(その他)

- ・住んでいる近くの個人商店を集合化して頂き、近くで買物をしたい。
- ・学校の近くに文具店がないことに不便を感じます。
- ・店が少なくなっている。老後の買物に車を使える人は良いが、使えない人は買物難民となる。出張販売車や宅配的な商売を市として考えてほしい。
- ・東京に比べて専門店がない。
- ・個人商店は入りにくい。
- ・有名百貨店が無い事。西武デパート、伊勢丹等があったら良いと思います。
- ・徒歩か自転車で行ける場所にスーパーやホームセンターがあれば良い。
- ・地域で店舗の偏りがあり、価格も片寄っている。
- ・昔あった商店街が無くなった。
- ・スーパーが大型スーパーばかりで、子供を連れて買物をする時端から端まで歩くのに大変。小規模サイズのスーパーが近くにほしい!! ドラッグストアを近くにほしい!!
- ・入間市商工会発行の商品券が使える店がいまいちで使えないのが不満です。
- ・大型の書店がないことが、当市の文化程度を示すものとして、不満です。
- ・大型ショッピングモールがない（ダイヤモンドシティや三郷ステラタウン等）
- ・地域的な面も影響していると思うが、買物する店舗がほとんど固定されていて目新しくない。電化製品、衣料品（服）の店舗が近くにないので不便。近くにここは美味しいと思う店も少ない（外食）。
- ・贈り物をする時など品数が少ないので選べないのが不便。

- ・服、家具、食事など、少ししゃれた物を買える店がない。
- ・大型店ばかりでありあまり楽しくない。いろいろなお店が入っていて、店主の人とお話しができた、その場での手作りの品があったり、以前の市場のようなお店がある商店街だと嬉しい。

②商品の品揃え

(店舗の品揃えがよくない)

- ・品数、衣類等のサイズ違いの品揃えが少なく感じます。
- ・時々品切れで必要とする時に買えない事がある。
- ・商品にかたよりがある。
- ・大型店舗でも希望の品がない場合がある。
- ・品数が少なく欲しい物が揃わない。一ヶ所で買物がすまない。
- ・市内はちょっとした物なら買えるけど、本当に欲しい物はそろえられない。日の出、武蔵村山のような大きいショッピングセンターがあればいいのには思う。
- ・入間市では本当に欲しい商品がいつも買えない。よって他県内及び都内へ行かざるを得ない。
- ・デパートや個人商店などの品揃えが悪い。そのため都心に出かけるが多くなる。
- ・魚・肉・野菜など新鮮なものが手に入れにくい。JA直売所、魚卸売センターのような施設が欲しい。
- ・特色のある個人店舗が少ない。駅前通りもさびしい。駅前にコンビニがほしい。その結果、大型店舗やモールに行くことが多い。コストコ、アウトレットは活気があり、食品、商品も最新のものを置いているのでよく行く。ただ、渋滞するので普段は近くの駐車しやすいスーパーになる。売っていないものはネットでも買う。

(魅力的な店がない)

- ・魅力的な品揃えのお店が少ない。
- ・食料品以外ほしい商品が入間にはない。飲食店もおしゃれでおいしい店も少ないのであまり外食をしない。お店のバリエーションも欠しい
- ・プレゼントをあげる時、この品だったらこの店と決めるようなセンスある魅力的な店がない。このため時間をかけてでも遠方に買い求めに行く。

(価格が高い)

- ・鮮度の良い食品を安い価格で購入したい。
- ・種類が少なく品物が高い。駅前はさびれていてショッピングする気持ちになれないので、都内に行っている。
- ・近所のスーパーの品質、価格に満足できない。他には行きたいと思う店がなく、車で出掛けるのは青梅の方が近く、大型店がたくさんある。
- ・健康的な、お惣菜等が少ない気がします。ヘルシーな物を取り入れて欲しいです。

(その他)

- ・高齢者向けの衣料品(下着のサイズが充実していない)を販売している店が少ない。
- ・食品に関しては満足しているが、子供服の買物環境がイマイチです。
- ・服やアクセサリ、化粧品を揃えようとは思わないが、食料品、調味料レベルでも手に入らないものが多すぎる。結局、ネット通販でまとめ買いになる。でもどの地方自治体も同じで、郊外では全国チェーンのファミレス、スーパーしかない。どこにでもあるお店は安いから、地元のお店は勝てない。売上は東京へ行くから、地元の商店を育ててほしい。

③店舗の距離

(遠くて不便)

- ・徒歩圏内に日常生活に必要なスーパーがない。
- ・近くにコンビニ、スーパー等無く車の移動手段の無い人にとって不便。自転車利用者には坂が多い。
- ・食品スーパーが近くにない。下藤沢に集中しており、時間帯により渋滞が起こる。
- ・店が遠い。配達を頼みたくても条件がある。体調が悪い時など買物がむずかしい。
- ・個々人の満足度合いに差が有るのが、私個人としては徒歩で6分以内に店舗が無いのであまり満足していない。80歳近くの年寄りが歩いて買物をしているのを観ると忍びない。近くの店で品物を届ける方策が有れば良い。
- ・駅まで徒歩で25分…バスはなく、豊水橋の近くなので、つい狭山市の方へ行ってしまう。近くには、スーパーがあるので、食品雑貨は便利だが洋服は都内に行ってしまう。

- ・高倉は坂も多く、高齢の方など買物に行くにも不便な場所。それなのに、買物環境はゼロです。
- ・自転車で買物に行ける距離にスーパーがあったら良いと思う。
- ・1年前は都内に住んでいて、自転車があれば買物も遊びも事足りたが、今はどこに行くにも遠くて、自転車しか乗れないため不便です。
- ・近くに「コンビニ」にしかなく、車や自転車に乗らないと買物できない。
- ・徒歩、自転車圏内に商業施設がなく、「車が利用できない＝買物に行けない」という生活をしている。せめて、商業施設付近へのバスのルートなどがあればもう少し入間市内への買物へも出向くと思う。
- ・①市内の各店舗が片寄り過ぎている。金子地区からでは交通の便も悪く遠過ぎる。
②生鮮食料品が少ない。③魅力のある専門店がない。
- ・車の運転が出来ない為、何かと不便。せめてコンビニが近くに欲しいです。
- ・自分の住んでいる地域にはスーパーはなく、自動車を運転できる者はいいが、その他の方々は買物に不便である。
- ・八津池の住人達は、車が無い限り坂を登り下りして買物をしなければならない。住民の高齢化につれて何等かの策を考慮してほしい。買物のみでなく病院・医院も問題がある。
- ・仏子地区の環境は全くと言っていい程変わらない。商店は無いし、ヤオコーにも車で行かなければならない。コンビニ1軒。野田の方がずっと発展していると思う。

(自動車でないといけない)

- ・入間市は車がないとどこへも行けず、入間市駅を中心に商店街（ウインドウショッピング）ができれば、買物が楽しくなると思います。
- ・金子地域は近くにスーパーなどが無いので、年を取ると車がないと不便のような気がします。ファミリーレストランや弁当屋などほしいと思います。
- ・車が無いと買物に行けない。子供とお散歩がてら行ける所にスーパーやドラッグストアなどがあると非常に助かる。
- ・スーパー関係はある個所に集中されており、年寄りには車がないと買物ができない。
- ・金子地区は、車がないと不便である。近くに大型スーパーや百貨店、飲食店がない。
- ・宮寺近辺では、日常的な買物も車を使わなければ行けないので、不便である。(多数)
- ・自宅の近くにはショッピングセンターなどがなく、車で行かないと買物できない。買物は3日分位まとめ買いする。歩いて買物できるのはコンビニだけなので、ちょっとした物は利用している。
- ・自分の家よりももっと不便な場所もあるとは解っているのですが、車がないと買物には不便。ケガをして車が使えなかった時には困りました。お年寄りなどはもっともっと大変だと思います
- ・スーパー、コンビニなどは徒歩圏内にあるが、大型ショッピングモールは車利用でないといけないようなところにある。駐車場の問題で仕方ないとも思う。都心に比べて活気がなく、贈り物など、都心デパート等を利用せざるを得ない。
- ・西武地区は、歩道がきちんと整備されていないので、どこへ買物に行くにも車でないと荷物を持って道を歩くのは大変キケンです。このまま年をとって車がない人たちは、毎日どのような買物をするのだろうかと思います。アウトレットやコストコも利用しますが、土日などは大変混雑するので行きたいと思えません。店舗の大小にかかわらず、街全体の計画をもって展開してほしいと願います。
- ・入間市内でもはじの方なので、車がないと大型SCへ行くことができず、たいへん。休日のみSCへ行くが平日にも利用したい。空いている土地に大型SCを建ててもらいたい。人口は大分増えてきている。
- ・宮寺に住んでいますが、自家用車でなければ満足した買物が出来ない程商店が少ない。交通の便もあまり発達していないので、徒歩なり、自転車なり、より身近で済ませられればよいと思う!!

(その他)

- ・品質や価格も大事なのですが、なにより、店員の対応が悪いと、そのお店には、足が、向かなくなります。
- ・欲しい商品が置いていない事が多い。店員の質が悪い。(商品知識が足りない。包装がへタ等) 客の質が悪い(カートに子供を土足で乗せる。クレマー等)
- ・営業時間、休日がまちまち→個人商店街。

④交通関係

- ・個人店は駐車場がない。
- ・駐車場が少ない。
- ・店舗数があるから、その点では良いがコストコ、三井アウトレットの渋滞には非常に迷惑している。

- ・アウトレットなどができて、道が混雑するようになり、不便になってしまった。大型店の出店により、今までよく利用していた店がなくなり、近くに店がなくなった。
- ・近所には食品を買えるスーパーがないし、近くにコストコ、三井アウトレットがあるために土・日・祝日は道が混んで家に帰るのにも時間がかかる。
- ・道路整備がされていない（宮寺地区）・道路が狭く車での移動がストレス。
- ・扇町屋商店街の前の歩道が狭く、車道と段差があるので通行するときに怖い。現在は週1回の買い出しと決めているので、大型店で1番便利。
- ・車以外で買物に行くのに、道路がせまく交通量も多い為、週末に夫の車での買物や、通販に頼らざるをえない。安全な自転車通行、歩道の確保が必要。
- ・藤沢の総合スーパーを良く利用するのですが私は車も運転しないのでシャトルバスがあったら良いのになあと思っております。現在仏子に住んでいるのですが家の近くまで来てくれたらと思います。

⑤環境・その他意見等

(とにかく不便)

- ・坂が多くて、買物が不便。
- ・駅から遠い所に住んでいるので静かで、環境はよいけれど、買物には不便。ただ、映画館はあって良かった。あそこがもっと色々なショップが入れば面白いのに。
- ・現在住んでいる地区の買物はとても不便ですが、しかたないと思っています。豊岡町内での買物の場合駐車場が少なく購入意欲があまりなく、大型店以外はあまり利用しないため。

(駅周辺が整備されていない)

- ・入間市駅中心がさみしい。栄えていない気がする。武蔵藤沢駅がキレイになったのだから、もっと駅周辺の買物環境を整えるべき。個人的には狭山台にもっと力を入れて欲しい。若い家族増えています。
- ・入間市駅南口の商店街が特につまらない。お店が点々とあるだけであまり入りたいお店もない。用があって入りたくても車を止めておけない。そぞろ歩きかできる様な街だと楽しいんですが…。外国でよく見かけるお店の外で垢抜けたお茶できたり、食事したり出来る所があれば外出も楽しいんだけど。
- ・武蔵藤沢駅を使っているが、駅ビルや駅なかなど、西口をもっと充実してほしい。バス停もあるのに、西口の開発をしないのはもったいない。スーパージャスコ、ヨークマートなど、大型スーパーは充実しているが、個人商店の活気がない（藤沢地区）。グリーンヒルバス停のアーケードなど…。
- ・武蔵藤沢を利用している主婦です。東口にショッピングセンターがあり利用していますが、西口周辺に店舗を作り、電車の行き帰りに利用できる様に駅ビルを作ってほしい。
- ・武蔵藤沢駅前に何も買物施設がない。遠回りしてスーパーで買物をしている。地元のスーパーより安く良い品物が都内百貨店で買う事が出来るので、地元での買物が少なくなってしまう（平日）。
- ・武蔵藤沢駅周辺に大型総合スーパーがあるとよい。

(商店街に活気がない)

- ・豊岡在住ですが、商店街が活気がない状態であると思います。駅前から扇町屋の商店街にぜひファースト店やパン屋、惣菜店etcを呼び込み、駐車場を設置して駅前から二本木に向うまでの道を拡張して、昔ながらの商店街らしい町作りが必要です。宮寺や藤沢ばかり賑やかです。カフェなども必要です。
- ・入間市駅前の商店街がバラバラで統一性がないように思います。
- ・商店街が少なく、ちょっとした物を買うにも、スーパーに行かないといけない。
- ・活気ある商店街が近くにあると良い。

(市内より市外の方が魅力)

- ・金子という地域は、青梅や飯能が近く、入間市内の中心地より市外の方が多くの店舗がある為、満足とか不満とかではなく、つい入間以外に買物に行ってしまうのが現状です。
- ・金子地区は地域内に大型の総合ショッピングセンターetcが無い為、青梅などで車で用足しに出なければならぬ。
- ・商品が少ない。隣の青梅市に充実した商店街がある。
- ・住まいの近くにあまりお店がなく、入間市内だと駐車料金がかかるから利用しません。やはり価格の安い、青梅での買物が多くなります
- ・土・日は特に16号が渋滞し入間市内方面等に行けない為、空いている都下の端徳方面に買物に行ってしまう。

- ・二本木は、入間市の一番西のはずれで目の前は東京都。市内へ買物に出るより東京都の店の方が近い。市内に出るには車かバスが必要。東京都の店は自転車でも行ける。
- ・食品等の買物では所沢、日用品では所沢。青梅のカインズホーム等少し遠く迄買物する事が多い。
- ・都内に通勤しているので、殆どデパ地下とかで済ませます。土・日のみ近所のスーパー等を利用。
- ・日常の買物はスーパーがありOK。しかし買物の中心となる地域が無いので、他は都心に出てしまう。
- ・欲しい物が揃っていても遠くだったり、上り坂を利用しなければ行けなかったりするので、ついつい所沢迄行ってしまいます。

(その他意見)

- ・家族全員で楽しめる商業施設がない。
- ・商店街の環境を何とかして欲しい。

(2) 居住継続に関する主な理由等

1) 市内に住み続けたい主な理由

① 生活環境がよい・住みやすい

- ・環境が良く、住みやすい。都内に出るのも、遠くない。災害もない。(多数)
- ・住みやすい。
- ・環境が良く災害に強い。仏子は道路が狭くてとてもあぶないので道路整備をお願いしたいです。
- ・都会すぎず田舎すぎず…子育て環境は良い方だと思う。
- ・山や川が近くにあり都心に出ようと思えば特急電車もあり、台風やその他の災害にも会う事も少なくこの土地に満足しています。
- ・生活する上で、不自由がないのと、今のところ災害に合っていないので安全性があると思っている。
- ・不便がない。しかし、埼玉県内の電車での移動が困難。どうにかしてほしい。
- ・住環境がいいし、買物も、特に困ったところはない。
- ・静かな環境がいいと思う。これでマンションや大型施設が多くなってくれば他の場所も考えると思う
- ・のんびりしていい所だと思う。しかし最近アウトレットができたので週末は道路が混んでしまうので嫌だ!
- ・生活するのに便利である。また公園等(自然)もあり、子育てに良い環境だと思う。休日のたびに道路の混雑は困る。
- ・あまり不便に思うことが少ない。買物等便利な割に自然がある点は良い。自転車用道路が出来るか歩道が広く、たいらだと良い。
- ・治安も良く、買物も便利で、土地も固い高台にあるから。ただ、警察署が遠く、交番も少なく、不便だ。夜の巡回などを強化してほしい。
- ・住めば都!! 自分の回りの環境は良いのですが大きな病院がないので交通の便など不安があります。又これからは養護施設も充実してくれればありがたい事です。
- ・人生色々だから、欲を言えばキリがないので今のままの生活を充実していければいいと考えています。
- ・転居する理由がないことと介護老人をかかえている為に、不必要な動きは避けていたい。
- ・主人や子供達の事を考慮して、家を建てたので、大変満足しています。
- ・仕事場へも実家へも近いこともある。都内のようにビル群がなく緑も多いので良い。
- ・買物(スーパー、デパート)があり、緑も公園も多く、映画館、大きいおもちゃやさんと、入間市内で用が足りるから。
- ・全体的に物価も高くなく、都心に出るのも便利で、緑も多いから。
- ・色々充実している。スーパーなど肉、魚などのプラスチックトレーを牛乳パックのようなものに変えたらどうか、家庭でもプラスチックゴミはかなり多い。
- ・交通、買物に不満を感じる事が少ない。
- ・公園も近くにあり、買物も、だいたい物は、そろるので…また、道路があまり混まない所も良いと思う。入間市の名物料理とかがあればいいのと思います。お茶シフォンケーキとか、お茶の化粧品とか、etc…
- ・住宅地でありながら里山も有る。農産物直売所も有り、大型店も有る。そんな所が気に入っている。
- ・転居して以来39年になります。良い隣人、お友達がたくさんいますので出来ればここを離れたくはありません。でも日常生活をするには年齢と共に非常に厳しくなってきました。
- ・長年住んでいるので変えたくない。藤沢地区と比べて小谷田はなにかと不自由な気はするけれど仕方ないのでしょうね。
- ・現在の住環境に満足しているから。これからも住み良い入間市で有る事を祈っています。

- ・ 停定年後でも住みやすい入間市を期待しています。
- ・ 近隣の関係も良く特に問題ない
- ・ 近所づきあいも良く駅も近いので便利・子どものサークル、習いごとなどもっと増やしてほしい。
- ・ 生まれ育った地よりもはるかに入間市での生活が長くなりました。お友達付き合い、お近所付き合い、楽しく過しております。人間関係が良いという点で、今の所が気に入っております。
- ・ 地域の環境が安定しているから。要望：安心して受診できる総合病院がない（他市へ依存している）。小児科の救急病院がない（入院できない）のでぜひお願いしたい。
- ・ 交通量もそれ程多くなく、移動が安易。生活する上で、ほぼ満足できるものがそろっている。
- ・ 入間市民になって32年になります。住み安いと思います。
- ・ もっと都会へ行きたいと思いますが、大震災があって、都内はパニックに落ち入り易いので、すこし人口の少ないこのあたりでもいいかなと思います。
- ・ 入間市というより、現在、家がある場所に満足している。

②自然環境がよい

- ・ 水害などの自然災害の心配はなく、良い環境であるいから。（多数）
- ・ 彩の森等、自然があるので、道路、歩道の整備を続けてほしい。完成させてほしい。
- ・ 入間市は緑も多く、住宅環境もよいので住みやすいと思う。公共施設がもう少し充実しているとよいと思う。
- ・ 緑が多い。川もある。東京まで電車で1時間以内。住みやすい環境です。
- ・ 『住めば都』地震、台風の被害が少ない。デパートがある。特急電車が停まる。
- ・ 自然が多く静かな環境なので。ただ夜歩くには少々怖いかも。
- ・ 東日本大震災の時もゆれも少なかったので、安心しました。
- ・ 災害もなく、おだやかで、平和な市だと思う。彩の森公園も近くにあり、環境もいい。
- ・ 天変地変も比較的少なく、都心まで近く何かあっても対応可能な自然豊かで良い環境だと思うから！
- ・ 自然にも恵まれ、学校・支所も近くに有り生活環境は良い方だと思います。
- ・ 静かな街だし、公園があちこちにあって緑も多いいい。
- ・ 環境に順応していると共に友達（妻）が多い。
- ・ 入間市内の個人商店については全くイメージが残らない。自然環境については住みやすい街だと思う。
- ・ 医者が遠いなど不便な点もあるが、自然が多い地区で、子供が伸び伸び生活できているから。
- ・ 天災が起きた時水害の心配はそれほどなく土砂くずれなども心配ない所 生まれてからずっと住んでいて住みやすい街だと思います。
- ・ 入間市は特に大きな災害もないので、又、墓地もあるので先祖を守って行きたいから…
- ・ 近くに豊かな自然があること。年令的に車の運転ができなくなることを考えるとティロードの本数を増加してほしい。
- ・ 家を買ったものもあるけれど、環境が良い。ただ、子供が遊べるアスレチックなど少ない。
- ・ 緑が豊富だし子供への環境が良い。
- ・ 65年以上も住んでいる。土地、家屋も満足できる水準、家族健康←（病院の充実）空気、自然の環境、非常に良好。
- ・ 周りに緑が多く、近所付合いうまくいっているのて夜は静かですし、住み続けたいと思います。
- ・ 茶畑が拡がり富士山、丹沢、奥多摩の山々を眺め、買物にも便利で住みやすい。
- ・ 自然災害が少ない地域なのでこのまま住みたいと思っています。
- ・ 災害も少なく都会にも近く住みやすい所である。単なる緑化でなく街全体を美しく緑化してほしい。
- ・ 自然が残っているし、買物にも不自由はないし、とても住みやすいと思います。
- ・ 自然が残っているところ。武蔵藤沢の駅前通りをもう少し明るくして欲しい。ファミレス、ドラッグストアはもう充分あるので、カフェ、雑貨屋など街歩きできるようなお店がほしい。
- ・ 自然も有り環境が良い。
- ・ 地震など起きた場合は民家が少ないので安全。
- ・ 自然環境に恵まれており、買物には歩くなり、車では2～3分で出来る事。

③買物環境がよい

- ・ 買物が便利である。（多数）

- ・歩いてスーパーもデパートも映画館も行けるので便利な所です。将来一人になっても生活出来ると思っています。
- ・生活に必要な店舗、施設が近隣しているため。
- ・買物する環境が整っているし、公共施設も近くにある。
- ・お店がいっぱいあり、買物が便利、値段も安いので。緑をあまり無くさないで欲しい。
- ・買物をするには、たくさんのお店があるので、すごく嬉しい。ただ、子どもが遊べる整備の行届いた公園が近くにあると良い。
- ・買物に便利。所沢市のように大きな病院があると安心。
- ・映画館もデパートもあり、自然も共存している住みやすい街だと思うから。
- ・交通面が不便な割に、買物、医療機関にも行き易いので…
- ・日常生活に必要なものは、自転車で10分以内のところではほとんど揃うから生活に便利。欲を言えばちょっとぜいたく品（服、くつ、アクセサリ）が市内のお店では揃えることができないのがちょっとした不満です。子供の教育や仕事先など、都心から離れていて不便なこともあるが自然が豊かなことは住み続けるのに大事なことと思う。
- ・買物や医者が近くにあるので便利である。道も広く良い町だと思う。ただ、アウトレットの混雑時に道路が渋滞してしまうので、どこかもう1本位市内に通じる道路があるとよいと思う。
- ・扇町屋は場所的にはよい所ですが、買物に行くのに不便である。なるべく近くに買物ができ、身近な人とつかの間のお話が出来るところがほしいです。明日の励みになりますので。
- ・大手マーケットや外食企業に圧倒され、地元の商店街の影がうすい。狭山ヶ丘商店街はすばらしいが、人間ではない。
- ・都会に出なくても充分な買物が出来る位なのに、少し足を伸ばせばまだ自然が残っている町だから。願わくはこれ以上自然が消えることがないようにと思います。
- ・物価が割りと安い？と思うので。

④故郷である・持家がある

- ・生まれてずっと入間市に住んでいるから。育った所で故郷だから愛着がある。(多数)
- ・先祖代々住んでいますので、住み続けたい。(多数)
- ・入間市が好きだから。(複数)
- ・自宅があるから。(多数)
- ・生れも育ちも、夫婦共に入間だから、大型店ではなく個人店が、集中しているような商店があると良いと思う。
- ・生まれた時から入間市に住んでいる為・生活環境が充実している為。家の前が狭いにもかかわらず、信号をさける為、住人じゃない車の出入りが激しい。
- ・自分が生まれ育った所だし、親や親戚も住んでいるので。都内へ行くのも便利だし、山に行くのも近いので。街並の景色が雑然としていてあまりきれいではないと思うので、街並がもっと美しくなるといいと思う。
- ・生まれてこのかた一度も市外に出た事がない。夫の仕事も市内なのでたぶん一生入間市民だと思う。
- ・自宅も購入して45年住んでいるので、余生は友人も多くいる入間市に住んでいたいと思います。
- ・26年間入間市に暮せば知り合も多く、環境も良く、勤務先も狭山市なので「できれば住みつづけたい」。
- ・住みなれているから。もっとお茶を利用した商品を作って、PRしたらどうでしょう
- ・この土地に生まれ育った。弱い者、高齢者を、より一層大切にしてください。
- ・幼なじみが多いので老後も昔の友と楽しくお茶をしたり旅をしたり、入間を離れるなど考えた事ありません
- ・基本的には住みにくい街と思う。市の施設、県の施設がなく、県から置きざりにされていると思う。

⑤公共・福祉・医療施設が充実している

- ・市役所やスーパー、郵便局に近いから、老後は便利だと思う。毎週日曜日朝市を開いてほしい。新鮮な野菜や、雑貨など 朝ごはんも食べられたらもっといい。
- ・図書館、市役所、駅が、便利な所があるので、とても住みやすい。
- ・買物環境だけでなく、病院、老人の介護施設なども多く、安心して暮らせそう。
- ・公共施設など近いのが良いです。ただ、子どもの医療免除など、狭山市や他市に比べて適応年齢が低いので、せめて義務教育の間だけでも…と思います。
- ・年寄りの福祉面が充実しているため
- ・総合病院に近い。しかし交通が不便。

⑥交通アクセスがよい

- ・交通が便利。(電車、国道、圏央道など)・自然が残っている、近くに多い。
- ・都心に短時間で出掛ける事が出来る。(複数)
- ・現在車で出掛けることができるが先々年を重ねて、外出時車が運転できなくなった時には転居を考えるかもしれない。
- ・駅まで歩いて行け、病院もそれなりにあり、車がなくても行動ができる。ただ、自転車のマナーの悪さが目立つ。
- ・通勤、通学にとっても便利で、住みやすい人間市です。
- ・都内へ1時間以内に電車で行けて、特急も止まる駅で、ほどよく緑も多く、便利な町だと思う。
- ・高速道路にも出やすく、生活しやすいです。
- ・自転車の通る道をつくってほしい。
- ・スーパーやコンビニ、公園、学校、都内までの交通が便利なので住み続ける事ができればと思います。
- ・知人も多いし車での交通が便利(インターが近い)で家が多くなった分だんだん緑が少なくなってきたが、便利になった。
- ・都会(30%)と地方(70%)のほどよいミックス感。池袋まで1時間内や16号と圏央道で交通の便が格段にアップされた
- ・年齢が高くなると、市の循環バスが便利になりますので細かい停留所区分がありがたい。
- ・駅の北口側に車の乗り入れ出来れば良いと思います。
- ・幹線道路が近く、どこに、出掛けるにもスムーズに走る事が出来る。買物も便利!!
- ・圏央道のインターもあり買物もそう不便も感じられないので良いと思いますが医療機関はもう少し遠くに行かなくてもいいようにできないものかと思っています。
- ・自然が多い割に、都心への便も良い方だと思うから。
- ・人口も店も増えているし、所沢、池袋、その他都内にも行けることが良い。70才以上はバスがフリーパスになることも便利だと思います。
- ・駅も近く、買物環境も良いのでできれば住みたいと思っていますが、子供の為に近くの公園がもう少し整備されて遊具も増えるといいと思っています。
- ・先の事はわからぬが、今は都心部に40分で行けるし、海はなし、山もなし、買物にしても便利で、全てよし(危険なし)。
- ・都心からの距離も程良く、緑地豊かで良い。信頼に足る総合医療施設が無く、緊急の場合の治療対応に不安を感じる。
- ・バスの路線が少ない
- ・圏央道が出来てから、旅行がしやすくなった事。家の廻りに緑が多い事。近くに西武入間病院があること。
- ・家を購入してしまったので。ただ、バスがもっと頻繁に走ってくれるとありがたいのですが…。

⑦その他の理由

- ・入間に住んで38年自分にあった生活レベルで、将来は田舎に住む計画です。
- ・区画整備が進んでいて、今後の発展が見込まれる。
- ・70才に手が届く夫婦です。現在は外出も何の問題もないですが、足腰が弱ると階段を使つての暮しで坂道の多い立地条件に必ずしもついていけないかも?
- ・できれば住みたいとは思いますが、将来は別の場所に住みたいと思う。
- ・子供達の施設をもっと考えてほしい。保育園、小児総合病院、児童館。
- ・人間市駅の北口側が、閉まっている店が多く、さみしい感じがします。もう少し活気があると、なお、住みやすい街になると思います。
- ・東京まで出ないと洋服も気に入ったものが手に入らない。
- ・将来車で買物に行けなくなった事を考えると不案ですが、今さら転居して仲良くしている友人・親戚と離れる気にもなりません。
- ・市内の商店のインパクトが弱い。住居から駅方面の商店に行こうとすると信号停止がかなり多く、右折車がいたりすると更に時間がかかる事になる。
- ・緑も多く環境は良いと思う。徒歩圏内にアリット、アウトレットがあるのも良い。食品が手に入れられる店があればもっと良い。
- ・狭山市から人間市に引っ越してきたばかりなのですが、土・日・祝と16号はコストコ渋滞で、家に帰るのに大変です。
- ・低価格の店〜クオリティの高い店まであったら嬉しい。
- ・不満もあるけれどどこへ行っても問題はあつたし、自分にできることを頑張ろうと思います。

⑧意見・要望等

(医療・福祉等)

- ・医療費を無料にしてもらいたい。
- ・子供医療費の無料化年令引き上げ、予防接種（無料化助成金）（子宮けいがん等）。
- ・年を取っての転居は億劫。ごみ捨て。個々で集めてもらえるとうれしい。
- ・入間市は大きな病院がないと思います。災害が起こった場合が心配です。
- ・総合病院が近くにないので不便。小さな子供が遊べる公園がない。
- ・新築したので。夜間の救急診療、市外まで出向くのは大変です。
- ・元気なうちは良いが、高齢また毎日の生活に支障が出てきた時に一人で暮らすことの不安。
- ・静かな暮らしの出来る街である。老人が多くなるので、コミュニケーションセンターや寛げる場所の増加を希望します。

(税金等)

- ・環境は良いが、負担が大きいと思います。
- ・住み続けたいが、博物館は全国から人が集まるような展示にすれば経済にもプラスになると思う。
- ・もっと福祉に関する事は充実させて明るい街づくりを心掛けて欲しい。
- ・住みやすい入間市にして頂けたらずっと住みたいと思う。

(子育て・教育)

- ・子育て面でのバックアップをお願いしたい。
- ・入間市の行政は近隣の市よりも子育ての環境が遅れていると感じる。もう少し社会性を持った教育を望む。
- ・道路環境をよくして下さい。通学路の整備など住みよい街、安全な街に人は集まり、活気が生まれるのではないかと思います。
- ・入間基地の騒音以外は許容範囲だと思っていますが、道路の整備をして頂きたい。安全上も重要事項と思います。

(インフラ等)

- ・文化施設等が市内の中央部の辺りにあれば大いに利用者も増加し、市民の公平に利するのではないかと思います。現在では市内のはずれにありすぎる。
- ・子供たちが遊べる公園が近くにない。小さな公園はいくつかあるけど、子供が遊んでいるのをほとんど見かけません。飯能市の阿須にある様な公園がほしいです！！
- ・年金生活で住み変えは無理だし、ここで住むしかない。大きな病院が欲しい。
- ・歩道の整備に力を入れてほしい。
- ・災害が少なく、小さいながらデパートがある事も魅力です。映画館、アウトレットも大切です。ただ、道路の整備・拡張が必要です。町屋通りに駐車場がなさすぎです。
- ・家の近所の川は、大雨が降ると洪水になります。
- ・①河原町交差点前の空地並びに、16号に車線を早く4車線（全線）に工事着工をすすめて下さい。
②入間市駅北口の整地、開発を急ぎやって欲しい。
- ・公園等に犬のフンが多い。
- ・入間市には、これはというものが少ない。
- ・希望としては、稲荷山公園駅にかわり東町地域に駅があったらいいなと思います。
- ・仕事の都合で入間市に住んでいるが、そうでなくても住みたいと思う街になって欲しい。夜女性が安心して歩ける明るい街にして欲しい。
- ・近所の小規模公園の整備をもっと拡充して欲しい。昭和記念公園（立川）のように…。
- ・ようやく、近所の方の顔を覚えてきて、子供達も、それぞれ学校生活を送っているので、ここでまた新しい生活に…という気にはならない。自宅のまわりは閑静なので気に入っているが、ゴミの集荷を各個人宅前というのは当然出来ないのでしょうか。
- ・入間市駅のロータリーの利用が不便。電車で帰ってくる家族を車で迎えに行った時、自家用車で停車できる場所がない。自家用送迎車が待機できるスペースを作って欲しい。
- ・入間市は買物が遠くに行かなくてもお店がたくさんありとても便利だが、道が混んだり駐車場が狭いところが多かったりで大変。
- ・できるだけ住み続けていたいとは思いますが、交通の利便性が悪いいため、年をとったらもう少し駅の近くなどに移りたいと

考えている。バス路線拡大を望みます。

- ・市街化調整区域の道路整備と街灯の設置をもっとしてほしいです。
- ・武蔵藤沢の区画整理を早く進めてほしい。

(その他意見)

- ・ティーロード運行の増発を望みます。商業バス会社との調整が必要だと思いますが。
- ・自衛隊の騒音をなくしてもらいたい。
- ・武蔵藤沢駅前をもう少し発展させてほしい。
- ・今ある自然、緑を是非残して欲しいと切に思います。
- ・バス路線の整備
- ・武蔵藤沢駅周辺にもっと商店を作ってもらいたい。
- ・①西武線各駅周辺の発展が必要。②道路混雑の緩和が必要。③宅地の増加を要望。
- ・町全体の開発、整備をして頂きたい。

2) 転居したい主な理由

①生活環境がよくない・住みにくい

- ・不便だけで魅力がない。
- ・不便・何か有った時に巡回経路が無い。車が運転出来ないとどこへも行けないから、老後が不安。
- ・あまり住みやすいと思わない。幼稚園も自宅近くに全くない。
- ・近くに買物する場所や医療機関がないので小さい子供が居ると大変。道が狭すぎたり、判りにくかったりする。
- ・不便だから。多分このまま住むと思う。気に入っている所は災害が少ないこと、治安がいいこと。

②自然環境がわるい

- ・川に近い所に済んでいるため、水害があった場合の事を考えると心配。
- ・冬期は寒く暮しづらい。都市部への外出に時間がかかる。
- ・雨量が多いと水はけが悪く、道路が池のようになる。
- ・不老川の近くなので、雨がたくさん降った時はいつも心配する。不老川添いを楽しく散歩出来るように緑やベンチがあると良い。自転車でも安心できる道を。

③買物環境がわるい

- ・買物をするには不便である。
- ・これから自分が年をとって買物に不自由なると、生活できないと感じるから。
- ・現在住んでいる地域ではこれからの老後が不安なので、出来れば、新鮮な野菜・魚・肉、日用品等のショッピングセンターをお願いします。
- ・今は自分で運転して買物に行けるが、年をとった時運転できるとは思えない。

④公共・福祉・医療施設が未整備である

- ・医療施設が充実していない。
- ・公立の病院も無いし、公的機関の主たる物は所沢や飯能にあり、市内に無いということが多い。若く健康なうちはいいけれどこれから先高齢になってから不便に感じると思うので！
- ・福祉ばかりでなく子育てのことも考えて欲しい。
- ・福祉に関して、少し不満があります。
- ・子供に必要な設備、などが整っていない。健康福祉センターを利用したくても行くには不便です。
- ・病院の件数が増えてきましたが、いざとなった時総合病院があれば、入間市に永住したいです。

⑤交通アクセスがわるい

- ・交通の便が良くない。(複数)
- ・車がないと住めないと感じるため。
- ・自家用自動車がないと、不便で生活できない。

- ・土、日も16号を利用して仕事に行きます。大変時間がかかり、遠回りもさせられます。
- ・道路がよくない。子供達が通る小・中学生の通学路の整備を望みます。
- ・住むにはとても良い所と思うが、交通の便が悪いので。是非バスを出して下さい。
- ・埼玉県東部への電車移動が不便
- ・通勤に不便。道路整備が遅れている。
- ・行政道路沿いの歩道整備、必要な場所の横断歩道の設置、休日医療の充実。
- ・駅へ行くにも、買物に行くにも、歩きではムリ！年をとった時のことを考えると不安。バスの運行場所の増加、バス停の増加、バス停近くに商店街など。
- ・JR八高線は単線で、電車の本数が少ない。(複数)
- ・どこへ行くのも不便です。八高線の複線化を望みます。
- ・金子地区付近は道路の整備ができていない。(複数)
- ・交通の便が悪く何をすることも車が必要な場所に住んでいるから・入間市駅から南峯の、バスを増やしてほしい。
- ・子供が大きくなったら交通の便のよいところ、夫婦で買物など生活環境が便利なところに転居できればと考えている
- ・バス便等交通事情が悪い。運転できなくなったら困ると思う。
- ・どこの道路も自動車の渋滞が多く有り環境が余り良くない。
- ・都内へ通勤するにはすごく不便で、通勤に時間がかかる。空気はいいし新鮮な野菜やお茶が手に入る良い場所でも今後の通勤を考えると、転居も視野に入れている。
- ・駅から遠いので、不便を感じるが、経済的に私は今後も住み続けると思う

⑥その他の理由

- ・故郷に帰りたい。(複数)
- ・文化施設が少ない。(複数)
- ・西日本に転居予定です。
- ・住宅地で狭いのもっと自然の地へ転居したいと考えている。
- ・海の近くに住みたい。
- ・東京に身内が住んでいるので、近くに行きたい。
- ・最近引っ越したばかりだが、職場が遠くになってしまった引っ越しができるものならしたいと思う。
- ・発展性がないと思うから
- ・違う環境も、味わってみたいから。
- ・所沢に近いと、所沢市の方が魅力的。
- ・金銭的にゆるされれば、東京都下の町に転居したい。
- ・生活環境はとても良く満足しているが、16号の交通量が多く子供を育てる上で危ないと感じること。都心まで遠く学校の数に限られてしまうこと。
- ・住みたい街としての環境づくりがまだまだ。現存する武蔵野の林や川を活かして欲しい。
- ・長く住んでいるので回りに親しい友人がいるので何となく暮しているが、暮しやすそうな街を見ると転居したい気持ちにしばしばなる
- ・東京都に比較して、まだまだ十分な保障では無い。
- ・子供が、他県に居る事と、今後、戸建を維持するのも、大変になるので、駅近のマンションにでも、行きたいと思っている。

⑦意見・要望等

- ・公共施設が充実していない。
- ・税負担が大きい
- ・子どもに対する待遇をもっと充実すべきだと思う。

第5章 調査結果の概要と調査地区の特徴

1. 調査結果の概要（地区別比較）

① 普段の買物行動

(単位:%)

項目・区分		豊岡	東金子	金子	宮寺・ 二本木	藤沢	西武	
普段の 買物頻度	最も多い頻度 → 「週に2～3日」	43.4	47.9	53.1	56.7	35.7	42.5	
	多頻度(ほとんど毎日 +週に4～5回)	48.4	40.2	35.9	25.3	56.8	43.3	
1日の 買物予算	最も多い価格帯 → 「2001円～4000円」	52.0	56.5	46.9	35.8	54.8	45.1	
	6001円以上の 高額価格帯	10.4	16.6	15.6	26.9	11.4	12.8	
普段の買物 時間帯	平日	最も多い時間帯 → 「12時～18時」	47.2	42.5	39.0	46.2	45.9	38.5
		次に多い時間帯	10時～ 12時	10時～ 12時	18時～ 20時	10時～ 12時	10時～ 12時	10時～ 12時
		27.4	35.4	23.7	35.4	30.9	29.2	
	土日	最も多い時間帯 → 「12時～18時」	54.7	47.2	41.9	47.4	55.6	50.0
次に多い時間帯 → 「10時～12時」		29.5	33.0	30.6	33.3	26.0	28.7	
買物時 利用する 交通手段	最も利用している交通手段 → 「自動車」 (自分+家族等)	62.4	81.3	86.0	94.1	52.6	76.1	
	次に利用する交通手段	自転車	自転車	徒歩/自転車	バイク/その他	自転車	自転車	
		22.9	8.5	4.7	1.5	27.7	12.7	
パソコン普及率		85.4	70.0	80.9	83.3	78.2	81.7	
通信販売 「半年に 1回以上」利用 率	インターネットショッピング	57.0	54.3	43.9	50.0	54.6	53.7	
	テレフォンショッピング	30.2	21.9	31.4	29.5	26.3	30.4	
	新聞・雑誌・カタログ販売	53.2	51.6	50.0	56.9	58.0	47.5	
	共同購入(生協等が行う)	15.3	16.3	6.0	14.9	11.2	13.6	
	宅配サービス	24.4	27.9	24.1	38.4	21.9	23.2	
通販購入 商品	1位	婦人服・洋品雑貨	婦人服・洋品雑貨	婦人服・洋品雑貨	日用・家庭雑貨	婦人服・洋品雑貨	婦人服・洋品雑貨	
		39.1	34.9	29.8	40.8	35.3	29.0	
	2位	日用・家庭雑貨	日用・家庭雑貨	日用・家庭雑貨/医療品・化粧品	婦人服・洋品雑貨	医療品・化粧品	日用・家庭雑貨	
		22.4	31.4		34.7	32.7	28.0	
	3位	医療品・化粧品	一般飲食良品	27.7	家庭用電化製品	日用・家庭雑貨	家庭用電化製品	
		19.6	25.6		24.5	26.9	27.0	

(注) その項目で、他と5%差がある地区に網掛けをした

②市内商店の利用状況

(単位:%)

項目・区分		豊岡	東金子	金子	宮寺・二本木	藤沢	西武
市内商店の利用頻度	最も多い頻度(週に)	2~3日	2~3日	1日	2~3日	1日	2~3日
		15.1	22.4	22.6	25.8	15.4	17.3
	次に多い頻度(週に)	1日	1日	2~3日	1日	2~3日	1日
		11.0	18.7	17.7	24.2	14.4	15.8
ほとんど毎日+週に4~5回	13.2	6.6	6.4	7.6	13.5	7.5	
市内商店街を「ほとんど利用しない」割合		60.8	52.3	53.2	42.4	56.7	59.4

③市内商業の改善課題

(単位:%)

項目・区分		豊岡	東金子	金子	宮寺・二本木	藤沢	西武
身近にほしい施設	1位	総合スーパー/JAの直売所	総合スーパー	総合スーパー	食品スーパー	駅ビル・駅商業施設	総合スーパー
			26.9	26.6	42.0	24.9	27.6
	2位	JAの直売所	JAの直売所/コンビニエンスストア	ドラッグストア	JAの直売所	JAの直売所	JAの直売所
				25.3	26.1	30.4	23.5
	3位	コンビニエンスストア	食品スーパー	総合スーパー	総合スーパー	食品スーパー	
				17.6	21.8	23.4	21.7

④コンビニエンスストア利用状況

(単位:%)

項目・区分			豊岡	東金子	金子	宮寺・二本木	藤沢	西武
コンビニエンスストア	利用頻度	最も多い頻度	ほとんど利用しない	週に1回	ほとんど利用しない/週に1回	週に2~3回	ほとんど利用しない	ほとんど利用しない
			42.2	36.2		36.2	45.0	34.8
		次に多い頻度	週に1回	ほとんど利用しない	週に1回	週に1回	週に1回	
			31.4	33.6	35.9	34.8	36.0	31.1
	購入商品	1位	弁当・総菜	弁当・総菜	弁当・総菜	弁当・総菜	弁当・総菜	飲料・酒類
		45.9	51.3	58.5	52.8	40.5	48.3	
2位	飲料・酒類	飲料・酒類	菓子類	飲料・酒類	飲料・酒類	弁当・総菜		
45.4	41.3	31.7	45.3	35.3	37.9			
3位	菓子類	各種サービス/その他(たばこ)	飲料・酒類	菓子類	各種サービス/その他(たばこ)	菓子類		
24.3	35.0	29.3	30.2	33.6	33.3			

⑤コストコ入間店・三井アウトレットパーク入間利用状況

(単位:%)

項目・区分		豊岡	東金子	金子	宮寺・二本木	藤沢	西武		
コストコ入間店	利用頻度	最も多い頻度	まったく利用したことはない	まったく利用したことはない	まったく利用したことはない	ほとんど利用しない	まったく利用したことはない	まったく利用したことはない	
			40.5	36.8	34.4	33.8	44.0	42.7	
		次に多い頻度	ほとんど利用しない	ほとんど利用しない	ほとんど利用しない	まったく利用したことはない	ほとんど利用しない	ほとんど利用しない	
			26.7	32.5	28.1	22.1	27.8	23.7	
		1ヶ月に1回以上	13.8	11.1	18.7	17.7	13.8	8.4	
	購入商品	1位	パン・ケーキ	パン・ケーキ/ 鮮魚・精肉・ 青果	鮮魚・精肉・ 青果	パン・ケーキ	パン・ケーキ/ 鮮魚・精肉・ 青果	パン・ケーキ	
			55.6		79.2	70.0		59.1	
		2位	鮮魚・精肉・ 青果	菓子・おつまみ	パン・ケーキ	鮮魚・精肉・ 青果	飲料・酒類	飲料・酒類	鮮魚・精肉・ 青果
			50.8		62.5	46.7		62.7	52.3
		3位	飲料・酒類	菓子・おつまみ	惣菜	日用雑貨	飲料・酒類	飲料・酒類	飲料・酒類
			40.3		37.5	43.3		45.8	43.2
三井アウトレットパーク入間	利用頻度	最も多い頻度	ほとんど利用しない	ほとんど利用しない	ほとんど利用しない	ほとんど利用しない	まったく利用したことはない	まったく利用したことはない/ ほとんど利用しない	
			29.5	35.6	31.3	27.9	23.8		
		次に多い頻度	まったく利用したことはない	まったく利用したことはない	まったく利用したことはない	半年に1回程度	ほとんど利用しない/ 半年に1回程度	スポーツ・アウトドア用品/ 紳士服・紳士用雑貨	紳士服・ 紳士用雑貨
			20.0	26.3	28.1	17.6	20.0		
		1ヶ月に1回以上	14.5	7.6	6.3	20.6	18.1	11.3	
	購入商品	1位→婦人服・下着・婦人雑貨	婦人用バック・靴	婦人用バック・靴/ スポーツ・アウトドア用品	婦人用バック・靴	婦人用バック・靴	スポーツ・アウトドア用品/ 紳士服・紳士用雑貨	紳士服・紳士用雑貨	
			65.6		66.7	61.5			64.1
		2位	婦人用バック・靴	婦人用バック・靴/ スポーツ・アウトドア用品	婦人用バック・靴	婦人用バック・靴	スポーツ・アウトドア用品/ 紳士服・紳士用雑貨	紳士服・紳士用雑貨	
			35.9		38.5	38.5			35.2
		3位	スポーツ・アウトドア用品	スポーツ・アウトドア用品	スポーツ・アウトドア用品	紳士服、紳士用雑貨/ インテリア食器	スポーツ・アウトドア用品	スポーツ・アウトドア用品	
			33.9		33.3	30.8			30.8

⑥震災後2週間の商品別買物状況

(単位:%)

項目・区分		豊岡	東金子	金子	宮寺・二本木	藤沢	西武
米	必要な分だけ買った	48.4	49.5	45.0	62.7	47.8	45.3
	必要以上に買った	6.9	8.6	6.7	7.5	8.9	7.8
	買いたかったが買えなかった	8.8	11.4	5.0	4.5	9.9	14.1
	買わなかった	36.0	30.5	43.3	25.4	33.5	32.8
水	必要な分だけ買った	30.4	34.0	23.3	41.5	29.2	31.2
	必要以上に買った	11.7	7.8	10.0	18.5	11.8	13.6
	買いたかったが買えなかった	12.3	8.7	10.0	6.2	14.4	12.0
	買わなかった	45.6	49.5	56.7	33.8	44.6	43.2
牛乳	必要な分だけ買った	56.5	63.1	45.0	42.6	58.5	55.5
	必要以上に買った	1.2	1.0	0.0	1.6	0.0	0.0
	買いたかったが買えなかった	7.5	10.7	3.3	18.0	12.3	12.5
	買わなかった	34.9	25.2	51.7	37.7	29.2	32.0
カップ麺	必要な分だけ買った	31.3	42.0	30.0	48.4	32.1	32.3
	必要以上に買った	14.7	9.0	23.3	15.6	14.4	12.9
	買いたかったが買えなかった	9.5	10.0	1.7	9.4	7.5	12.1
	買わなかった	44.5	39.0	45.0	26.6	46.0	42.7
トイレットペーパー	必要な分だけ買った	43.9	45.7	35.5	50.8	43.9	45.7
	必要以上に買った	9.7	8.6	14.5	15.4	13.3	8.7
	買いたかったが買えなかった	9.4	12.4	9.7	1.5	7.7	8.7
	買わなかった	37.0	33.3	40.3	32.3	35.2	37.0
ティッシュペーパー	必要な分だけ買った	37.6	36.6	26.7	48.5	37.9	41.7
	必要以上に買った	6.7	7.9	6.7	7.6	8.9	7.1
	買いたかったが買えなかった	6.4	11.9	8.3	1.5	6.3	6.3
	買わなかった	49.3	43.6	58.3	42.4	46.8	44.9
紙おむつ	必要な分だけ買った	5.7	4.8	7.4	16.4	12.5	5.3
	必要以上に買った	5.4	2.4	0.0	5.5	3.1	3.5
	買いたかったが買えなかった	1.3	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	買わなかった	87.6	90.5	92.6	78.2	84.4	91.2
乾電池	必要な分だけ買った	22.3	22.3	16.4	34.4	16.3	17.8
	必要以上に買った	7.8	3.9	6.6	4.7	10.5	5.4
	買いたかったが買えなかった	39.1	36.9	16.4	26.6	42.1	41.9
	買わなかった	30.7	36.9	60.7	34.4	31.1	34.9
ガソリン	必要な分だけ買った	38.8	53.2	59.7	48.5	39.4	43.1
	必要以上に買った	1.4	1.8	1.6	1.5	2.0	3.8
	買いたかったが買えなかった	36.5	30.3	19.4	34.8	36.9	33.8
	買わなかった	23.2	14.7	19.4	15.2	21.7	19.2

震災後2週間の商品別買物状況の市内まとめ

(単位:%)

	必要な分だけ買った	必要以上に買った	買ったかったが 買えなかった	買わなかった
米	48.9	7.7	9.5	33.9
水	31.1	12.0	11.8	45.2
牛乳	55.9	0.7	10.1	33.3
カップ麺	34.0	14.4	9.0	42.6
トイレットペーパー	44.1	11.2	8.8	35.9
ティッシュペーパー	38.0	7.7	6.7	47.5
紙おむつ	7.8	3.9	0.8	87.5
乾電池	21.0	7.3	37.5	34.3
ガソリン	43.3	2.1	34.2	20.5

⑦震災後の自身の買物行動

(単位:%)

項目・区分		豊岡	東金子	金子	宮寺・ 二本木	藤沢	西武
風評などの 影響	最も多い頻度 「あまり そう思わな 」	44.9	40.5	35.9	45.6	43.1	38.6
	かなりそう思う + そう思う	36.2	50.8	46.8	44.1	38.8	40.1
買物行動 の変化	備蓄 はい	25.4	28.4	23.4	31.9	31.1	27.7
	節約 はい	64.4	69.8	69.8	78.3	63.2	71.8
食品の安 全性	かなり意識するよう になった	19.0	24.6	23.4	29.0	23.6	17.3
	やや意識するよう になった	47.2	48.3	35.9	46.4	47.2	48.1
	計	66.2	72.9	59.3	75.4	70.8	65.4

⑧入間市内の買物環境と居住継続意向

(単位:%)

項目・区分		豊岡	東金子	金子	宮寺・ 二本木	藤沢	西武
買物 環境	最も多い頻度 「満足している」 + 「まあ満足している」	57.7	58.0	46.0	50.7	57.1	54.5
	「あまり満足していない」 + 「満足していない」	22.8	33.6	50.8	65.2	18.9	28.8
	「ぜひ住み続けたい」 + 「できれば住み続けたい」	88.8	89.5	72.2	89.6	88.1	88.4
居住 継続 意向	「できれば市外に転居した い」+「市外に転居したい」	11.2	10.5	27.8	10.4	11.9	11.5

2. 調査地区の特徴

①豊岡地区

項目	内 容
普 段 の 買 物 行 動	<ul style="list-style-type: none"> ・買物頻度は、「週に2～3日」が43.4%、「ほとんど毎日」+「週4～5回」は48.4% ・1日の買物予算は「2001円～4000円」が52.0%、6001円以上の高額価格帯は10.4% ・買物時間帯は、平日「12時～18時」47.2%、「10時～12時」27.4% 土日は「12時～18時」54.7%、「10時～12時」29.5% ・買物時利用する交通手段は自動車が62.4%、次いで自転車22.9%
パソコン普及率	・「パソコン普及率」85.4% 「インターネット利用率」74.0%
通信販売の 利 用 状 況	<ul style="list-style-type: none"> ・利用メディア1位「インターネットショッピング」57.0%、「新聞・雑誌・カタログ販売」53.2%、「テレフォンショッピング」30.2%、「宅配サービス」24.4% ・通販購入商品は、「婦人服・洋品雑貨」39.1%、「日用・家庭雑貨」22.4%、「医療品・化粧品」19.6%
市内商店の 利 用 状 況	・市内商店の利用頻度は、「週に2～3回」が15.1%、「週に1回」が11.0%、市内商店を「ほとんど利用しない」60.8%
買物環境要望	【身近に欲しい施設】「総合スーパー」「JAの直売所」25.3%と「コンビニエンスストア」17.6%
コンビニエンス ストア・コスト 入間店・三井 アウトレットパ ーク入間の利 用 状 況	<ul style="list-style-type: none"> 【コンビニエンスストア利用状況】利用頻度は「ほとんど利用しない」42.2%、「週に1回」が31.4%、購入商品は「弁当・総菜」45.9%、「飲料・酒類」45.4%、「菓子類」24.3% 【コストコ入間店利用状況】利用頻度は「まったく利用したことはない」40.5%、「ほとんど利用しない」が26.7%、「1ヶ月に1回以上」13.8%、購入商品は「パン・ケーキ」55.6%、「鮮魚・精肉・青果」50.8%、「飲料・酒類」40.3% 【三井アウトレットパーク入間店利用状況】利用頻度は「ほとんど利用しない」29.5%、「まったく利用したことはない」20.0%、「1ヶ月に1回以上」14.5%、購入商品は「婦人服・下着・婦人雑貨」65.6%、「婦人用バック・靴」35.9%、「スポーツ・アウトドア用品」33.9%
震災後2週間 の 商 品 別 買 物 状 況	<ul style="list-style-type: none"> 【米】「必要な分だけ買った」48.4%、「必要以上に買った」6.9%、「買ったかったが買えなかった」8.8%、「買わなかった」36.0% 【水】「必要な分だけ買った」30.4%、「必要以上に買った」11.7%、「買ったかったが買えなかった」12.3%、「買わなかった」45.6% 【牛乳】「必要な分だけ買った」56.5%、「必要以上に買った」1.2%、「買ったかったが買えなかった」7.5%、「買わなかった」34.9% 【カップ麺】「必要な分だけ買った」31.3%、「必要以上に買った」14.7%、「買ったかったが買えなかった」9.5%、「買わなかった」44.5% 【トイレトペーパー】「必要な分だけ買った」43.9%、「必要以上に買った」9.7%、「買ったかったが買えなかった」9.4%、「買わなかった」37.0% 【ティッシュペーパー】「必要な分だけ買った」37.6%、「必要以上に買った」6.7%、「買ったかったが買えなかった」6.4%、「買わなかった」49.3% 【紙おむつ】「必要な分だけ買った」5.7%、「必要以上に買った」5.4%、「買ったかったが買えなかった」1.3%、「買わなかった」87.6% 【乾電池】「必要な分だけ買った」22.3%、「必要以上に買った」7.8%、「買ったかったが買えなかった」39.1%、「買わなかった」30.7% 【ガソリン】「必要な分だけ買った」38.8%、「必要以上に買った」1.4%、「買ったかったが買えなかった」36.5%、「買わなかった」23.2%
震災後の自身 の 買 物 行 動	<ul style="list-style-type: none"> 【風評の影響】「あまりそう思わない」44.9%、「かなりそう思う」+「そう思う」36.2% 【備蓄をするようになった】「はい」25.4% 【節約をするようになった】「はい」64.4% 【食品の安全性】（「かなり」+「やや」）「意識するようになった」66.2%
買物環境の現 状 と 要 望	<ul style="list-style-type: none"> 【買物環境】「満足している」+「まあ満足している」77.3% ・食料品・日用雑貨などの最寄品の地区内での買物は47.1%、市内全体で94.4% 【居住継続意向】（「ぜひ」+「できれば」）「住み続けたい」88.8%

②東金子地区

項目	内容
普段の買物行動	<ul style="list-style-type: none"> ・買物頻度は、「週に2～3日」が47.9%、「ほとんど毎日」+「週4～5回」は40.2% ・1日の買物予算は「2001円～4000円」が56.5%、6001円以上の高額価格帯は16.6% ・買物時間帯は、平日「12時～18時」42.5%、「10時～12時」35.4% 土日は「12時～18時」47.2%、「10時～12時」33.0% ・買物時利用する交通手段は「自動車」が81.3%、次いで「自転車」8.5%
パソコン普及率	・パソコン普及率「70.0%」「インターネット利用率」58.2%
通信販売の利用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・利用メディア1位「インターネットショッピング」54.3%「新聞・雑誌・カタログ販売」51.6%、「宅配サービス」27.9%、「テレフォンショッピング」21.9%、 ・通販購入商品は、「婦人服・洋品雑貨」34.9%、「日用・家庭雑貨」31.4%、「一般飲食料品」25.6%
市内商店の利用状況	・市内商店の利用頻度は、「週に2～3回」が22.4%、「週に1回」が18.7%、市内商店を「ほとんど利用しない」52.3%
買物環境要望	【身近に欲しい施設】「総合スーパー」26.9%、「JAの直売所」26.1%、「食品スーパー」21.8%
コンビニエンスストア・コストコ入間店・三井アウトレットパーク入間の利用状況	<ul style="list-style-type: none"> 【コンビニエンスストア利用状況】利用頻度は、「週に1回」が36.2%、「ほとんど利用しない」33.6%、購入商品は「弁当・総菜」51.3%、「飲料・酒類」41.3%、「各種サービス/その他(たばこ)」35.0% 【コストコ入間店利用状況】利用頻度は「まったく利用したことはない」36.8%、「ほとんど利用しない」が32.5%、「1ヶ月に1回以上」11.1%、購入商品は「パン・ケーキ」「鮮魚・精肉・青果」が61.1%、「菓子・おつまみ」44.4% 【三井アウトレットパーク入間利用状況】利用頻度は「ほとんど利用しない」35.6%、「まったく利用したことはない」26.3%、「1ヶ月に1回以上」7.6%、購入商品は「婦人服・下着・婦人雑貨」66.7%、「婦人用バック・靴」「スポーツ・アウトドア用品」33.3%
震災後2週間の商品別買物状況	<ul style="list-style-type: none"> 【米】「必要な分だけ買った」49.5%、「必要以上に買った」8.6%、「買ったかったが買えなかった」11.4%、「買わなかった」30.5% 【水】「必要な分だけ買った」34.0%、「必要以上に買った」7.8%、「買ったかったが買えなかった」8.7%、「買わなかった」49.5% 【牛乳】「必要な分だけ買った」63.1%、「必要以上に買った」1.0%、「買ったかったが買えなかった」10.7%、「買わなかった」25.2% 【カップ麺】「必要な分だけ買った」42.0%、「必要以上に買った」9.0%、「買ったかったが買えなかった」10.0%、「買わなかった」39.0% 【トイレトペーパー】「必要な分だけ買った」45.7%、「必要以上に買った」8.6%、「買ったかったが買えなかった」12.4%、「買わなかった」33.3% 【ティッシュペーパー】「必要な分だけ買った」36.6%、「必要以上に買った」7.9%、「買ったかったが買えなかった」11.9%、「買わなかった」43.6% 【紙おむつ】「必要な分だけ買った」4.8%、「必要以上に買った」2.4%、「買ったかったが買えなかった」2.4%、「買わなかった」90.5% 【乾電池】「必要な分だけ買った」22.3%、「必要以上に買った」3.9%、「買ったかったが買えなかった」36.9%、「買わなかった」36.9% 【ガソリン】「必要な分だけ買った」53.2%、「必要以上に買った」1.8%、「買ったかったが買えなかった」30.3%、「買わなかった」14.7%
震災後の自身の買物行動	<ul style="list-style-type: none"> 【風評の影響】「そう思う」40.5%、「かなりそう思う」+「そう思う」50.8%、影響を受けたのが半数 【備蓄をするようになった】「はい」28.4% 【節約をするようになった】「はい」69.8% 【食品の安全性】(「かなり」+「やや」)「意識するようになった」72.9%
買物環境の現状と要望	<ul style="list-style-type: none"> 【買物環境】「満足している」+「まあ満足している」66.4% ・食料品・日用雑貨などの最寄品の地区内での買物は23.9%、市内全体で88.3% 【居住継続意向】(「ぜひ」+「できれば」)「住み続けたい」89.5%

③金子地区

項目	内容
普段の買物行動	<ul style="list-style-type: none"> ・買物頻度は、「週に2～3日」が53.1%、「ほとんど毎日」+「週4～5回」は35.9% ・1日の買物予算は「2001円～4000円」が46.9%、6001円以上の高額価格帯は15.6% ・買物時間帯は、平日「12時～18時」39.0%、「18時～20時」23.7% 土日は「12時～18時」41.9%、「10時～12時」30.6% ・買物時利用する交通手段は「自動車」が86.0%、次いで「徒歩」/「自転車」4.7%
パソコン普及率	<ul style="list-style-type: none"> ・「パソコン普及率」80.9% 「インターネット利用率」61.9%
通信販売の利用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・利用メディア1位「新聞・雑誌・カタログ販売」50.0%「インターネットショッピング」43.9%、「テレホンショッピング」31.4%、「宅配サービス」24.1% ・通販購入商品は、「婦人服・洋品雑貨」29.8%と「日用・家庭雑貨」「衣料品・化粧品」27.7%
市内商店の利用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・市内商店の利用頻度は、「週に1回」が22.6%、「週に2～3回」が17.7%、市内商店を「ほとんど利用しない」53.2%
買物環境要望	<ul style="list-style-type: none"> 【身近に欲しい施設】「総合スーパー」26.6%、「JAの直売所」「コンビニエンスストア」23.4%
コンビニエンスストア・コストコ入間店・三井アウトレットパーク入間の利用状況	<ul style="list-style-type: none"> 【コンビニエンスストア利用状況】利用頻度は「ほとんど利用しない」「週に1回」が35.9%、購入商品は「弁当・総菜」58.5%、「菓子類」31.7%、「飲料・酒類」29.3% 【コストコ入間店利用状況】利用頻度は「まったく利用したことはない」34.4%、「ほとんど利用しない」が28.1%、「1ヶ月に1回以上」18.7%、購入商品は「鮮魚・精肉・青果」79.2%、「パン・ケーキ」62.5%、「惣菜」37.5% 【三井アウトレットパーク入間店利用状況】利用頻度は「ほとんど利用しない」31.3%、「まったく利用したことはない」28.1%、「1ヶ月に1回以上」6.3%、購入商品は「婦人服・下着・婦人雑貨」61.5%、「婦人用バック・靴」38.5%、「スポーツ・アウトドア用品」30.8%
震災後2週間の商品別買物状況	<ul style="list-style-type: none"> 【米】「必要な分だけ買った」45.0%、「必要以上に買った」6.7%、「買ったかったが買えなかった」5.0%、「買わなかった」43.3% 【水】「必要な分だけ買った」23.3%、「必要以上に買った」10.0%、「買ったかったが買えなかった」10.0%、「買わなかった」56.7% 【牛乳】「必要な分だけ買った」45.0%、「必要以上に買った」0.0%、「買ったかったが買えなかった」3.3%、「買わなかった」51.7% 【カップ麺】「必要な分だけ買った」30.0%、「必要以上に買った」23.3%、「買ったかったが買えなかった」1.7%、「買わなかった」45.0% 【トイレトペーパー】「必要な分だけ買った」35.5%、「必要以上に買った」14.5%、「買ったかったが買えなかった」9.7%、「買わなかった」40.3% 【ティッシュペーパー】「必要な分だけ買った」26.7%、「必要以上に買った」6.7%、「買ったかったが買えなかった」8.3%、「買わなかった」58.3% 【紙おむつ】「必要な分だけ買った」7.4%、「必要以上に買った」0.0%、「買ったかったが買えなかった」0.0%、「買わなかった」92.6% 【乾電池】「必要な分だけ買った」16.4%、「必要以上に買った」6.6%、「買ったかったが買えなかった」16.4%、「買わなかった」60.7% 【ガソリン】「必要な分だけ買った」59.7%、「必要以上に買った」1.6%、「買ったかったが買えなかった」19.4%、「買わなかった」19.4%
震災後の自身の買物行動	<ul style="list-style-type: none"> 【風評の影響】「そう思う」35.9%、「かなりそう思う」+「そう思う」46.8% 【備蓄をするようになった】「はい」23.4% 【節約をするようになった】「はい」69.8% 【食品の安全性】（「かなり」+「やや」）「意識するようになった」59.3%
買物環境の現状と要望	<ul style="list-style-type: none"> 【買物環境】「満足している」+「まあ満足している」49.2% ・食料品・日用雑貨などの最寄品の地区内での買物は42.7%、市内全体で65.6% 【居住継続意向】（「ぜひ」+「できれば」）「住み続けたい」72.2%、転居希望27.8%が多い

④宮寺・二本木地区

項目	内容
普段の買物行動	<ul style="list-style-type: none"> ・買物頻度は、「週に2～3日」が56.7%、「ほとんど毎日」+「週4～5回」は25.3% ・1日の買物予算は「2001円～4000円」が35.8%、6001円以上が26.9%で地区別では最多 ・買物時間帯は、平日「12時～18時」46.2%、「10時～12時」35.4% 土日は「12時～18時」47.4%、「10時～12時」33.3% ・買物時利用する交通手段は「自動車」が94.1%、次いで「バイク」/「その他」1.5%
パソコン普及率	・「パソコン普及率」83.3% 「インターネット利用率」59.1%
通信販売の利用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・利用メディア「新聞・雑誌・カタログ販売」56.9%、「インターネットショッピング」50.0%、「宅配サービス」38.4%「テレフォンショッピング」29.5%、 ・通販購入商品は、「日用・家庭雑貨」40.8%、「婦人服・洋品雑貨」34.7%と「家庭用電化製品」24.5%
市内商店の利用状況	・市内商店の利用頻度は、「週に2～3回」が25.8%、「週に1回」が24.2%、市内商店を「ほとんど利用しない」42.4%地区最少
買物環境要望	【身近に欲しい施設】「食品スーパー」42.0%、「ドラッグストア」30.4%、「総合スーパー」21.7%
コンビニエンスストア・コストコ入間店・三井アウトレットパーク入間の利用状況	<ul style="list-style-type: none"> 【コンビニエンスストア利用状況】利用頻度は「週に2～3回」36.2%、「週に1回」が34.8%、購入商品は「弁当・総菜」52.8%、「飲料・酒類」45.3%、「菓子類」30.2%、 【コストコ入間店利用状況】利用頻度は「ほとんど利用しない」が33.8%、「まったく利用したことはない」22.1%、「1ヶ月に1回以上」17.7%、購入商品は「パン・ケーキ」70.0%、「鮮魚・精肉・青果」46.7%、「日用雑貨」43.3% 【三井アウトレットパーク入間利用状況】利用頻度は「ほとんど利用しない」27.9%、「半年に1回程度」17.6%、「1ヶ月に1回以上」20.6%、購入商品は「婦人服・下着・婦人雑貨」64.1%、「婦人用バック・靴」38.5%、「紳士服、紳士雑貨/インテリア食器」30.8%
震災後2週間の商品別買物状況	<ul style="list-style-type: none"> 【米】「必要な分だけ買った」62.7%、「必要以上に買った」7.5%、「買いたかったが買えなかった」4.5%、「買わなかった」25.4% 【水】「必要な分だけ買った」41.5%、「必要以上に買った」18.5%、「買いたかったが買えなかった」6.2%、「買わなかった」33.8% 【牛乳】「必要な分だけ買った」42.6%、「必要以上に買った」1.6%、「買いたかったが買えなかった」18.0%、「買わなかった」37.7% 【カップ麺】「必要な分だけ買った」48.4%、「必要以上に買った」15.6%、「買いたかったが買えなかった」9.4%、「買わなかった」26.6% 【トイレットペーパー】「必要な分だけ買った」50.8%、「必要以上に買った」15.4%、「買いたかったが買えなかった」1.5%、「買わなかった」32.3% 【ティッシュペーパー】「必要な分だけ買った」48.5%、「必要以上に買った」7.6%、「買いたかったが買えなかった」1.5%、「買わなかった」42.4% 【紙おむつ】「必要な分だけ買った」16.4%、「必要以上に買った」5.5%、「買いたかったが買えなかった」0.0%、「買わなかった」78.2% 【乾電池】「必要な分だけ買った」34.4%、「必要以上に買った」4.7%、「買いたかったが買えなかった」26.6%、「買わなかった」34.4% 【ガソリン】「必要な分だけ買った」48.5%、「必要以上に買った」1.5%、「買いたかったが買えなかった」34.8%、「買わなかった」15.2%
震災後の自身の買物行動	<ul style="list-style-type: none"> 【風評の影響】「あまりそう思わない」45.6%、「かなりそう思う」+「そう思う」44.1% 【備蓄をするようになった】「はい」31.9% 【節約をするようになった】「はい」78.3% 【食品の安全性】（「かなり」+「やや」）「意識するようになった」75.4%
買物環境の現状と要望	<ul style="list-style-type: none"> 【買物環境】「満足している」+「まあ満足している」34.7%、満足していないは65.2%で地区最多 ・食料品・日用雑貨などの最寄品の地区内での買物は4.1%、市内全体で59.2% 【居住継続意向】（「ぜひ」+「できれば」）「住み続けたい」89.6%

⑤藤沢地区

項目	内容
普段の買物行動	<ul style="list-style-type: none"> ・買物頻度は、「週に2～3日」が35.7%、「ほとんど毎日」+「週4～5回」は56.8%で市内最多 ・1日の買物予算は「2001円～4000円」が54.8%、6001円以上の高額価格帯は11.4% ・買物時間帯は、平日「12時～18時」45.9%、「10時～12時」30.9% 土日は「12時～18時」55.6%、「10時～12時」26.0% ・買物時利用する交通手段は自動車が52.6%で市内最少、次いで自転車27.7%市内最多
パソコン普及率	・「パソコン普及率」78.2% 「インターネット利用率」62.9%
通信販売の利用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・利用メディア「新聞・雑誌・カタログ販売」58.0%、「インターネットショッピング」54.6%、「テレフォンショッピング」26.3%、「宅配サービス」21.9% ・通販購入商品は、「婦人服・洋品雑貨」35.3%と「医療品・化粧品」32.7%、「日用・家庭雑貨」26.9%
市内商店の利用状況	・市内商店の利用頻度は、「週に1回」が15.4%、「週に2～3回」が14.4%、市内商店を「ほとんど利用しない」56.7%
買物環境要望	【身近に欲しい施設】「駅ビル・駅商業施設」24.9%、「JAの直売所」23.5%、「総合スーパー」18.8%
コンビニエンスストア・コストコ入間店・三井アウトレットパーク入間の利用状況	<ul style="list-style-type: none"> 【コンビニエンスストア利用状況】利用頻度は「ほとんど利用しない」45.0%、「週に1回」が36.0%、購入商品は「弁当・総菜」40.5%、「飲料・酒類」35.3%、「各種サービス」/「その他(たばこ)」33.6% 【コストコ入間店利用状況】利用頻度は「まったく利用したことはない」44.0%、「ほとんど利用しない」が27.8%、「1ヶ月に1回以上」13.8%、購入商品は「パン・ケーキ」/「鮮魚・精肉・青果」62.7%、「飲料・酒類」45.8% 【三井アウトレットパーク入間利用状況】利用頻度は「まったく利用したことはない」23.8%、「ほとんど利用しない」/「半年に1回程度」20.0%、「1ヶ月に1回以上」18.1%、購入商品は「婦人服・下着・婦人雑貨」63.6%、「スポーツ・アウトドア用品」/「紳士服・紳士用雑貨」33.9%
震災後2週間の商品別買物状況	<ul style="list-style-type: none"> 【米】「必要な分だけ買った」47.8%、「必要以上に買った」8.9%、「買ったかったが買えなかった」9.9%、「買わなかった」33.5% 【水】「必要な分だけ買った」29.2%、「必要以上に買った」11.8%、「買ったかったが買えなかった」14.4%、「買わなかった」44.6% 【牛乳】「必要な分だけ買った」58.5%、「必要以上に買った」0.0%、「買ったかったが買えなかった」12.3%、「買わなかった」29.2% 【カップ麺】「必要な分だけ買った」32.1%、「必要以上に買った」14.4%、「買ったかったが買えなかった」7.5%、「買わなかった」46.0% 【トイレトペーパー】「必要な分だけ買った」43.9%、「必要以上に買った」13.3%、「買ったかったが買えなかった」7.7%、「買わなかった」35.2% 【ティッシュペーパー】「必要な分だけ買った」37.9%、「必要以上に買った」8.9%、「買ったかったが買えなかった」6.3%、「買わなかった」46.8% 【紙おむつ】「必要な分だけ買った」12.5%、「必要以上に買った」3.1%、「買ったかったが買えなかった」0.0%、「買わなかった」84.4% 【乾電池】「必要な分だけ買った」16.3%、「必要以上に買った」10.5%、「買ったかったが買えなかった」42.1%、「買わなかった」31.1% 【ガソリン】「必要な分だけ買った」39.4%、「必要以上に買った」2.0%、「買ったかったが買えなかった」36.9%、「買わなかった」21.7%
震災後の自身の買物行動	<ul style="list-style-type: none"> 【風評の影響】「あまりそう思わない」43.1%、「かなりそう思う」+「そう思う」38.8% 【備蓄をするようになった】「はい」31.1% 【節約をするようになった】「はい」63.2% 【食品の安全性】(「かなり」+「やや」)「意識するようになった」70.8%
買物環境の現状と要望	<ul style="list-style-type: none"> 【買物環境】「満足している」+「まあ満足している」81.2% ・食料品・日用雑貨などの最寄品の地区内での買物は83.2%、市内全体で90.7% 【居住継続意向】(「ぜひ」+「できれば」)「住み続けたい」88.1%

⑥西武地区

項目	内 容
普 段 の 買 物 行 動	<ul style="list-style-type: none"> ・買物頻度は、「週に2～3日」が42.5%、「ほとんど毎日」+「週4～5回」は43.3% ・1日の買物予算は「2001円～4000円」が45.1%、6001円以上の高額価格帯は12.8% ・買物時間帯は、平日「12時～18時」38.5%、「10時～12時」29.2% 土日は「12時～18時」50.0%、「10時～12時」28.7% ・買物時利用する交通手段は「自動車」が76.1%、次いで「自転車」12.7%
パソコン普及率	・「パソコン普及率」81.7% 「インターネット利用率」69.5%
通信販売の 利 用 状 況	<ul style="list-style-type: none"> ・利用メディア「インターネットショッピング」53.7%、「新聞・雑誌・カタログ販売」47.5%、「テレフォンショッピング」30.4%、「宅配サービス」23.2% ・通販購入商品は、「婦人服・洋品雑貨」29.0%と「日用・家庭雑貨」28.0%、「家庭用電化製品」27.0%、
市内商店の利 用 状 況	・市内商店の利用頻度は、「週に2～3回」が17.3%、「週に1回」が15.8%、市内商店を「ほとんど利用しない」59.4%
買物環境要望	【身近に欲しい施設】「総合スーパー」27.6%、「JAの直売所」22.4%、「食品スーパー」17.9%、
コンビニエンス ストア・コスト コ入間店・三井 アウトレットパ ーク入間の利 用 状 況	<ul style="list-style-type: none"> 【コンビニエンスストア利用状況】利用頻度は「ほとんど利用しない」34.8%、「週に1回」が31.1%、 購入商品は「飲料・酒類」48.3%、「弁当・総菜」37.9%、「菓子類」33.3% 【コストコ入間店利用状況】利用頻度は「まったく利用したことはない」42.7%、「ほとんど利用しない」が23.7%、「1ヶ月に1回以上」8.4%、購入商品は「パン・ケーキ」59.1%、「鮮魚・精肉・青果」52.3%、「飲料・酒類」43.2% 【三井アウトレットパーク入間利用状況】利用頻度は「まったく利用したことはない」/「ほとんど利用しない」23.3%、「1ヶ月に1回以上」11.3%、購入商品は「婦人服・下着・婦人雑貨」57.7%、「紳士服・紳士用雑貨」35.2%、「スポーツ・アウトドア用品」32.4%
震災後2週間 の 商 品 別 買 物 状 況	<ul style="list-style-type: none"> 【米】「必要な分だけ買った」45.3%、「必要以上に買った」7.8%、「買いたかったが買えなかった」14.1%、「買わなかった」32.8% 【水】「必要な分だけ買った」31.2%、「必要以上に買った」13.6%、「買いたかったが買えなかった」12.0%、「買わなかった」43.2% 【牛乳】「必要な分だけ買った」55.5%、「必要以上に買った」0.0%、「買いたかったが買えなかった」12.5%、「買わなかった」32.0% 【カップ麺】「必要な分だけ買った」32.3%、「必要以上に買った」12.9%、「買いたかったが買えなかった」12.1%、「買わなかった」42.7% 【トイレトペーパー】「必要な分だけ買った」45.7%、「必要以上に買った」8.7%、「買いたかったが買えなかった」8.7%、「買わなかった」37.0% 【ティッシュペーパー】「必要な分だけ買った」41.7%、「必要以上に買った」7.1%、「買いたかったが買えなかった」6.3%、「買わなかった」44.9% 【紙おむつ】「必要な分だけ買った」5.3%、「必要以上に買った」3.5%、「買いたかったが買えなかった」0.0%、「買わなかった」91.2% 【乾電池】「必要な分だけ買った」17.8%、「必要以上に買った」5.4%、「買いたかったが買えなかった」41.9%、「買わなかった」34.9% 【ガソリン】「必要な分だけ買った」43.1%、「必要以上に買った」3.8%、「買いたかったが買えなかった」33.8%、「買わなかった」19.2%
震災後の自身 の 買 物 行 動	<ul style="list-style-type: none"> 【風評の影響】「あまりそう思わない」38.6%、「かなりそう思う」+「そう思う」40.1% 【備蓄をするようになった】「はい」27.7% 【節約をするようになった】「はい」71.8% 【食品の安全性】（「かなり」+「やや」）「意識するようになった」65.4%
買物環境の現 状 と 要 望	<ul style="list-style-type: none"> 【買物環境】「満足している」+「まあ満足している」71.2% ・食料品・日用雑貨などの最寄品の地区内での買物は64.8%、市内全体で76.7% 【居住継続意向】（「ぜひ」+「できれば」）「住み続けたい」88.4%

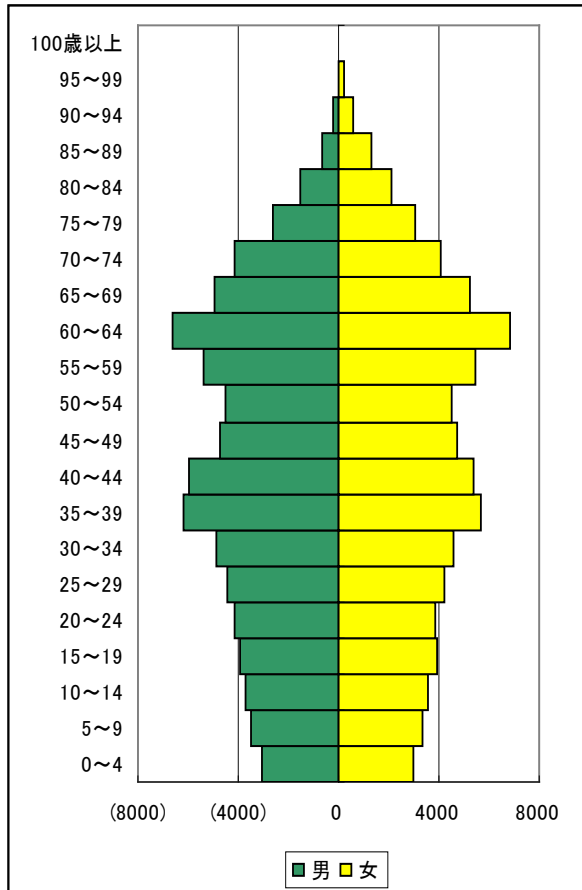
第6章 資料編

1. 入間市の人口と世帯

(1) 入間市内全域の人口等

① 人口と世帯数

図表 6-1 入間市の人口ピラミッド



図表 6-2 入間市の5歳階級別人口

年齢	総人口	男	女	構成比
0~4	5,981	3,028	2,953	4.0
5~9	6,827	3,496	3,331	4.5
10~14	7,264	3,712	3,552	4.8
年少人口	20,072	10,236	9,836	13.3
15~19	7,861	3,909	3,952	5.2
20~24	8,012	4,138	3,874	5.3
25~29	8,600	4,414	4,186	5.7
30~34	9,476	4,890	4,586	6.3
35~39	11,821	6,150	5,671	7.8
40~44	11,370	5,991	5,379	7.5
45~49	9,489	4,743	4,746	6.3
50~54	9,044	4,538	4,506	6.0
55~59	10,847	5,363	5,484	7.2
60~64	13,448	6,629	6,819	8.9
生産年齢人口	99,968	50,765	49,203	66.4
65~69	10,117	4,914	5,203	6.7
70~74	8,219	4,118	4,101	5.5
75~79	5,729	2,652	3,077	3.8
80~84	3,585	1,497	2,088	2.4
85~89	1,965	640	1,325	1.3
90~94	742	186	556	0.5
95~99	225	31	194	0.1
100歳以上	32	6	26	0.0
高齢人口	30,614	14,044	16,570	20.3
総数	150,654	75,045	75,609	100.0

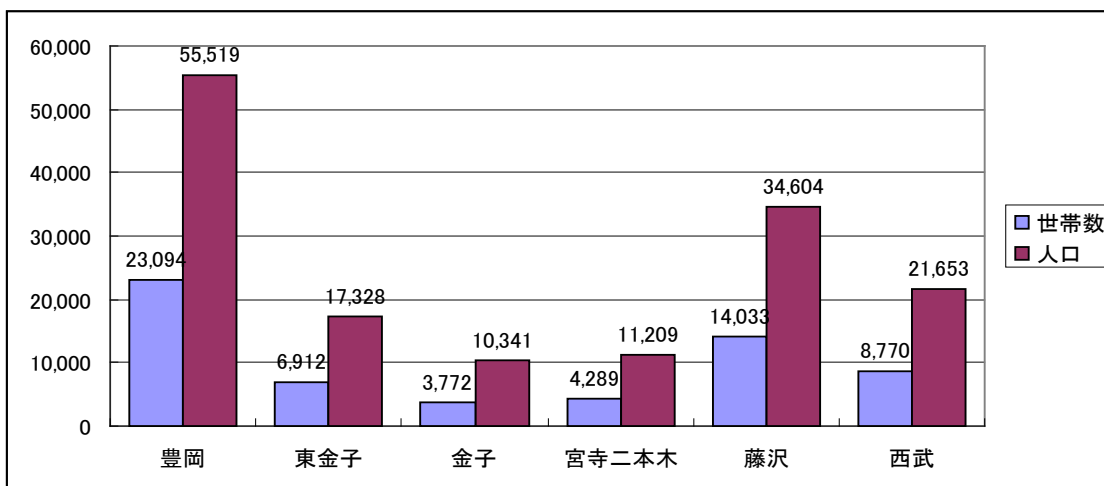
(出所: 入間市人口統計 平成 23 年 7 月 1 日より作成)

図表 6-3 入間市の総人口・世帯数推移(各年 7 月 1 日現在)

	世帯数(世帯)	総人口(人)	人口対前年 増加率	一世帯当たり人 口	人口密度
平成 14 年	53,846	149,196	0.66	2.77	3,335
平成 15 年	54,824	149,745	0.37	2.73	3,347
平成 16 年	55,588	149,821	0.05	2.70	3,349
平成 17 年	56,480	150,312	0.33	2.66	3,360
平成 18 年	57,051	149,884	△ 0.28	2.63	3,350
平成 19 年	57,702	149,948	0.04	2.60	3,352
平成 20 年	58,571	150,179	0.15	2.56	3,357
平成 21 年	59,549	150,839	0.44	2.53	3,371
平成 22 年	60,270	150,849	0.01	2.50	3,372
平成 23 年	60,870	150,654	△ 0.13	2.48	3,367

図表 6-4 入間市の居住地区別人口・世帯分布(H23.7. 1)

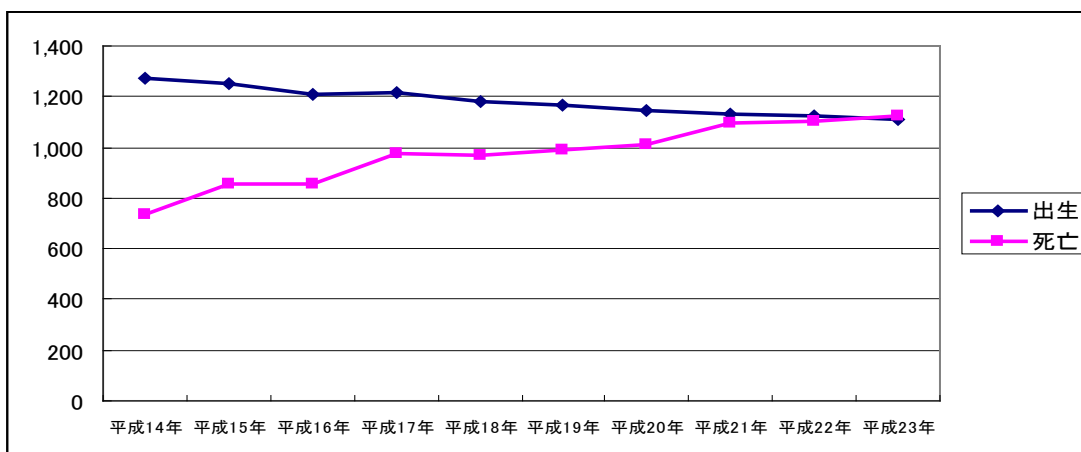
(単位:人・世帯)



②入間市の人口動態

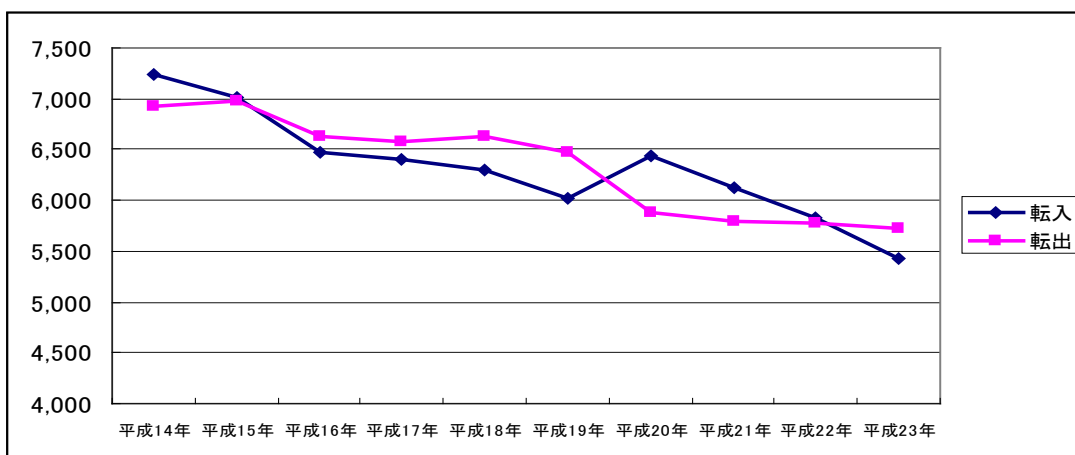
図表 6-5 自然動態

(単位:人)



図表 6-6 社会動態

(単位:人)



図表 6-7 入間市の人口動態推移(各年1月～12月)

(単位:人)

年	自然増減			社会増減		
	出生	死亡	増加数	転入等	転出等	増加数
平成 14 年	1,275	734	541	7,235	6,920	315
平成 15 年	1,254	857	397	7,019	6,971	48
平成 16 年	1,209	856	353	6,477	6,626	△ 149
平成 17 年	1,216	979	237	6,406	6,574	△ 170
平成 18 年	1,182	968	214	6,291	6,624	△ 333
平成 19 年	1,167	990	177	6,024	6,477	△ 453
平成 20 年	1,142	1,014	128	6,432	5,876	556
平成 21 年	1,132	1,098	34	6,118	5,787	331
平成 22 年	1,125	1,105	20	5,825	5,784	41
平成 23 年	1,107	1,121	△ 14	5,422	5,729	△ 307

(2)入間市各地区の人口

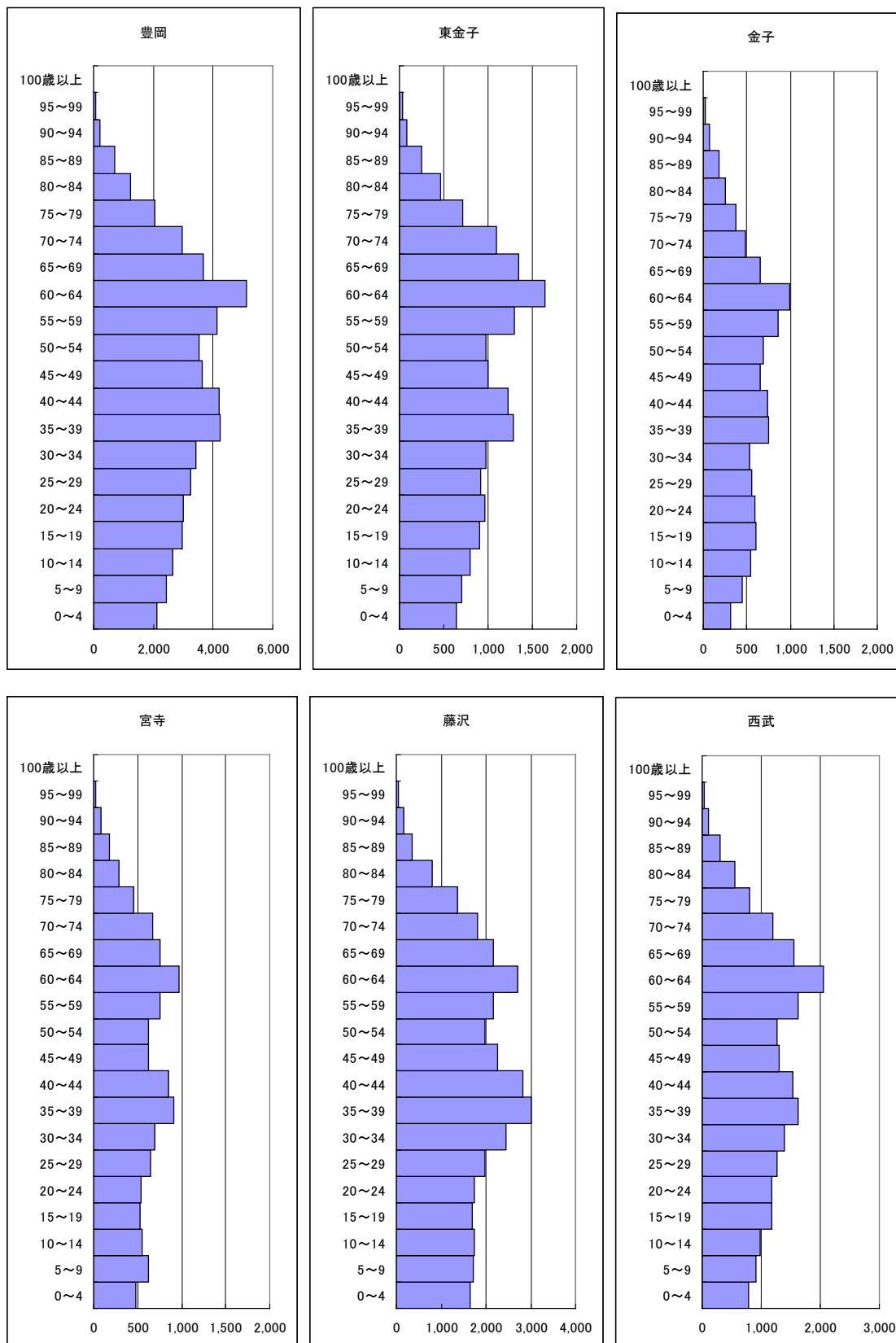
図表 6-8 居住地区別 5 歳階級別総人口

(単位:人・%)

	豊岡	%	東金子	%	金子	%	宮寺 二本木	%	藤沢	%	西武	%
0～4	2,113	3.8	637	3.7	314	3.0	482	4.3	1,654	4.8	781	3.6
5～9	2,435	4.4	698	4.0	444	4.3	618	5.5	1,725	5.0	907	4.2
10～14	2,637	4.7	793	4.6	549	5.3	556	5.0	1,745	5.0	984	4.5
年少人口	7,185	12.9	2,128	12.3	1,307	12.6	1,656	14.8	5,124	14.8	2,672	12.3
15～19	2,957	5.3	906	5.2	610	5.9	527	4.7	1,689	4.9	1,172	5.4
20～24	2,983	5.4	969	5.6	595	5.8	533	4.8	1,751	5.1	1,181	5.5
25～29	3,241	5.8	912	5.3	554	5.4	643	5.7	1,984	5.7	1,266	5.8
30～34	3,438	6.2	974	5.6	534	5.2	690	6.2	2,456	7.1	1,384	6.4
35～39	4,235	7.6	1,283	7.4	750	7.3	915	8.2	3,016	8.7	1,622	7.5
40～44	4,207	7.6	1,224	7.1	734	7.1	848	7.6	2,815	8.1	1,542	7.1
45～49	3,644	6.6	1,004	5.8	660	6.4	619	5.5	2,252	6.5	1,310	6.0
50～54	3,519	6.3	980	5.7	693	6.7	620	5.5	1,966	5.7	1,266	5.8
55～59	4,130	7.4	1,302	7.5	864	8.4	755	6.7	2,173	6.3	1,623	7.5
60～64	5,101	9.2	1,641	9.5	991	9.6	969	8.6	2,700	7.8	2,046	9.4
生産年 齢人口	37,455	67.5	11,195	64.6	6,985	67.5	7,119	63.5	22,802	65.9	14,412	66.6
65～69	3,665	6.6	1,343	7.8	650	6.3	751	6.7	2,155	6.2	1,553	7.2
70～74	2,951	5.3	1,098	6.3	488	4.7	666	5.9	1,811	5.2	1,205	5.6
75～79	2,032	3.7	710	4.1	372	3.6	455	4.1	1,359	3.9	801	3.7
80～84	1,221	2.2	470	2.7	256	2.5	284	2.5	795	2.3	559	2.6
85～89	716	1.3	253	1.5	176	1.7	176	1.6	345	1.0	299	1.4
90～94	219	0.4	88	0.5	78	0.8	82	0.7	167	0.5	108	0.5
95～99	64	0.1	38	0.2	23	0.2	19	0.2	41	0.1	40	0.2
100歳以上	11	0.0	5	0.0	6	0.1	1	0.0	5	0.0	4	0.0
老齢人口	10,879	19.6	4,005	23.1	2,049	19.8	2,434	21.7	6,678	19.3	4,569	21.1
総数	55,519	100	17,328	100	10,341	100	11,209	100	34,604	100	21,653	100

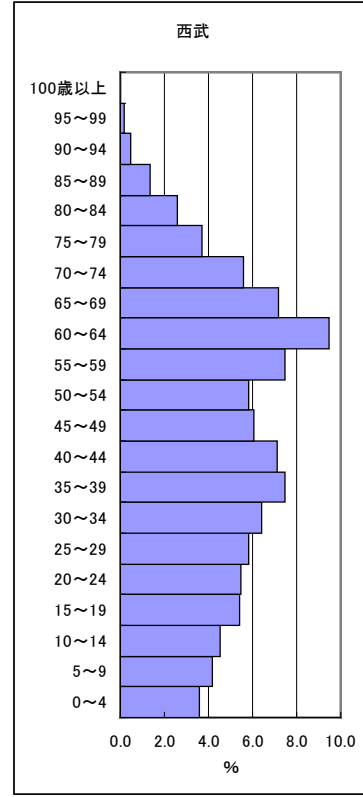
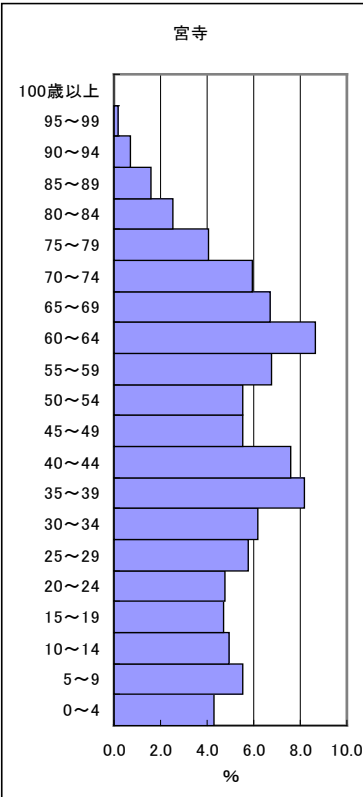
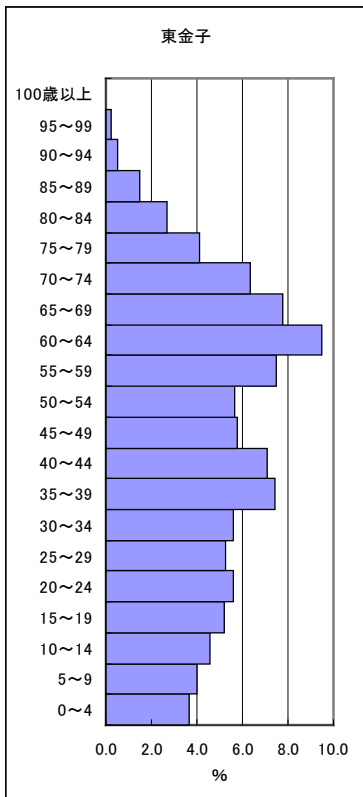
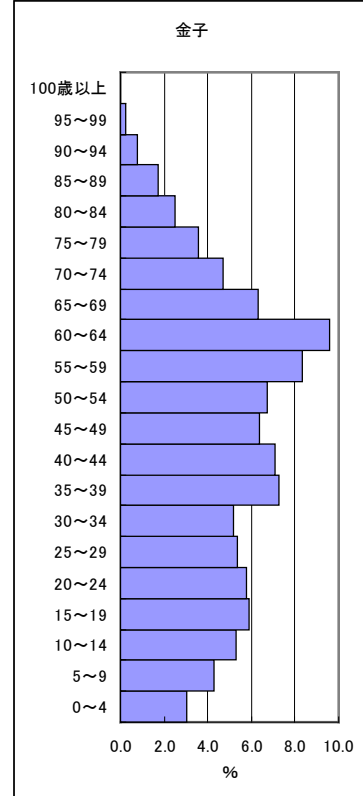
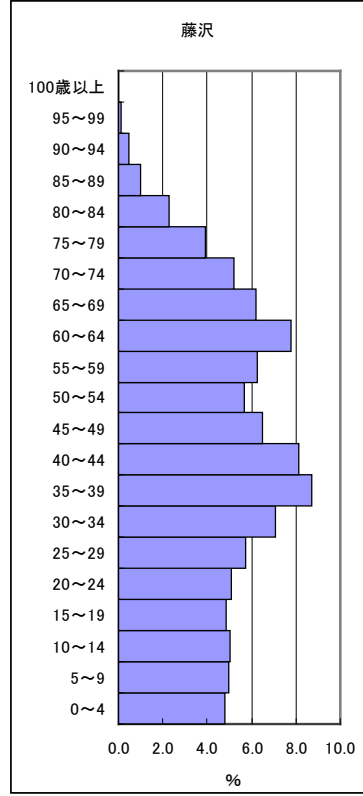
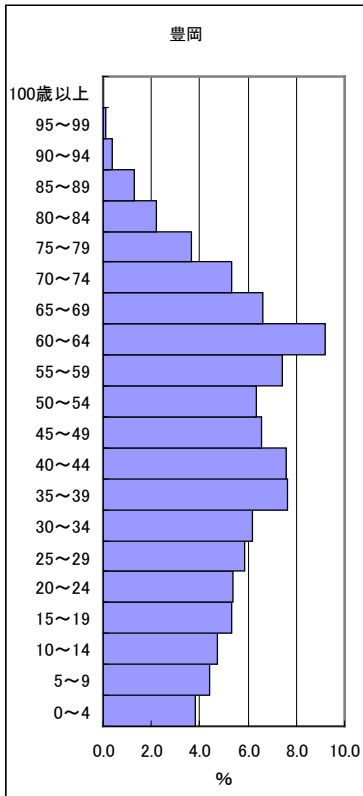
図表 6-9 地区別人ロピラミッド(人数)

(単位:人)



図表 6-9 地区別人口ピラミッド(構成比)

(単位:%)



2. アンケート調査票

平成23年度 入間市消費動向調査

お買物アンケート

アンケート調査へのご協力をお願い

入間市では、市民のみなさまがどこで、どのような買物をするかという買物行動の実態や、買物についてのご希望等を把握し、市民のみなさまが求める商店街および商店づくりなど、入間市の商業振興策を推進する上での基礎資料として活用することを目的に本調査を行うことにいたしました。

つきましては、ご多忙のところ大変恐縮ですが、アンケート調査にご協力くださいますようお願いいたします。

このアンケートの対象となる世帯は、住民基本台帳より統計的手法(くじ引きのような方法で調査対象者を選ぶ方法)によって、無作為に抽出いたしました。

アンケートの記入は、日常のお買物をされる方をお願いします。記入にあたっては家事全般のこと(例えば、ご主人やお子様の買物など)を考えてご記入ください。
平成23年7月1日現在の状況でお答え願います。

質問は、特に指示がないかぎり、飛ばさず順番に全ての問いにお答えください。

調査の結果は集計し公表しますが、結果公表の際に、ご協力いただいた方のお名前や個人が特定できる形でデータが出ることはありません。

ご回答いただいたアンケート用紙は、同封の返信用封筒にて、8月10日(水曜日)までに投函してください。

平成23年7月22日

お問い合わせは

入間市役所 環境経済部商工課 商業観光担当

電話 2964-1111 (内線4251~3)

--	--	--	--

問1 お住まいはどちらですか。大字名の該当する番号に、1つだけ○をつけてください。

豊岡	01. 豊岡1～5丁目
	02. 扇町屋1～5丁目
	03. 大字扇町屋
	04. 大字善蔵新田
	05. 東町1～7丁目
	06. 扇台1～6丁目
	07. 久保稲荷1～5丁目
	08. 向陽台1～2丁目
	09. 大字黒須
	10. 黒須1～2丁目
	11. 河原町
	12. 春日町1～2丁目
	13. 宮前町
	14. 鍵山1～3丁目
	15. 大字高倉
	16. 高倉1～5丁目
東金子	17. 牛沢町
	18. 小谷田1～4丁目
	19. 上小谷田1～3丁目
	20. 森坂
	21. 大字小谷田
	22. 大字新久
	23. 大字狭山ケ原
金子	24. 大字木蓮寺
	25. 大字南峯
	26. 大字寺竹
	27. 金子中央
	28. 大字西三ツ木
	29. 三ツ木台
	30. 大字上谷ケ貫
	31. 大字下谷ケ貫
	32. 大字花ノ木
	33. 大字中神
	34. 大字根岸
宮寺二本木	35. 宮寺
	36. 大字二本木
	37. 大字高根
	38. 大字駒形富士山
	39. 大字狭山台
藤沢	40. 大字上藤沢
	41. 大字下藤沢
	42. 東藤沢1～8丁目
西武	43. 大字野田
	44. 大字新光
	45. 大字仏子

--	--

問2 主たる収入のある方のご職業は(該当番号に1つだけ○)

1. お勤め(入間市内)
2. お勤め(県内の入間市以外の市町村)
3. お勤め(東京都23区内)
4. お勤め(東京都23区以外の市町村)
5. お勤め(埼玉県及び東京都以外の他府県)
6. 商工関係の自営業
7. 自由業
8. 農林水産業
9. その他(年金、不動産収入など)

--

問3 主に買物される方の年齢は(該当番号に1つだけ○)

1. 20-24歳	7. 50-54歳
2. 25-29歳	8. 55-59歳
3. 30-34歳	9. 60-64歳
4. 35-39歳	10. 65-69歳
5. 40-44歳	11. 70-74歳
6. 45-49歳	12. 75歳以上

--

問4 主に買物される方の職業は(該当番号に1つだけ○)

1. 有給の仕事(常勤・パート等)
2. 有給の仕事には就いていない(専業主婦など)

--

問5 普段買物される回数は(該当番号に1つだけ○)

1. ほとんど毎日	4. 週に1回くらい
2. 週に4～5回	5. その他(月に数回程度)
3. 週に2～3回	

--

問6 1回の買物の予算は(該当番号に1つだけ○)

1. 2000円以下	4. 6001円～8000円
2. 2001円～4000円	5. 8001円～10000円
3. 4001円～6000円	6. 10001円以上

--

問7 普段の買物に利用する交通手段は(該当番号に1つだけ○)

1. 徒歩	6. 電車
2. 自転車	7. バス
3. バイク	8. タクシー
4. 自動車(自分で運転)	9. その他
5. 自動車 (家族や知人に乗せてもらう)	()

--

問8 買物の時間帯は

(①平日、②土日それぞれお答えください)	
①平日 (該当番号に1つだけ○)	②土日(祝日を含む) (該当番号に1つだけ○)
1. 7～10時	1. 7～10時
2. 10～12時	2. 10～12時
3. 12～18時	3. 12～18時
4. 18～20時	4. 18～20時
5. 20～翌7時	5. 20～翌7時
6. 不定	6. 不定

--

--

問9 お宅では、下記のA群～E群の品物を、普段どこにあるお店で買物されますか。
 また、下のF群のような場合には、主にどこにあるお店や施設を利用されますか。
 買物品目ごとに右の「買物場所」の表の中から、
 ①の欄には、「買物場所」欄から、1番多く利用する施設・商店名等の番号を、1つだけ選んでご記入ください。
 ②の欄には、「買物場所」欄から、2番目に利用する施設・商店名等の番号を、1つだけ選んでご記入ください。
 なお、普段買わない品物については、記入しなくて結構です。

買物品目・外出目的	回答欄		区 域	買物場所（店舗番号・名称等）		
	① 1番多く 利用する 買物場所 (品目別 に番号 1つ) ↓	② 2番目に 利用する 買物場所 (品目別 に番号 1つ) ↓				
記入例 肉・魚・野菜・果物	26	30	入間市内	1 扇町屋・駅通りの商店		
記入例 婦人服・婦人用品雑貨	31	46		豊岡	2 サイオス	
A群 肉・魚・野菜・果物 調理済み食品(総菜、弁当等) その他の食料品・飲料 日用・家庭雑貨				東町	3 丸広百貨店入間店	
					4 西武入間ベベ	
					5 しまむら豊岡店	
					6 ジャパンミート・タカハシ	
B群 呉服・帯 寝具 紳士服・紳士用品雑貨 婦人服・婦人用品雑貨 子供服・ベビー服 下着・肌着				黒須	7 東町・扇台地区の商店	
					8 黒須・鎌山地区の商店	
					9 ブルドッグ入間店	
					10 いなげや入間春日町店	
					11 スーパーバリュー・ピバホーム	
					12 小谷田・新久地区の商店	
C群 靴・はきもの かばん・ハンドバッグ				東金子	13 さえぎ食品館	
					14 ドンキホーテ(ドイト入間店)	
					15 ニトリ入間店	
				金子	16 金子地区の商店	
					17 マミーマート金子店	
				宮寺	18 宮寺・二本木地区の商店	
					19 しまむら宮寺店	
					20 アウトレットパーク入間	
					21 コストコ入間店	
				上藤沢	22 上藤沢地区の商店	
D群 家具・インテリア 家庭用電化製品 自転車					23 イオン入間ショッピングセンター	
					24 ワンダーグー入間店	
				下藤沢	25 下藤沢・東藤沢地区の商店	
					26 ヨークマート入間店	
					27 ケイヨーティーン・スーパーアルプス入間下藤沢店	
					28 ケースデンキ入間店	
					29 ハードオフ入間藤沢店	
					30 ヤオコー入間下藤沢店	
					31 しまむら下藤沢店	
					32 ヨークマート武蔵藤沢店	
					33 カワチ薬品入間店	
					34 グリーンガーデン武蔵藤沢	
				35 ヤマダ電機入間店		
	E群 時計・メガネ・コンタクトレンズ 医薬・化粧品 書籍・文房具 楽器・CD 玩具 スポーツ用品 花木・園芸・生花				仏子	36 仏子地区の商店
						37 ヤオコー入間仏子店
				野田	38 野田・新光地区の商店	
					39 シャンブル・アベイル入間野田店	
					40 ベルク・しまむら他(入間野田モール)	
				入間市以外	41 所沢市	
F群 家族で買物を楽しむ場合 飲食を楽しむ場合					42 狭山市	
					43 飯能市	
					44 川越市	
					45 その他県内	
		埼玉県内			46 池袋・新宿など都心部	
					47 その他の東京都内	
		埼玉県外			48 東京以外の県外都市	
					49 通信販売(テレビ・カタログ、ネット等)	

問10 現在パソコンはお持ちですか。該当する番号に1つだけ○をつけてください

- | | |
|--|--|
| 1. パソコンを持っており、インターネットを利用している
2. パソコンを持っているが、インターネットは利用していない
3. パソコンは持っていない | |
|--|--|

問11 商品購入に通信販売を利用していますか。

利用する媒体ごとに利用頻度をお答えください。(媒体ごとに該当する番号に1つだけ○)

	利用している			利用していない	
	月1回以上	2ヶ月に1回程度	半年に1回程度	今後は利用したい	今後も利用しない
a. インターネットショッピング	1	2	3	4	5
b. テレフォンショッピング(テレビ・ラジオ)	1	2	3	4	5
c. 新聞・雑誌・カタログ販売	1	2	3	4	5
d. 共同購入(生協等が行う)	1	2	3	4	5
e. 宅配サービス(生協等が行う)	1	2	3	4	5

問12 通信販売ではどんな商品を購入していますか。次の中から主なものを3つ以内を選び、該当する番号に

○をつけてください。

- | | | | |
|--------------|----------------|-------------|--------------|
| 1. 肉・魚・野菜・果物 | 7. 婦人服・洋品雑貨 | 13. 家庭用電化製品 | 19. 玩具 |
| 2. 一般飲食品 | 8. ベビー・子供服 | 14. 自転車 | 20. スポーツ用品 |
| 3. 日用・家庭雑貨 | 9. 下着・肌着 | 15. 時計・メガネ | 21. 花木・園芸・生花 |
| 4. 呉服・帯等 | 10. 靴・はきもの | 16. 医薬品・化粧品 | 22. その他 |
| 5. 寝具 | 11. かばん・ハンドバッグ | 17. 書籍・文房具 | () |
| 6. 紳士服・洋品雑貨 | 12. 家具・インテリア | 18. 楽器・CD | |

問13 入間市内の商店街や個人商店で週に何回くらい買物をしますか。該当する番号に1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|-----------------|-----------------|--------------------|
| 1. ほとんど毎日 →問15へ | 3. 週に2~3回 →問15へ | 5. ほとんど利用しない →問14へ |
| 2. 週に4~5回 →問15へ | 4. 週に1回 →問15へ | |

次の問14は【問13で「5. ほとんど利用しない」を選んだ方のみ記入してください。】

問14 入間市内の商店街や個人商店をほとんど利用しない理由は何ですか。

次の中から主なものを3つ以内を選び、該当する番号に○をつけてください。

- | | | |
|----------------|--------------|---------------|
| 1. 魅力ある商品が少ない | 6. 品数が少ない | 11. 閉店時間が早い |
| 2. 品質・鮮度がよくない | 7. 価格が高い | 12. 駐車場がない |
| 3. 商品情報がとぼしい | 8. 接客態度がよくない | 13. 交通の便がよくない |
| 4. 一か所で買物がすまない | 9. 店に入りにくい | 14. その他 |
| 5. 商店が集積していない | 10. 店に清潔感がない | () |

ここからはすべての方がお答えください。

問15 入間市の商店街や個人商店をより魅力的にするためには何が重要だと思いますか。次の中から主なもの2つ以内を選び、該当する番号に○をつけてください。

1. 個別店舗の魅力の向上	7. スタンプやカードサービスの実施	
2. 生活に密着した地域情報の提供	8. 駐車場・駐輪場の充実	
3. 豊かな生活が送れる商品情報の提供	9. トイレ・休憩所の設置	
4. 催事・イベントなどの実施	10. 街路灯やカラー舗装などの環境整備	
5. 営業日数の増加や閉店時間の延長	11. 大型商業施設の設置	
6. 共通商品券、地域通貨の発行	12. その他()	

問16 身近にあればよいと思う買物施設は何ですか。次の中から2つ以内を選び、該当する番号に○をつけてください。

1. 一般の商店	6. コンビニエンスストア	11. 駅ビル・駅商業施設	
2. JAの直売所	7. ディスカウントストア	12. ファストファッション店	
3. 百貨店(デパート)	8. 大型専門店	13. 百円ショップ	
4. 総合スーパー	9. ショッピングセンター	14. ドラッグストア	
5. 食品スーパー	10. アウトレットショップ	15. その他()	

問17 コンビニエンスストアを週に何日くらい利用しますか。また、どのような商品を購入していますか。

①利用頻度(○は1つだけ)

1. ほとんど毎日
2. 週に4~5回
3. 週に2~3回
4. 週に1回くらい
5. ほとんど利用しない

②【①で1.~4.とお答えの方】どのような商品を購入していますか(主なもの2つ以内に○)

1. 弁当・総菜	6. 雑誌・書籍	
2. 菓子類	7. 医薬品・化粧品	
3. 飲料・酒類	8. 各種サービス(ATM、コピー、宅配便、チケット)	
4. その他食料品	9. その他()	
5. 日用雑貨		

問18 あなたは、ふだんコストコ入間店を利用していますか。

①利用頻度(○は1つだけ)

1. 月に2回以上
2. 1ヶ月に1回程度
3. 2ヶ月に1回程度
4. 半年に1回程度
5. 年に1回程度
6. ほとんど利用しない
7. まったく利用したことはない

②【①で1.~5.とお答えの方】どのような商品を購入していますか(主なもの3つ以内に○)

1. 鮮魚、精肉、青果	6. 飲料・酒類	11. タイヤ、カー用品
2. パン、ケーキ	7. 日用雑貨	12. おもちゃ、季節商品
3. 総菜	8. 書籍、CD、DVD、文具	13. 衣料品
4. 冷凍食品	9. スポーツ・アウトドア用品	14. 医薬品・化粧品
5. 菓子、おつまみ	10. 家電、パソコン用品	15. その他()

問19 あなたはふだんアウトレットパーク入間を利用していますか。

①利用頻度(○は1つだけ)

1. 月に2回以上
2. 1ヶ月に1回程度
3. 2ヶ月に1回程度
4. 半年に1回程度
5. 年に1回程度
6. ほとんど利用しない
7. まったく利用したことはない

②【①で1.~5.とお答えの方】どのような商品を購入していますか(主なもの3つ以内に○)

1. 婦人服、下着、婦人雑貨	8. インテリア、食器など家庭雑貨
2. 婦人用バッグ、靴	9. コーヒー豆、日本茶
3. 化粧品・香水、化粧小物	10. 喫茶、飲食
4. 紳士服、紳士用雑貨	11. 洋服のリフォーム
5. 紳士用カバン、靴	12. その他()
6. 子供服、ベビー用品、おもちゃ	
7. スポーツ・アウトドア用品	

問20 東日本大震災後から2週間くらいの中に、以下のa～iの商品を買物されましたか。
 それぞれの商品について、「必要な分だけ買った」～「買わなかった」までの、該当する番号に1つだけ○をつけてください。

商品	買った		買ったかったが 買えなかった	買わなかった
	必要な分だけ買った	必要以上に買った		
a. 米	1	2	3	4
b. 水	1	2	3	4
c. 牛乳	1	2	3	4
d. カップめん	1	2	3	4
e. トイレットペーパー	1	2	3	4
f. ティッシュペーパー	1	2	3	4
g. 紙おむつ	1	2	3	4
h. 乾電池	1	2	3	4
i. ガソリン	1	2	3	4

問21 東日本大震災直後のご自身の買物行動について今考えてみると、風評などに影響されたと思われませんか。
 最もお気持ちに近い番号に1つだけ○をつけてください。

1. かなりそう思う	2. そう思う	3. あまりそう思わない	4. まったくそう思わない	
------------	---------	--------------	---------------	--

問22 東日本大震災によって、ご自身の買物行動は変化しましたか。
 次の①②のことがらについて、それぞれ震災後のご自身の買物行動に該当する番号に1つだけ○をつけてください。

①今まで以上に、食料品や日用雑貨の備蓄を心がけるようになった ……………

1. はい	2. いいえ	
-------	--------	--

②今まで以上に、節約を心がけるようになった ……………

1. はい	2. いいえ	
-------	--------	--

問23 東日本大震災後、特に食品の安全性について意識するようになりましたか。
 最もお気持ちに近い番号に1つだけ○をつけてください。

1. かなり意識するようになった	2. やや意識するようになった	3. 以前と変わらない	
------------------	-----------------	-------------	--

問24 あなたは、現在お住まいの地域や入間市内の買物環境に満足していますか。
 次の中から最もお気持ちに近い番号に1つだけ○をつけ、そのように思われる理由もお書きください。

1. 満足している	2. まあ満足している	3. あまり満足していない	4. 満足していない	
-----------	-------------	---------------	------------	--

入間市内の買物環境について、「満足・まあ満足」あるいは「あまり満足していない・満足していない」その理由は？

問25 入間市に今後も住み続けたいですか。最もお気持ちに近い番号に1つだけ○をつけ、その理由もお書きください。

1. ぜひ住み続けたい	2. できれば住み続けたい	3. できれば市外に転居したい	4. 市外に転居したい	
-------------	---------------	-----------------	-------------	--

そう思われる理由は？入間市へのご要望、ご意見も合わせてご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。